

# 要介護（支援）認定者意向調査 報告書

平成 29 年 3 月

札幌市



# 目 次

<b>1 調査の概要</b>	
1.1 調査の概要	1
<b>2 調査結果</b>	
<b>2.1 基本的事項について</b>	
問1-1 性別	3
問1-2 年齢	4
問1-3 居住区	5
問1-4 介護度	6
問1-5 利用者負担割合	7
問1-6 介護保険料所得段階	8
問1-7 現在の生活場所	9
問1-8 同居者	11
問1-9 日中ひとりになる時	12
問1-10 治療中、後遺症のある病気	13
<b>2.2 あなたと介護保険の関わりについて</b>	
問2-1 認定を受けてからの期間	18
問2-2 認定を受けたきっかけ	19
問2-3 介護度の変化	20
問2-4 介護度が重くならないように気をつけていること	23
問2-5 介護サービス利用の有無	27
<b>2.3 介護（予防）サービスの利用状況について</b>	
問3-1	
(1) 利用しているサービスの満足度	29
(2) 利用しているサービスの満足度で不満の理由	30
(3) サービス量の満足度	31
(4) サービス量の満足度で不満の理由	33
(5) 利用できないサービス	34
(6) 利用限度を超えた経験	35
問3-2 利用料の負担感	36

問3-3	
(1) 訪問介護の利用メニュー -----	42
(2) 訪問介護の利用時間 -----	46
問3-4	
(1) 通所介護の利用メニュー -----	48
(2) 通所介護の利用時間 -----	51
問3-5 サービス利用による生活の変化 -----	53

## 2.4 介護（予防）サービス未利用の方の状況について

問4-1 サービス利用経験 -----	56
問4-2 サービスを利用していない理由 -----	58
(1) 利用できないサービス -----	60
問4-3 今後の介護（予防）サービスの利用意向 -----	61

## 2.5 今後の暮らし方・経済状況等について

問5-1 介護度が重くなったときの生活場所 -----	63
問5-2 住み慣れた地域で暮らし続けるために必要だと思うこと --	67
問5-3 情報の入手先 -----	68
問5-4	
(1) 個人収入 -----	69
(2) 世帯収入 -----	70
問5-5 世帯貯蓄 -----	71
問5-6 介護保険料の負担感 -----	72
問5-7 介護サービスと介護保険料の関係 -----	78
問5-8 今後の介護保険料の負担のあり方 -----	82
問5-9 今後充実してほしい介護サービス -----	86

## 2.6 あなたを介護してくれる方の状況について

問6-1 介護者の有無 -----	87
(1) 主な介護者の続柄 -----	88

## 2.7 家族介護者の状況について

問7-1 主な家族介護者の性別 -----	89
問7-2 主な家族介護者の年齢 -----	90

問 7-3	本人と主な家族介護者との同居・別居 -----	92
問 7-4	主な家族介護者の介護の頻度 -----	93
問 7-5		
	(1) 介護の負担感 -----	94
	(2) 負担に感じる事 -----	95
問 7-6	介護者支援として重要な事 -----	96
問 7-7		
	(1) 就労状況 -----	97
	(2) 転職、離職理由 -----	99
問 7-8	就労継続に必要な支援 -----	100
<b>2. 参考 1</b>	<b>認知症有病者にかかる分析について</b>	
問 1-10	現在治療中、または後遺症のある病気 (認知症有病者に限る) -----	101
<b>2. 参考 2</b>	<b>介護（予防）サービスの利用状況にかかる分析について</b>	
問 3-1		
	(1) 利用しているサービスの満足度 (当該サービスを利用している人) -----	106
<b>3</b>	<b>集計表</b>	
	集計表 -----	109
<b>4</b>	<b>自由記載</b>	
4. 1	要介護認定 -----	169
4. 2	介護保険料 -----	169
4. 3	介護保険サービス -----	170
4. 4	介護保険制度全般 -----	172
4. 5	札幌市の施策 -----	172
4. 6	その他 -----	173
<b>5</b>	<b>調査票</b>	
	調査票 -----	175



# 1 調査の概要





# 1 調査の概要

## 1. 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、介護保険サービスの利用状況や家族による介護の状況などを把握し、平成30年度を始期とする新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定や介護保険事業の実施に当たっての基礎資料とすることを目的として実施した。

### (2) 調査対象

平成28年10月11日時点で要介護（支援）認定を受けている札幌市民（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の利用者を除く）から5,000人を無作為に抽出した。

### (3) 調査基準日

平成28年11月1日とした。  
（平成28年11月1日現在の状況について回答していただいた）

### (4) 調査期間

平成28年11月8日 ～ 平成28年11月25日

### (5) 調査方法

郵送による調査票の発送・回収。

### (6) 回収結果

発送数	5,000件
回収数	2,916件 (58.3%)
有効回収数	2,911件 (58.2%)

### (7) 集計・分析の留意事項

本報告書内の図表においては、有効回答数を「N」で表記した。また、クロス集計の場合などは、項目の直後に対応する有効回答数を表記している。

図表中の構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100％にならない場合がある。回答者はいるが、端数処理により構成比が0.0となった場合を「0.0％」、回答者がいない場合は「-」と表記している。

各設問は無回答を含むが、特段断りのない設問については、無回答を含めて有効回答数としている。



## 2 調査結果



## 2 調査結果

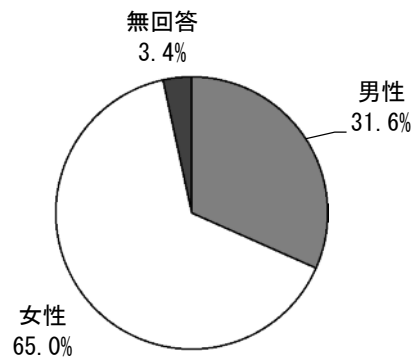
### 2. 1 基本的事項について

#### 問1-1 性別

あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。

性別については、「男性」が31.6%、「女性」が65.0%となっている。

図表1-1 性別 (N=2,911)

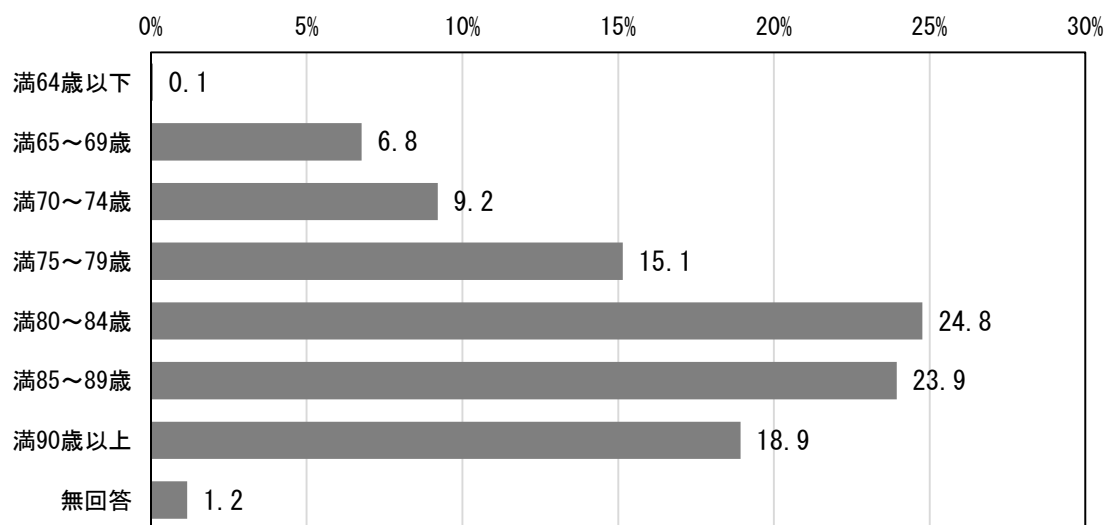


## 問 1-2 年齢

あなたの現在の年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

現在の年齢については、「満 80～84 歳」が 24.8%と最も多く、次いで、「満 85～89 歳」が 23.9%、「満 90 歳以上」が 18.9%となっている。

図表1-2 年齢 (N=2,911)

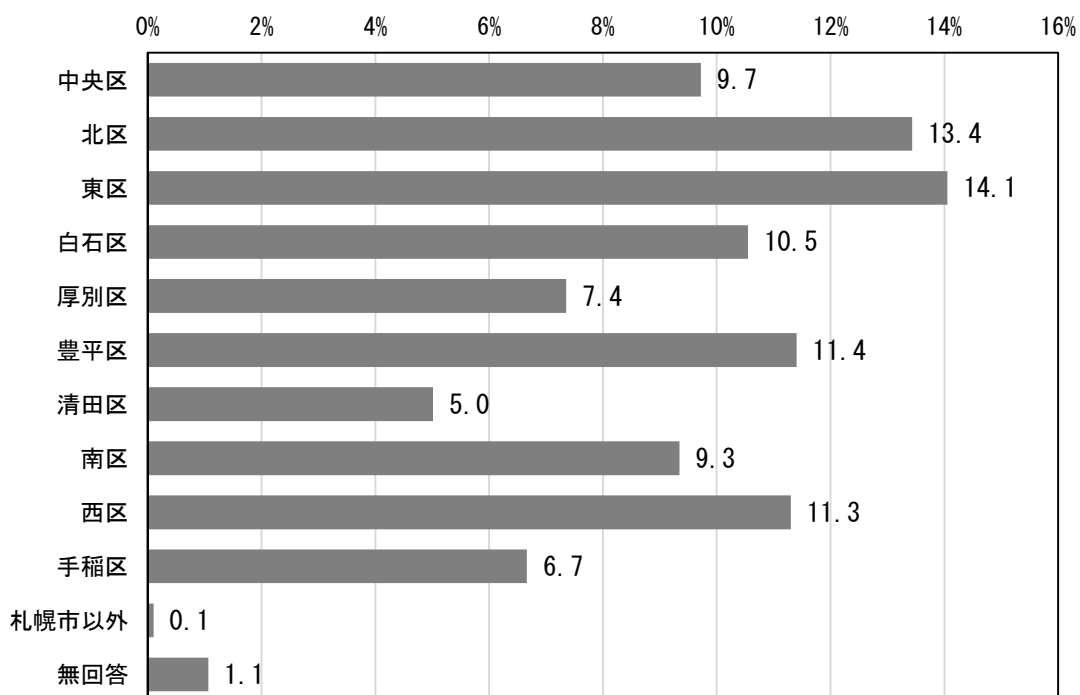


### 問 1-3 居住区

あなたがお住まいの区について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

居住区については、「東区」が14.1%と最も多く、次いで、「北区」が13.4%、「豊平区」(11.4%)と「西区」(11.3%)が同程度となっている。

図表1-3 居住区 (N=2,911)

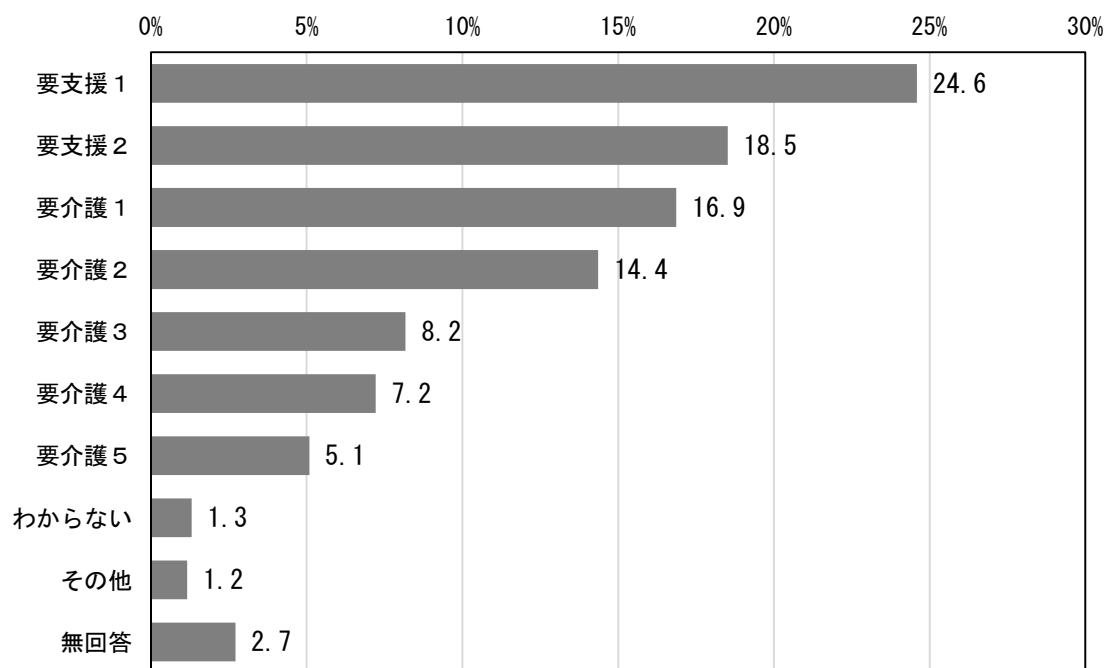


## 問1-4 介護度

あなたの現在の要介護（支援）度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護度については、「要支援1」が24.6%と最も多く、次いで、「要支援2」が18.5%、「要介護1」が16.9%となっている。

図表1-4 介護度 (N=2,911)



問1-5以降は、要介護度の判断できないもの（“その他”と“無回答”）を除き集計している。

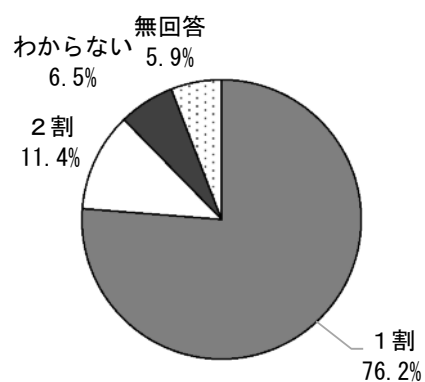


### 問 1-5 利用者負担割合

あなたの介護保険サービスの利用者負担割合は何割ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

利用者負担割合については、「1割」が76.2%、「2割」が11.4%となっている。

図表1-5 利用者負担割合 (N=2,798)

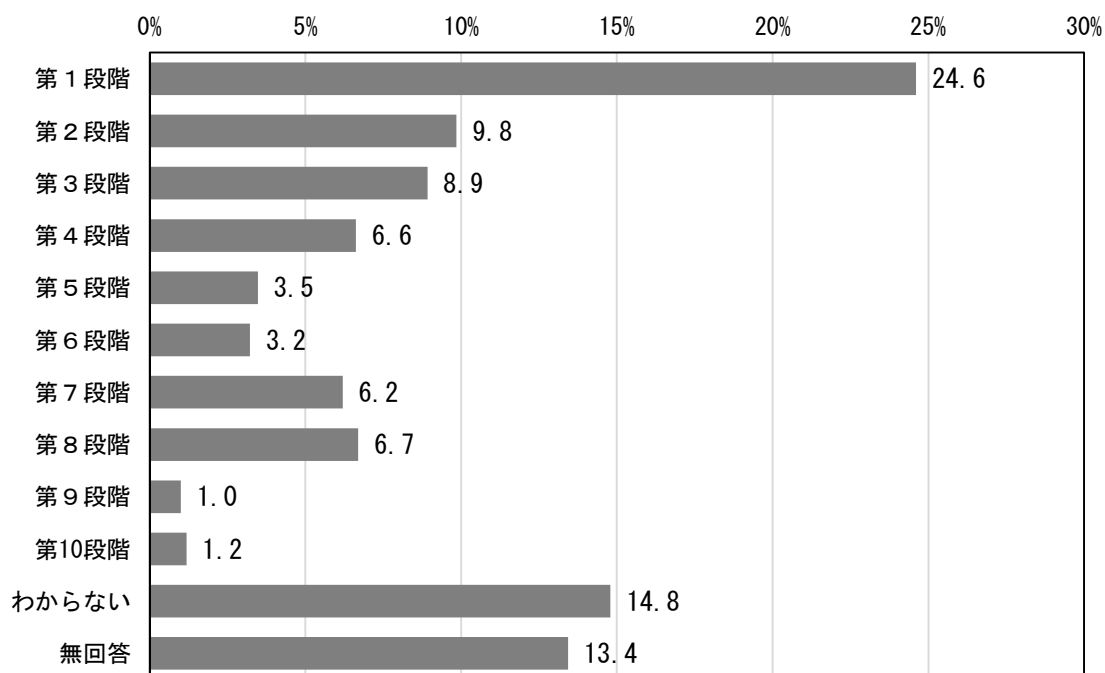


## 問 1-6 介護保険料所得段階

65歳以上の方にうかがいます。平成28年度の介護保険料所得段階は何段階ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護保険料所得段階については、「第1段階」が24.6%と最も多く、次いで、「第2段階」が9.8%、「第3段階」が8.9%となっている。

図表1-6 保険料所得段階 (N=2,792)

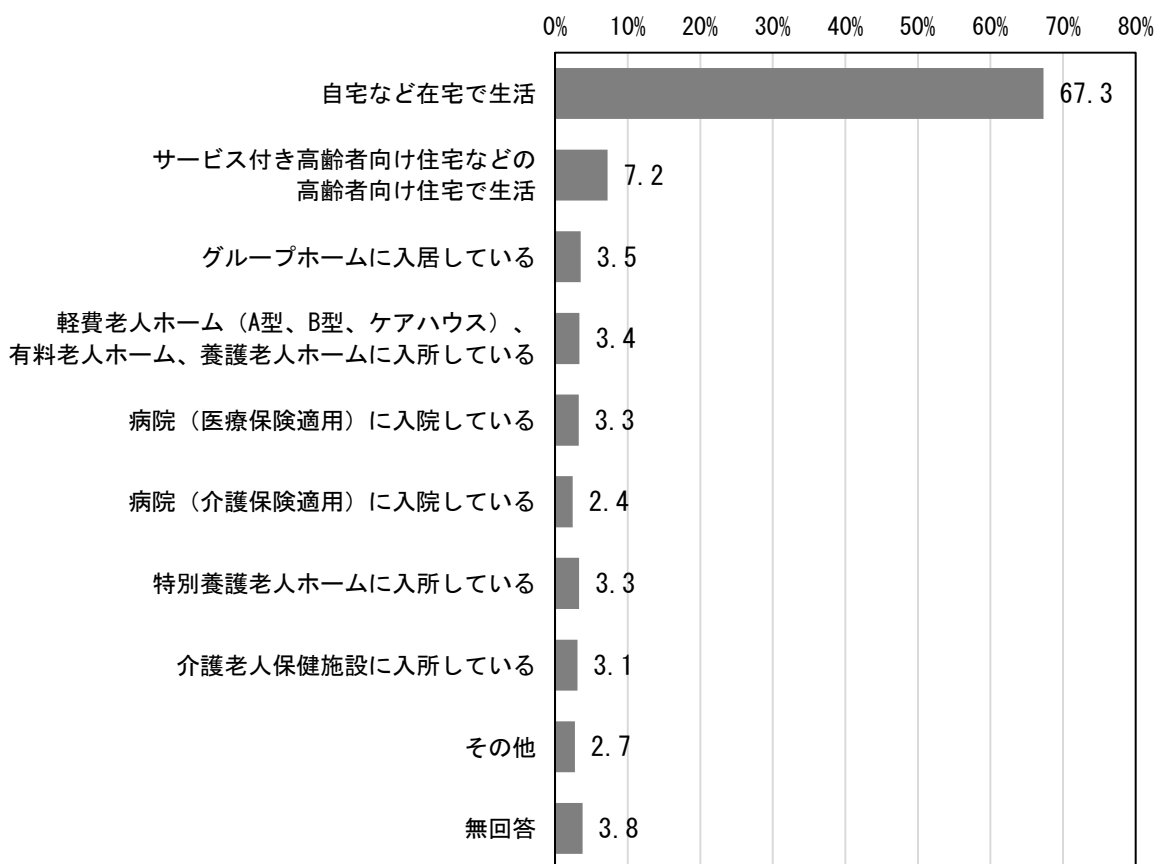


## 問 1-7 現在の生活場所

すべての方におうかがいします。現在どこで生活をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

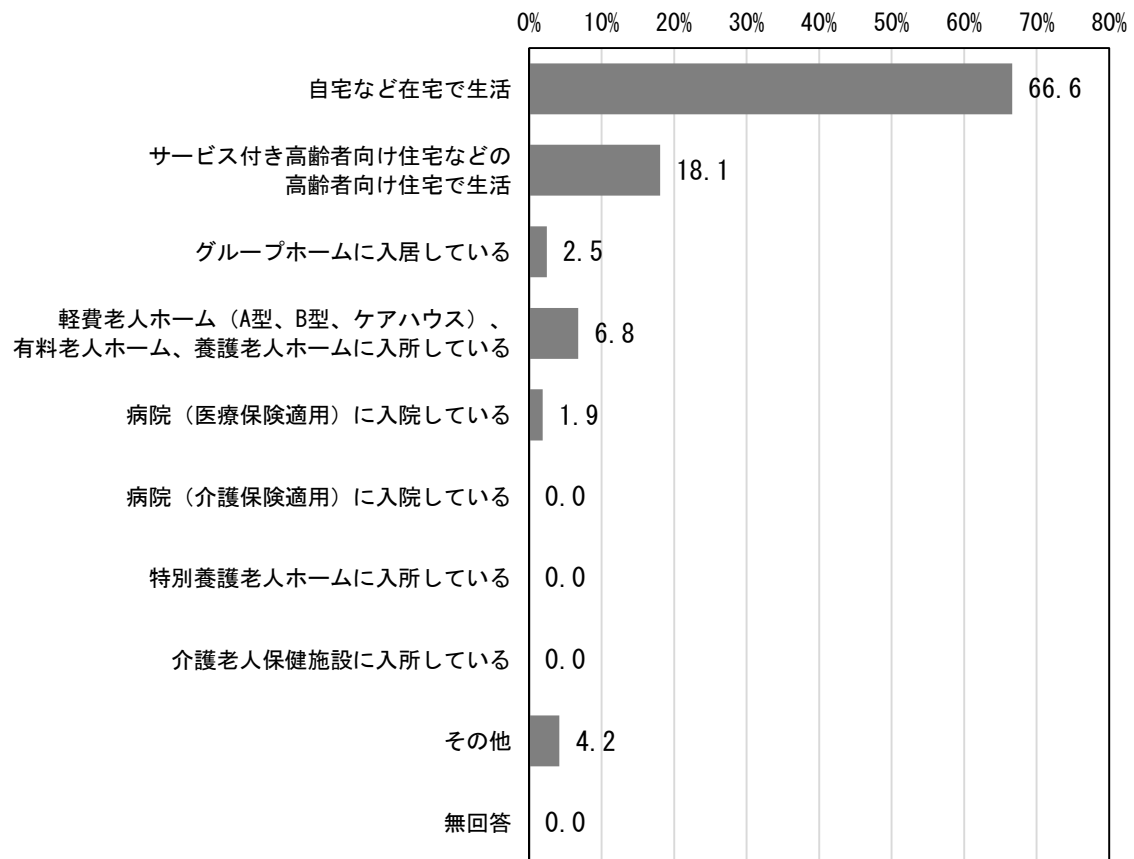
現在の生活場所については、「自宅など在宅で生活」が 67.3%と最も多く、次いで、「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅で生活」が 7.2%となっている。

図表1-7 現在の生活場所 (N=2,798)



問 1-8 以降は、介護保険施設（“病院（介護保険適用）” “特別養護老人ホーム” “介護老人保健施設”）に入所しているもの及び、無回答を除き集計している。

図表1-7-1 現在の生活場所（問1-8「ひとり暮らし」と回答した方のみ）（N=692）



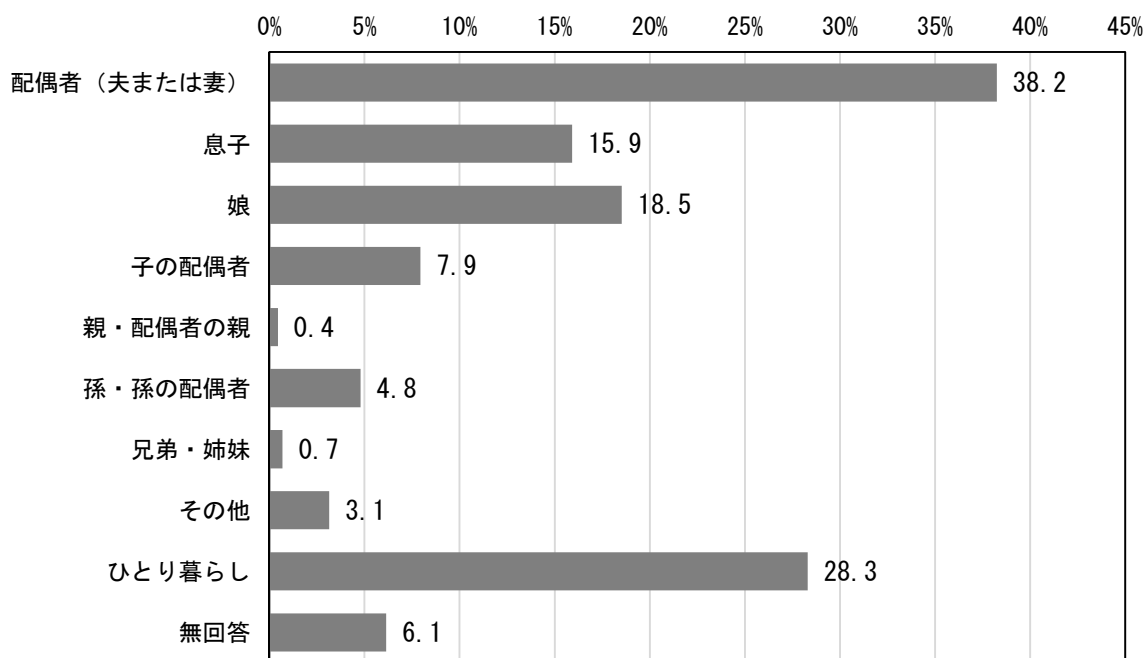
## 問1-8 同居者

[複数回答]

あなたと同居している方（「二世帯住宅」にお住まいの方を含む）はどなたですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

同居者については、「配偶者（夫または妻）」が38.2%と最も多く、次いで、「ひとり暮らし」が28.3%、「娘」が18.5%となっている。

図表1-8 同居者 (N=2,445)

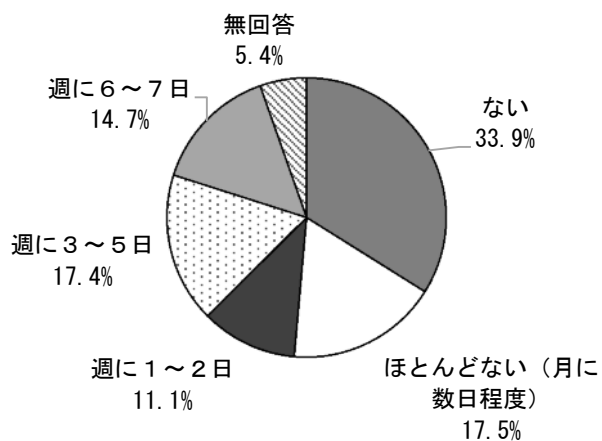


### 問1-9 日中ひとりになる時

あなたは日中、ひとりで過ごすことが、1週間に何日くらいありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

日中ひとりになる時については、「ない」が33.9%と最も多く、次いで、「ほとんどない（月に数日程度）」が17.5%、「週に3～5日」が17.4%とほぼ同程度となっている。

図表1-9 日中ひとりになる時 (N=2,445)



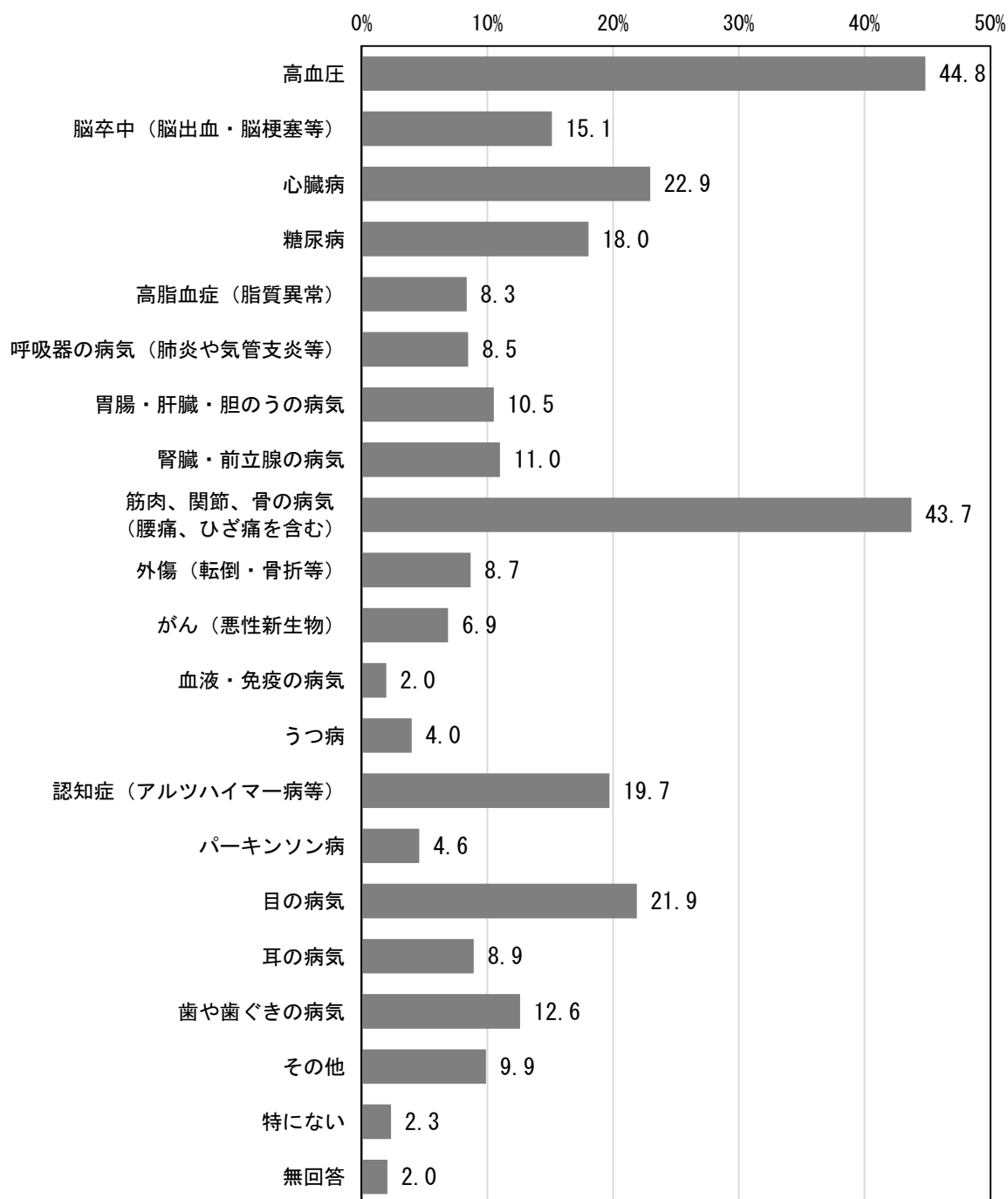
## 問1-10 治療中、後遺症のある病気

[複数回答]

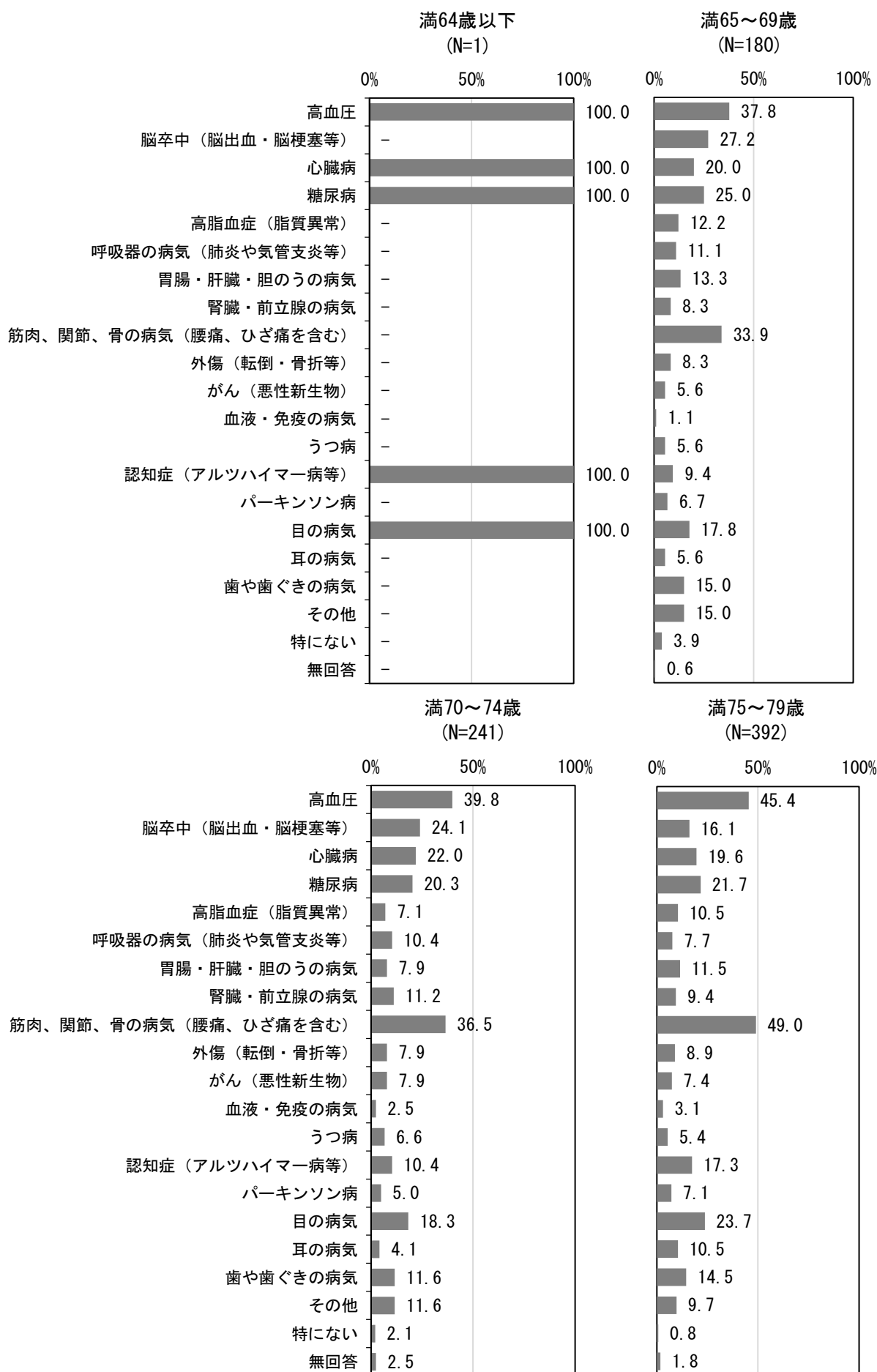
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

治療中、後遺症のある病気については、「高血圧」が44.8%と最も多く、次いで、「筋肉、関節、骨の病気（腰痛、ひざ痛を含む）」が43.7%、「心臓病」が22.9%となっている。

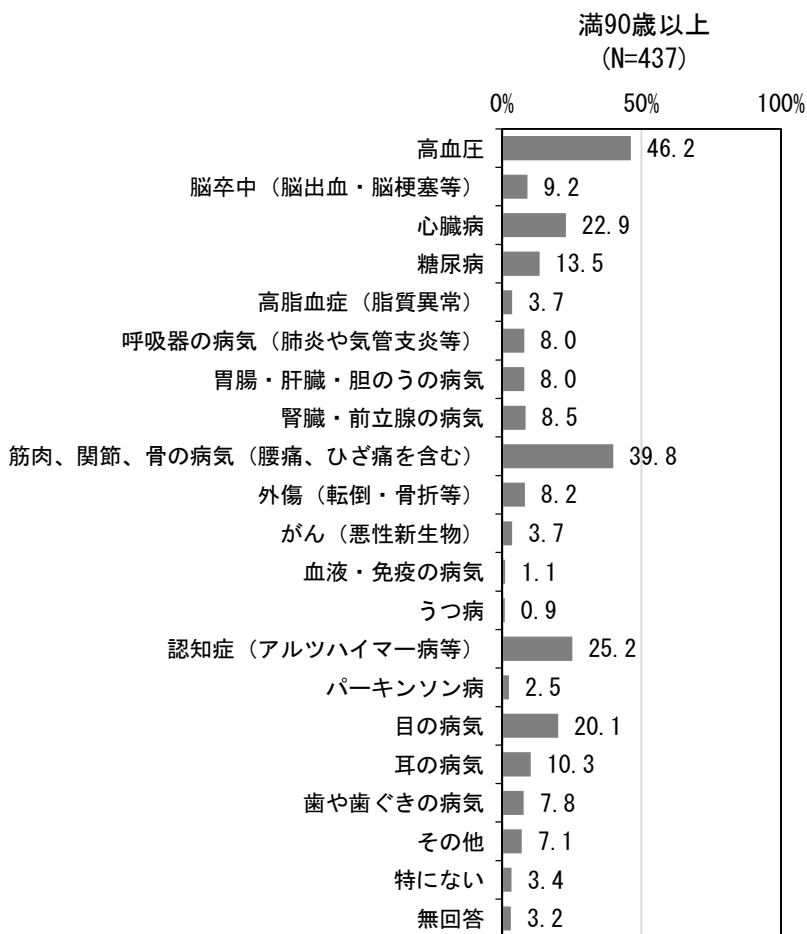
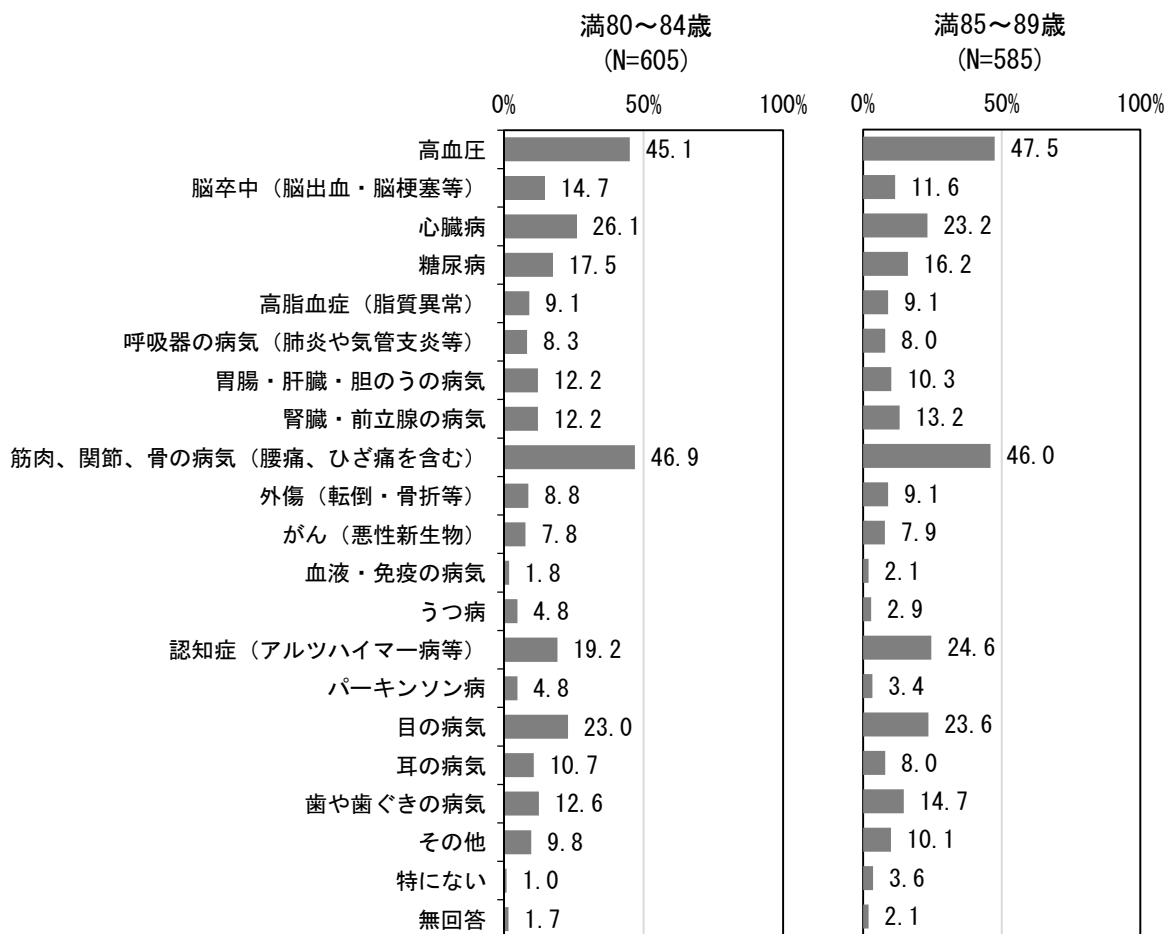
図表1-10 治療中、後遺症のある病気 (N=2,445)



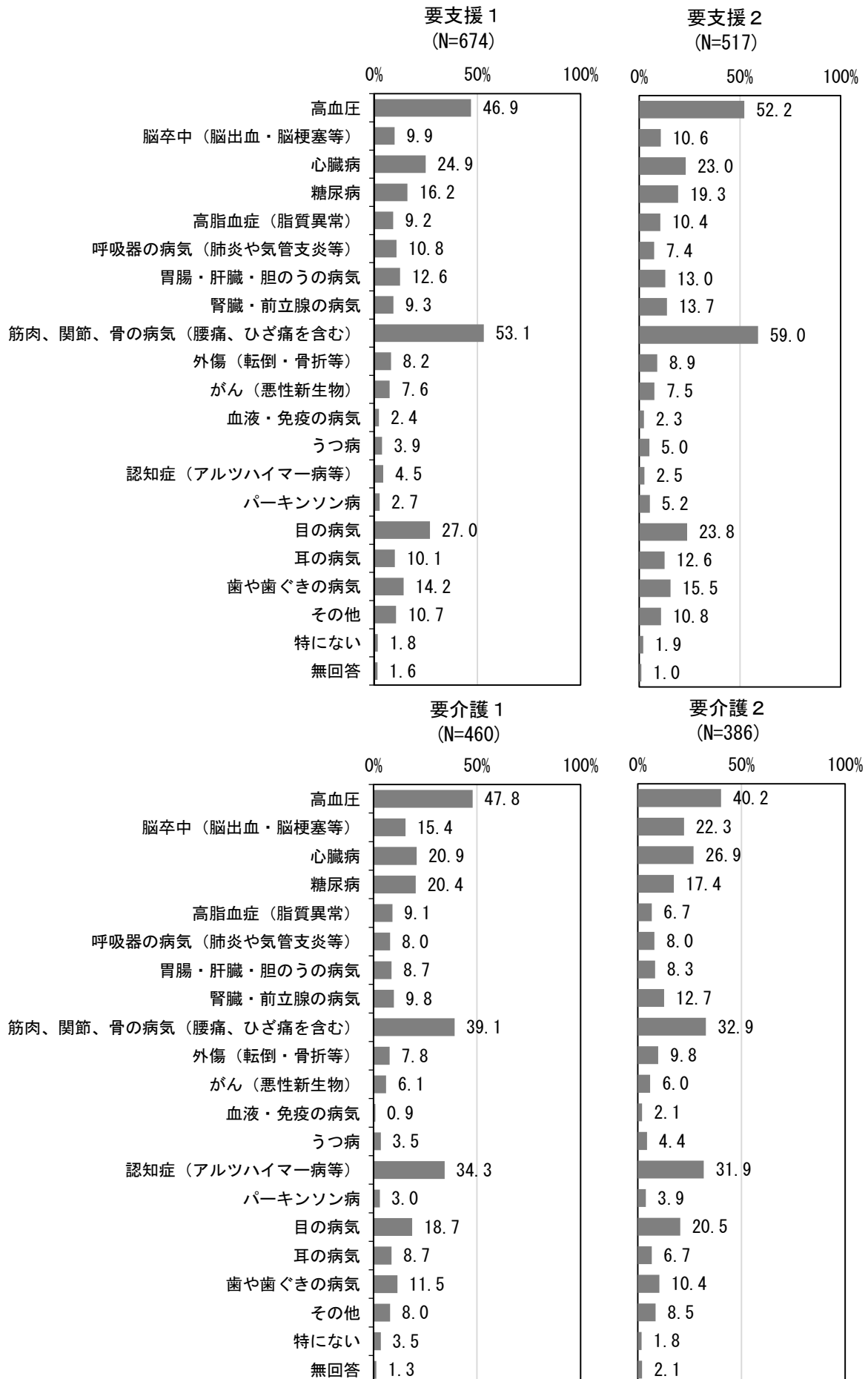
図表 1-10-1 問 1-10 治療中、後遺症のある病気×問 1-2 年齢

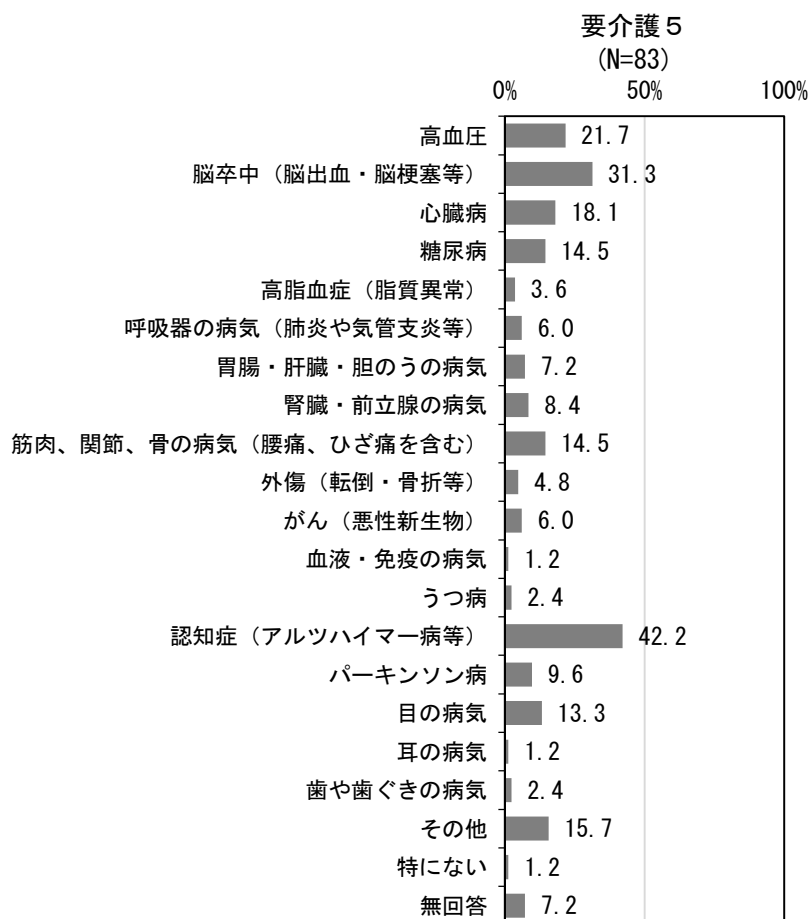
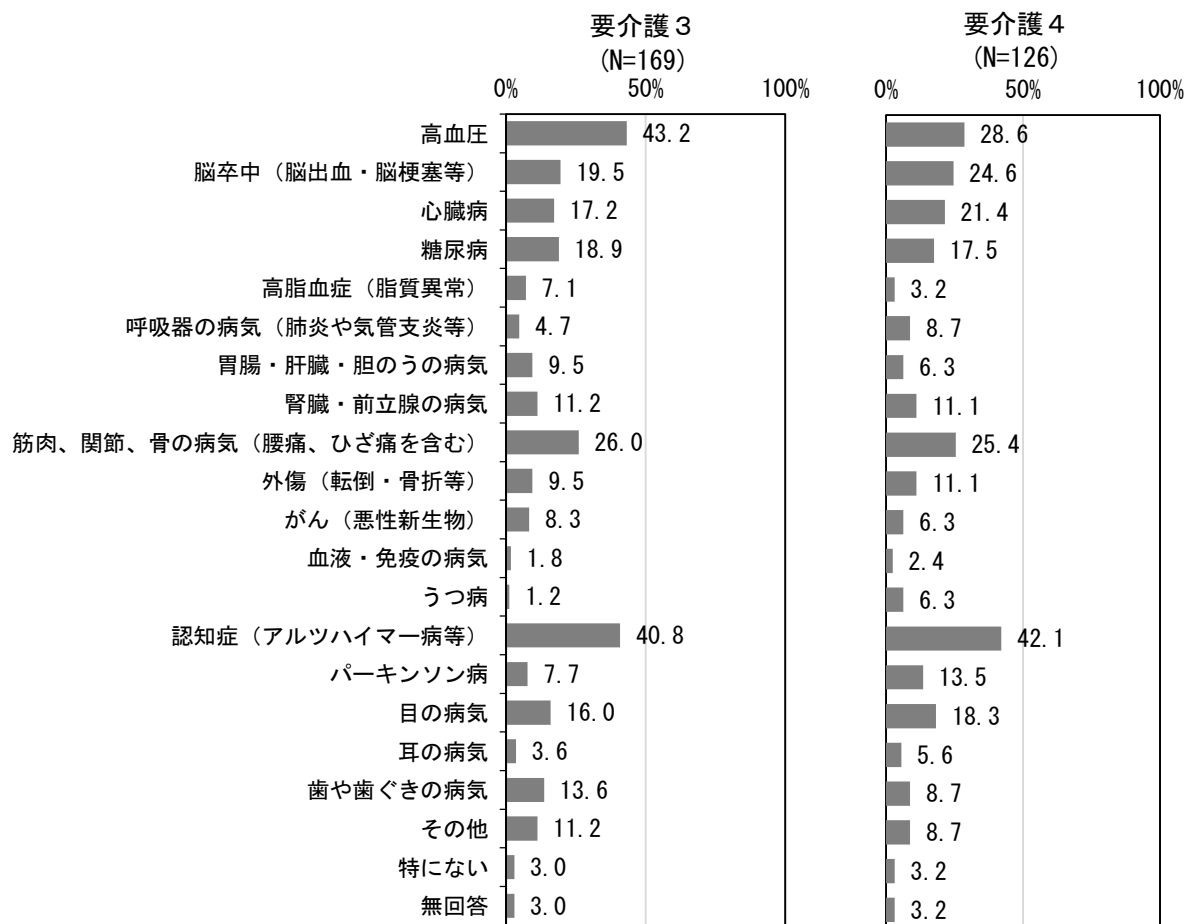






図表 1-10-2 問 1-10 治療中、後遺症のある病気 × 問 1-4 介護度





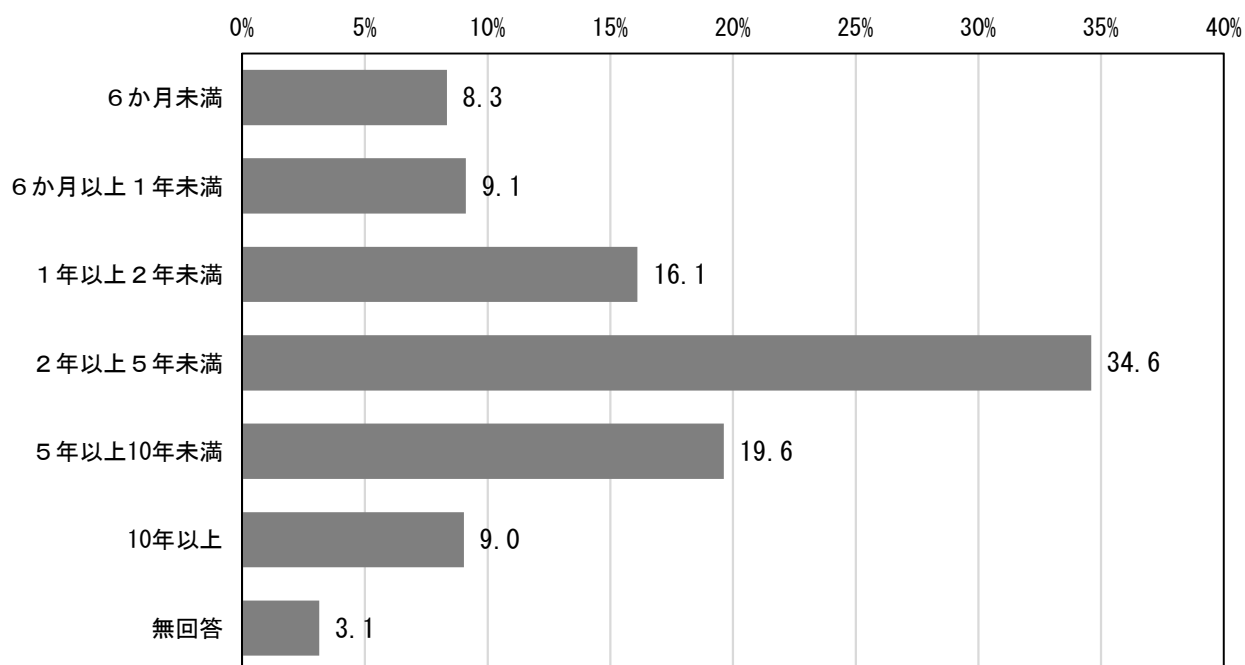
## 2. 2 あなたと介護保険の関わりについて

### 問2-1 認定を受けてからの期間

あなたが最初に要介護（支援）認定を受けてから、どのくらい期間がたちましたか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

認定を受けてからの期間については、「2年以上5年未満」が34.6%と最も多く、次いで、「5年以上10年未満」が19.6%、「1年以上2年未満」が16.1%となっている。

図表2-1 認定を受けてからの期間 (N=2,445)



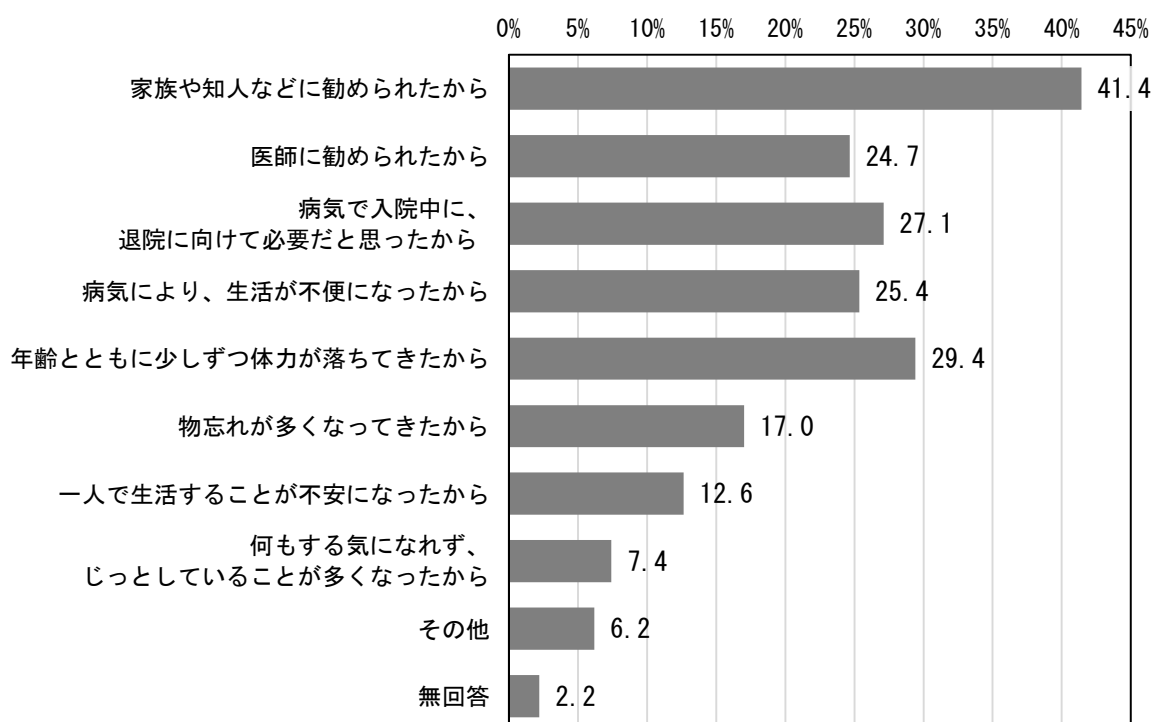
## 問2-2 認定を受けたきっかけ

[複数回答]

あなたが要介護（支援）認定を受けたきっかけはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

認定を受けたきっかけについては、「家族や知人などに勧められたから」が41.4%と最も多く、次いで、「年齢とともに少しずつ体力が落ちてきたから」が29.4%、「病院で入院中に、退院に向けて必要だと思ったから」が27.1%となっている。

図表2-2 認定を受けたきっかけ (N=2,445)

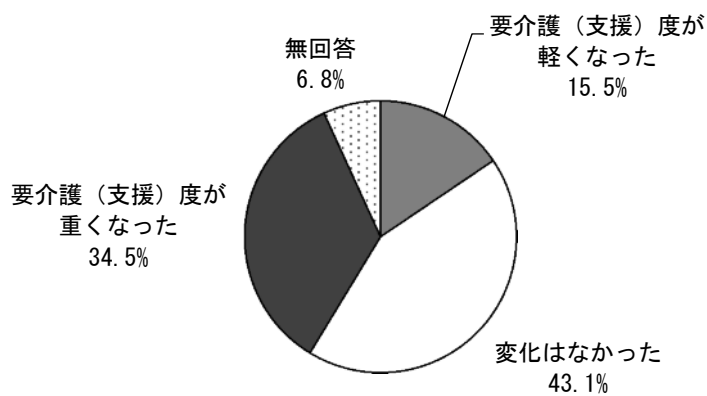


### 問2-3 介護度の変化

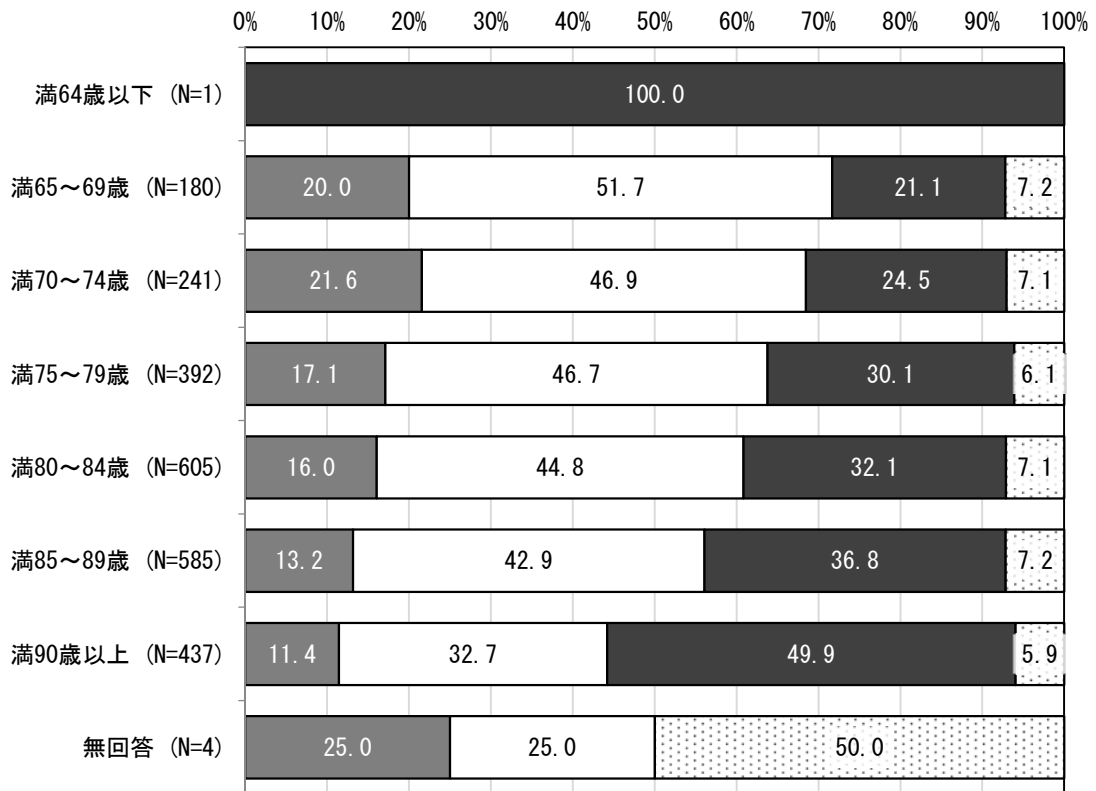
最初に要介護（支援）認定を受けたときと現在の要介護（支援）度に変化はありましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護度の変化については、「変化はなかった」が43.1%と最も多く、次いで、「要介護（支援）度が重くなった」が34.5%、「要介護（支援）度が軽くなった」が15.5%となっている。

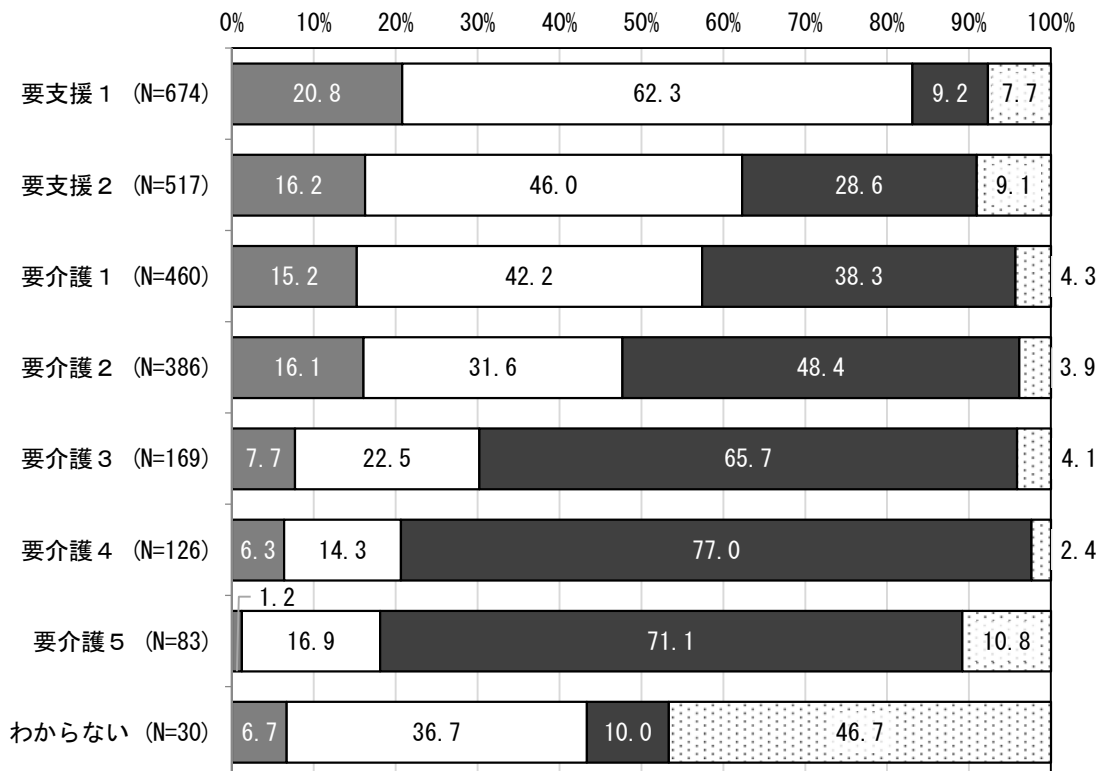
図表2-3 介護度の変化 (N=2,445)



図表2-3-1 問2-3 介護度の変化 × 問1-2 年齢

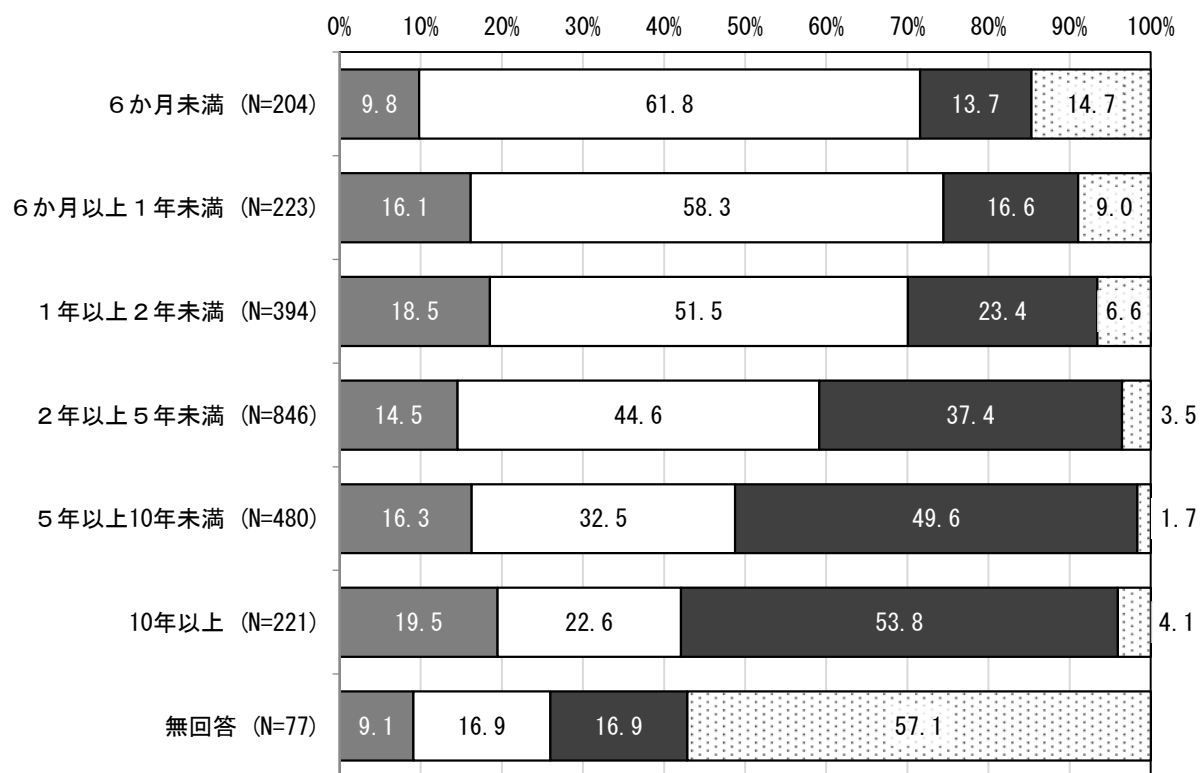


図表2-3-2 問2-3 介護度の変化 × 問1-4 介護度



■ 要介護（支援）度が軽くなった      □ 変化はなかった  
 ■ 要介護（支援）度が重くなった      □ 無回答

図表2-3-3 問2-3 介護度の変化 × 問2-1 認定を受けてからの期間



要介護（支援）度が軽くなった       変化はなかった  
 要介護（支援）度が重くなった       無回答



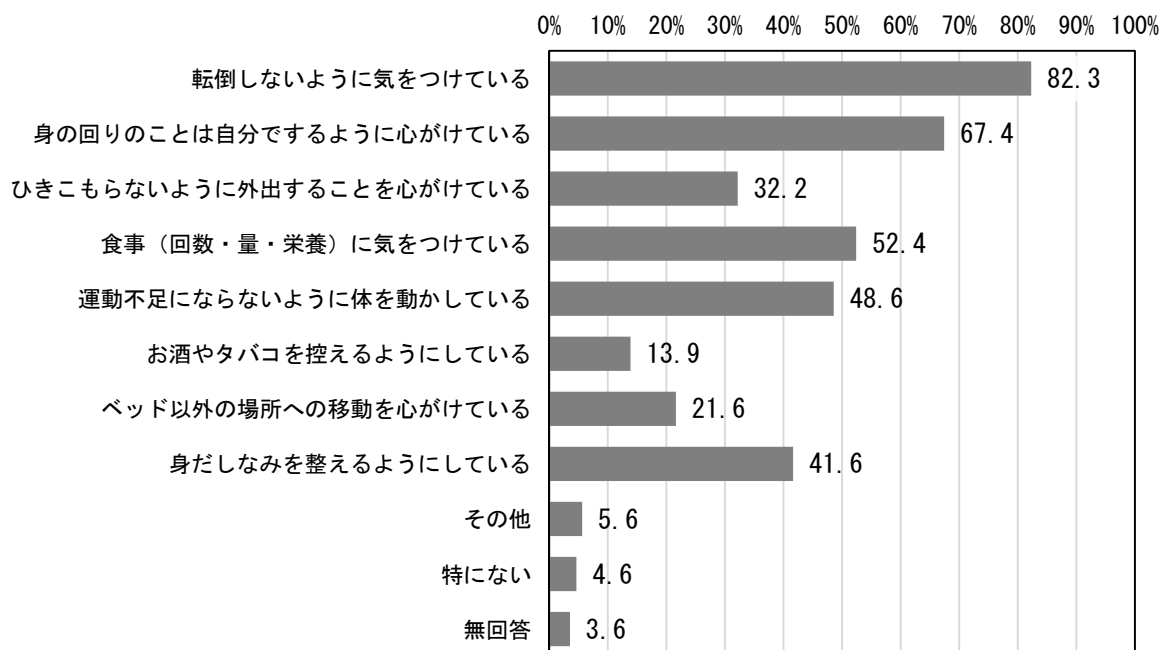
## 問2-4 介護度が重くならないように気をつけていること

[複数回答]

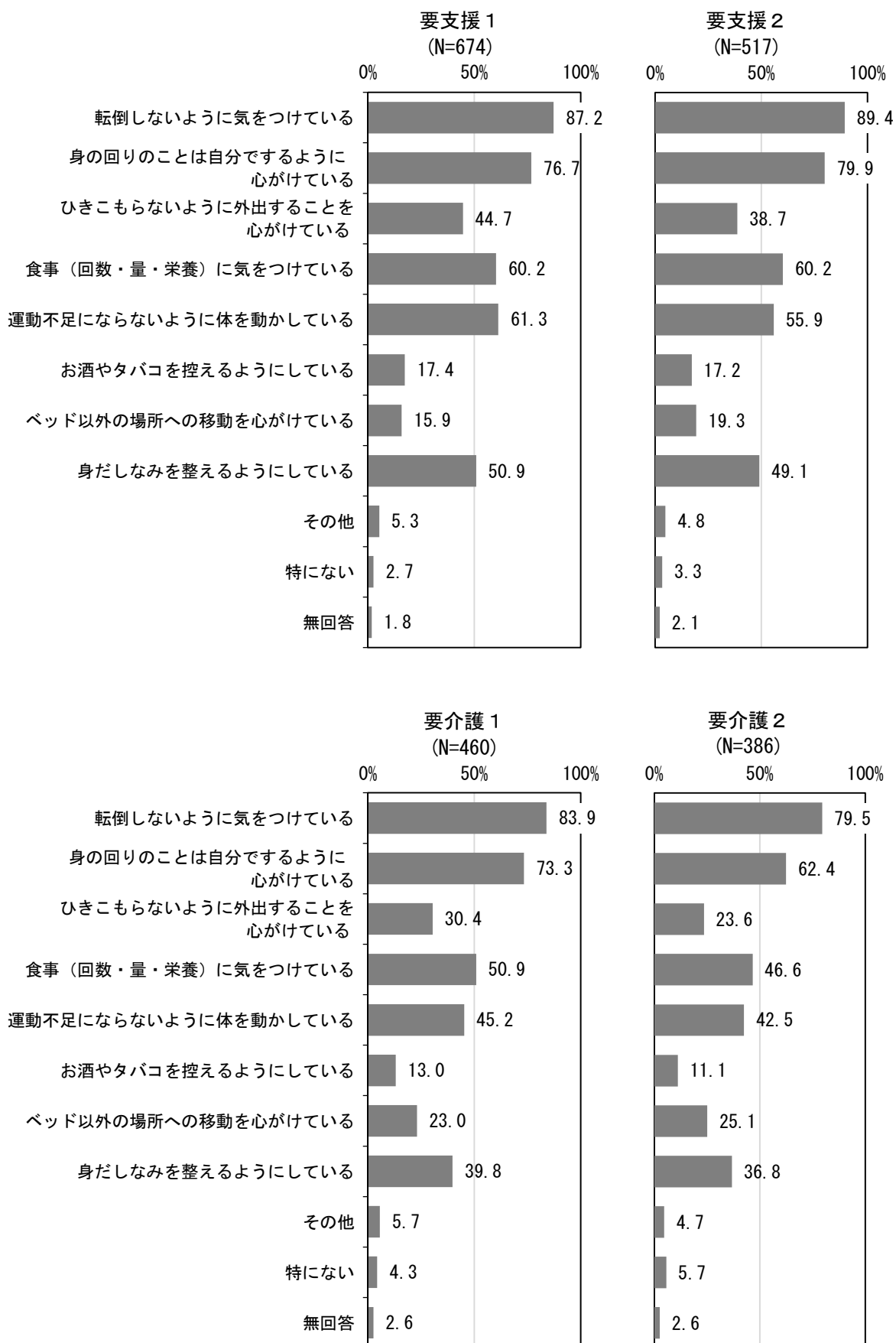
要介護（支援）度が重くならないように気をつけていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

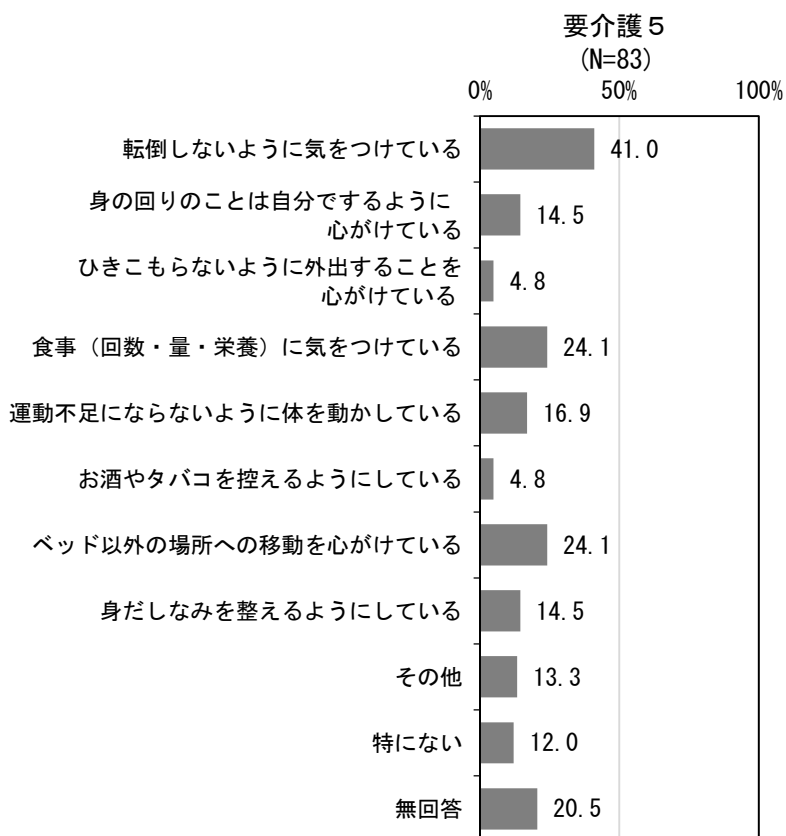
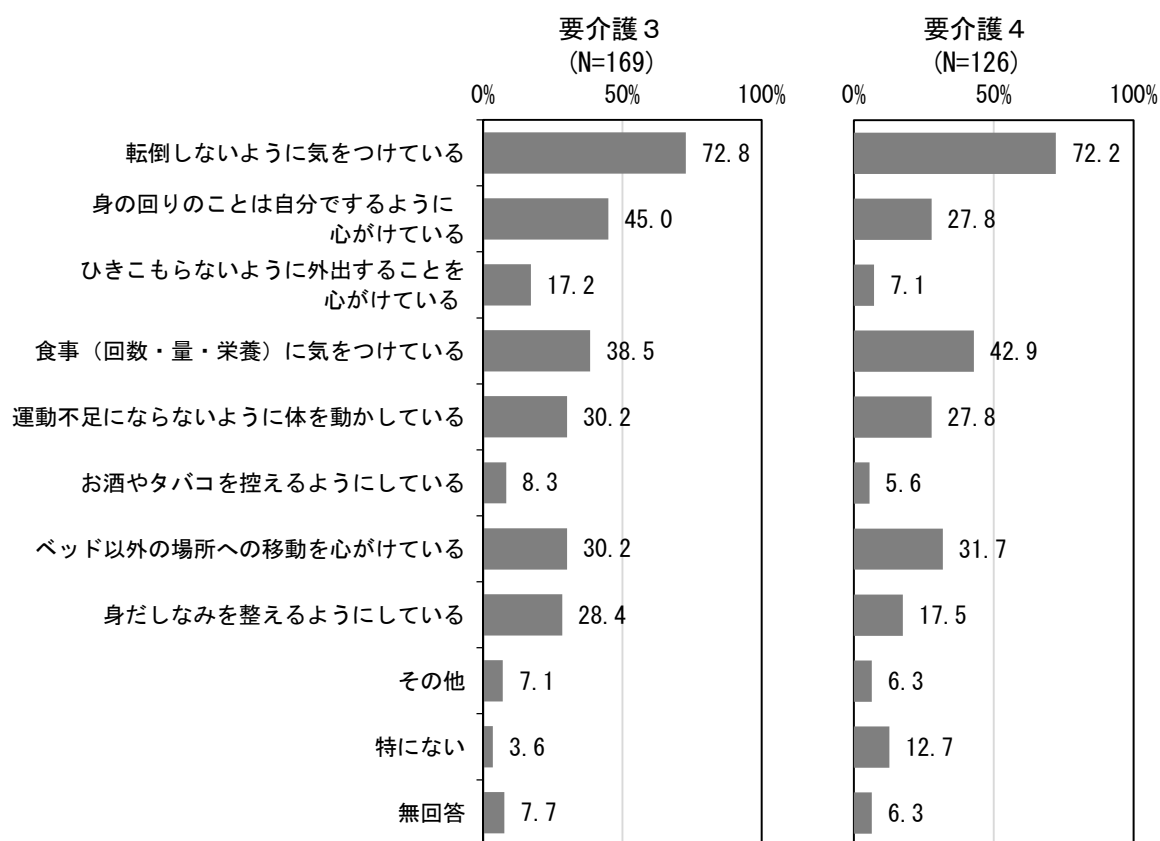
介護度が重くならないように気をつけていることについては、「転倒しないように気をつけている」が82.3%と最も多く、次いで、「身の回りのことは自分でするように心がけている」が67.4%、「食事（回数・量・栄養）に気をつけている」が52.4%となっている。

図表2-4 介護度が重くならないように気をつけていること (N=2,445)

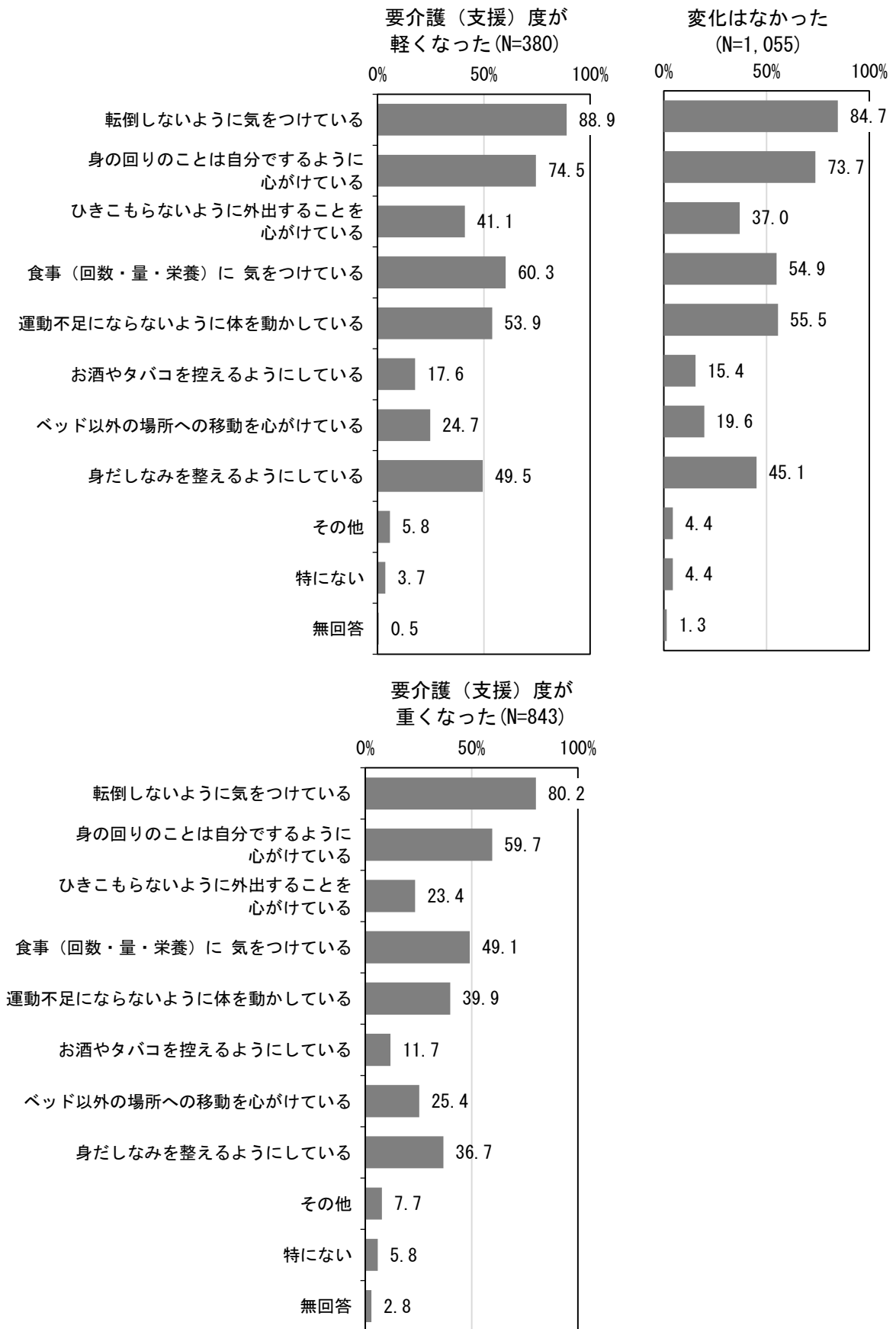


図表 2-4-1 問 2-4 介護度がおもくならないように気をつけていること × 問 1-4 介護度





図表 2-4-2 問 2-4 介護度がおもくならないように気をつけていること×問 2-3 介護度の変化

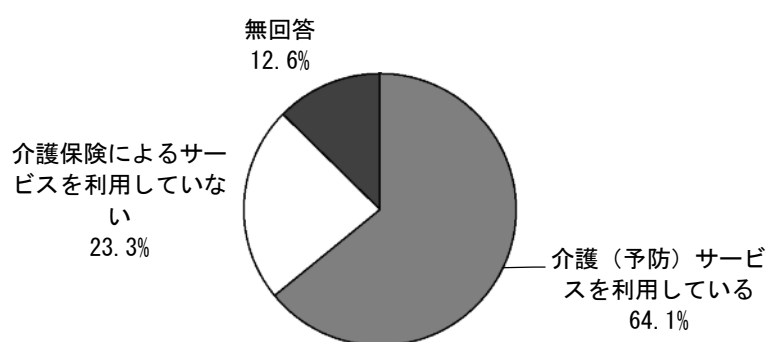


## 問2-5 介護サービス利用の有無

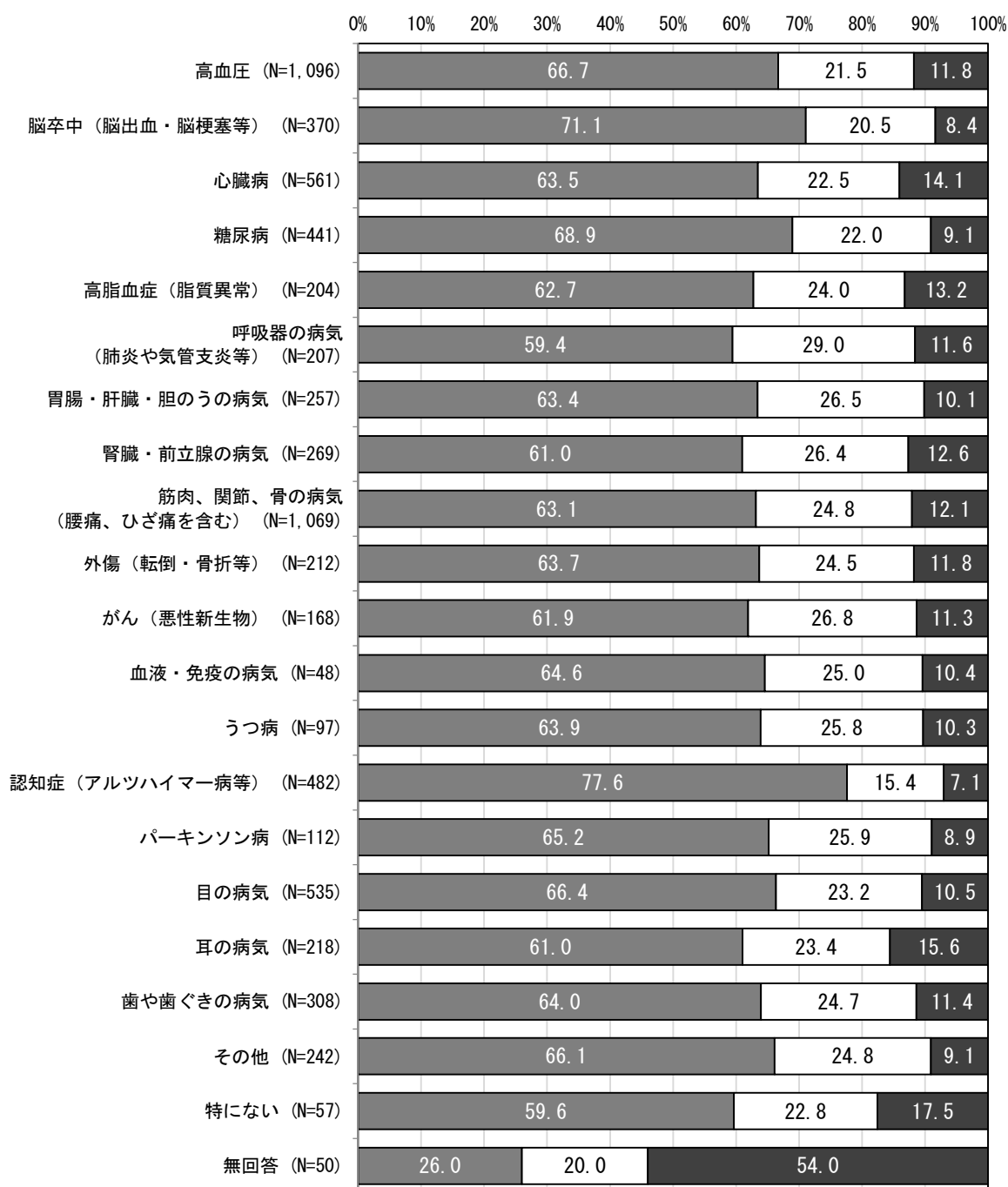
あなたは現在、介護保険による介護（予防）サービスを利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護サービス利用の有無については、「介護(予防)サービスを利用している」が64.1%、「介護保険によるサービスを利用していない」が23.3%となっている。

図表2-5 介護サービス利用の有無 (N=2,445)



図表2-5-1 問2-5 介護サービス利用の有無 × 問1-10 治療中、後遺症のある病気



■介護（予防）サービスを利用している

□介護保険によるサービスを利用していない

■無回答

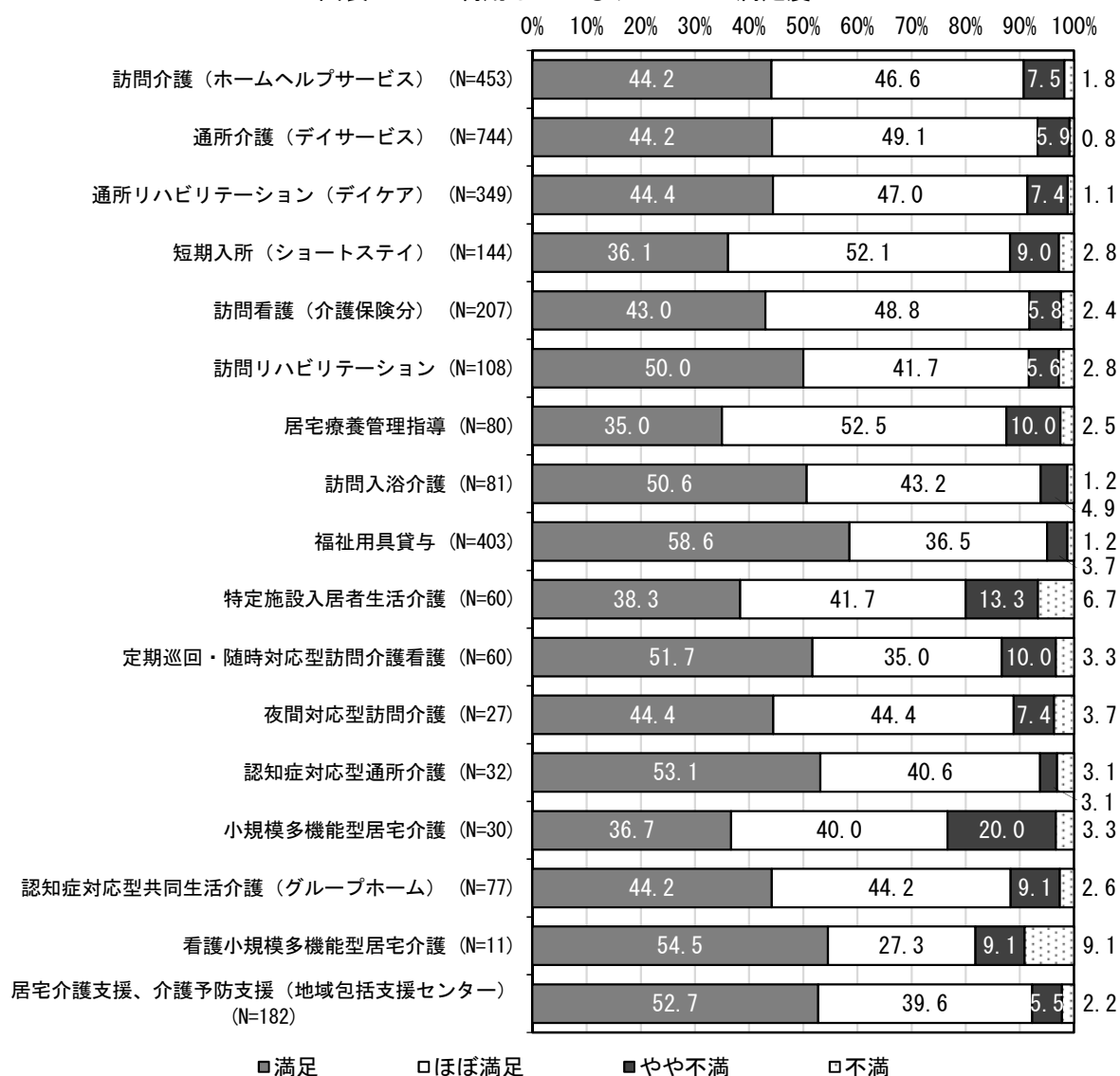
## 2. 3 介護（予防）サービスの利用状況について

### 問3-1（1） 利用しているサービスの満足度

《介護（予防）サービスを利用している方にかがいます。》  
 あなたが現在利用している介護（予防）サービスについてうかがいます。  
 下に記載の1～17の各サービスについて、満足しているかどうか1～5のあてはまるもの1つに○をつけてください。

介護サービス別でみると、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた割合が、すべてのサービスで7割を超えている。

図表3-1-1 利用しているサービスの満足度



“利用していない”及び“無回答”を除いて集計している。

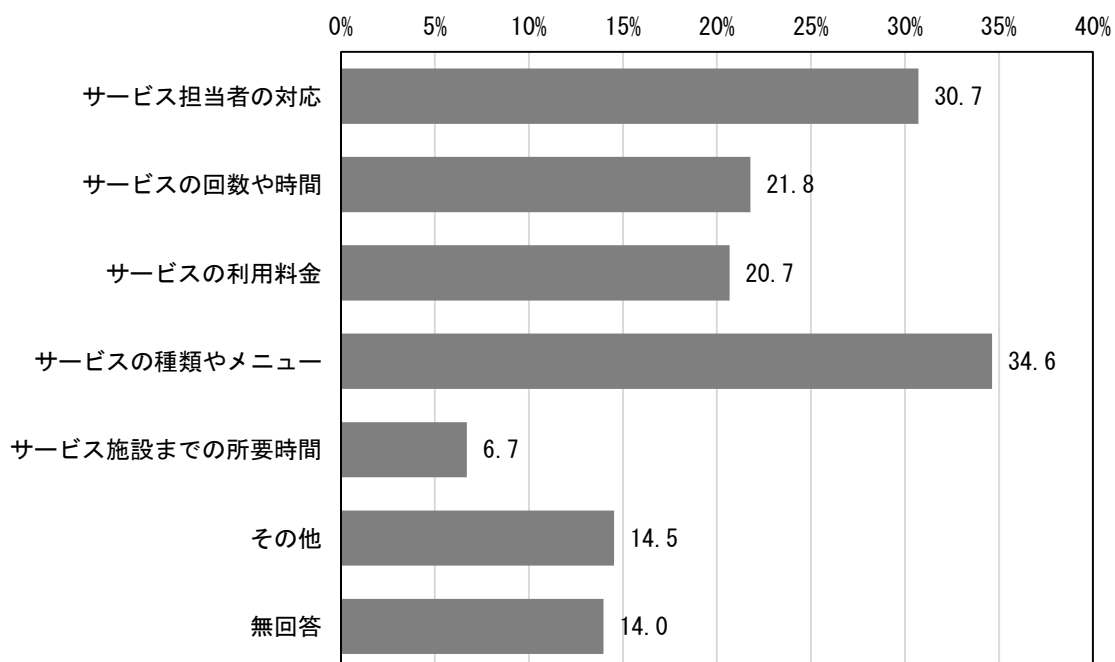
### 問3-1(2) 利用しているサービスの満足度で不満の理由

[複数回答]

「介護（予防）サービスを利用している方にうかがいます。」  
あなたが現在利用している介護（予防）サービスについてうかがいます。  
（1）で、いずれかのサービスに「3. やや不満」または「4. 不満」と答えた方におうかがいします。不満に感じている理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

不満の理由については、「サービスの種類やメニュー」が34.6%と最も多く、次いで、「サービス担当者の対応」が30.7%、「サービスの回数や時間」が21.8%となっている。

図表3-1-2 (1)で不満の理由 (N=179)



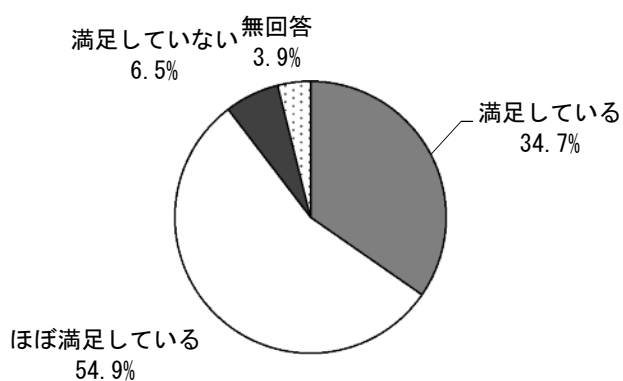


### 問3-1(3) サービス量の満足度

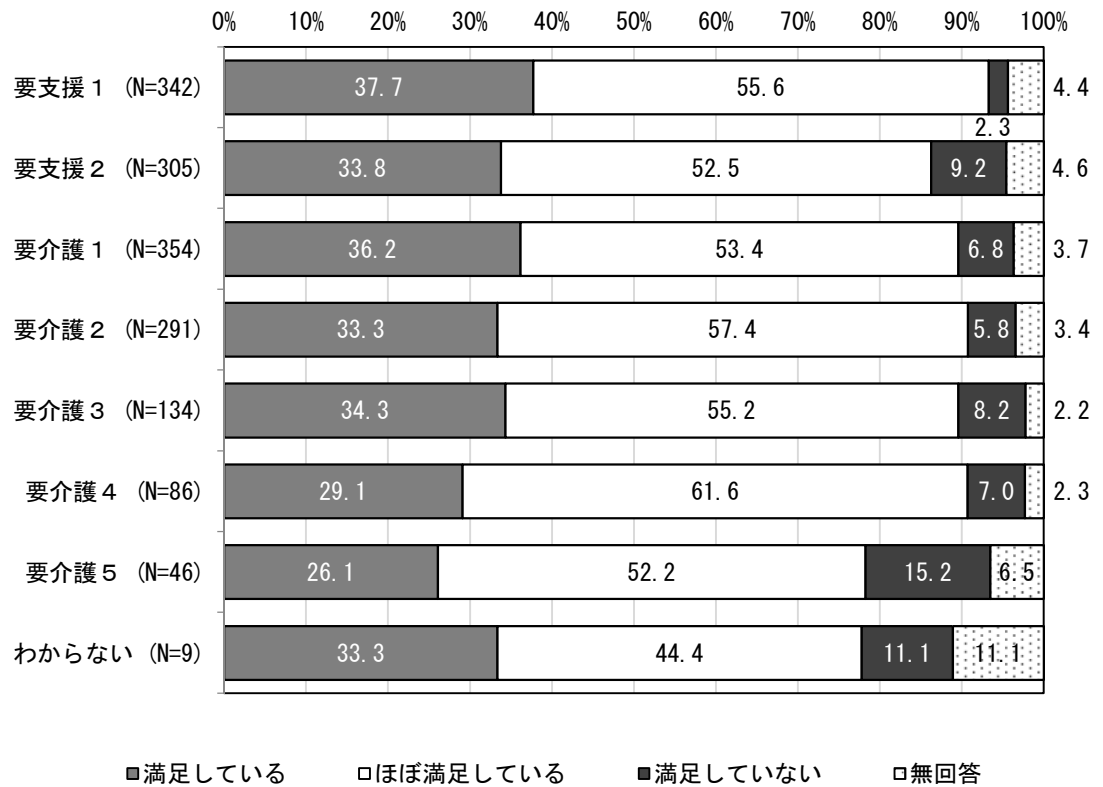
「介護（予防）サービスを利用している方にうかがいます。」  
あなたが現在利用している介護（予防）サービスについてうかがいます。  
現在受けている介護（予防）サービスの全体量について、どのくらい満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

サービス量の満足度については、「ほぼ満足している」が54.9%と最も多く、次いで、「満足している」が34.7%、「満足していない」が6.5%となっている。

図表3-1-3 サービス量の満足度 (N=1,567)



図表3-1-3 問3-1(3) サービス量の満足度 × 問1-4 介護度



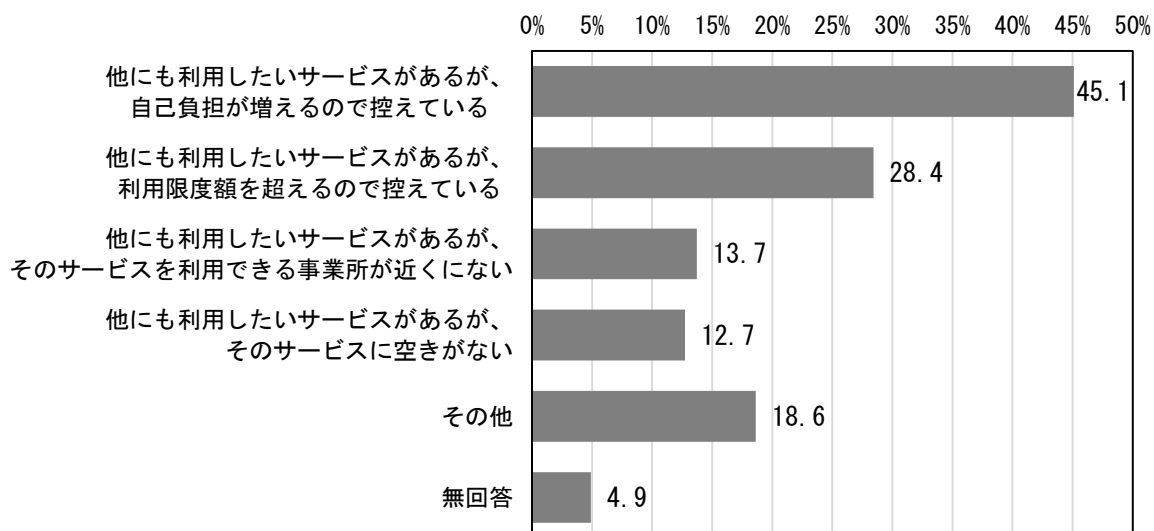
### 問3-1(4) サービス量の満足度で不満の理由

[複数回答]

「介護（予防）サービスを利用している方にうかがいます。」  
あなたが現在利用している介護（予防）サービスについてうかがいます。  
(3)で「3.満足していない」と答えた方におうかがいします。満足していない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(3)で不満の理由については、「他にも利用したいサービスがあるが、自己負担が増えるので控えている」が45.1%と最も多く、次いで、「他にも利用したいサービスがあるが、利用限度額を超えるので控えている」が28.4%、「他にも利用したいサービスがあるが、そのサービスを利用できる事業所が近くにない」が13.7%となっている。

図表3-1-4 (3)で不満の理由 (N=102)



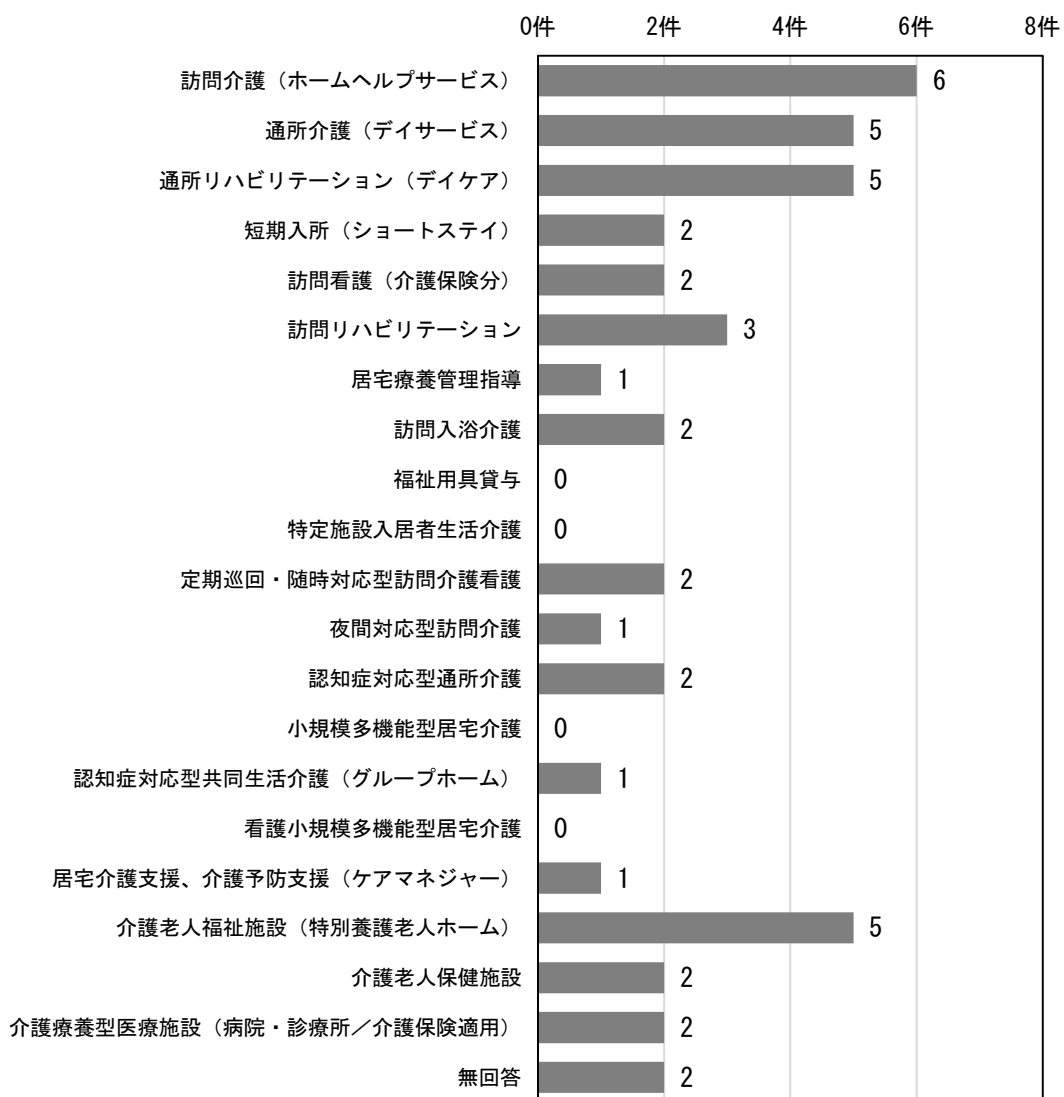
問3-1 (5) 利用できないサービス

[複数回答]

「介護（予防）サービスを利用している方にかがいます。」  
 あなたが現在利用している介護（予防）サービスにかがいます。  
 (4)で「3.他にも利用したいサービスがあるが、そのサービスを利用できる事業所が近くにない」または「4.他にも利用したいサービスがあるが、そのサービスに空きがない」と答えた方にかがいます。近くにないサービス事業所、空きがないサービスは、次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(4)で利用できないサービスについては、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が6件と最も多く、次いで、「通所介護（デイサービス）」、「通所リハビリテーション（デイケア）」、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が5件と同じ数値で並んでいる。

図表3-1-5 (4)で利用できないサービス (N=25)

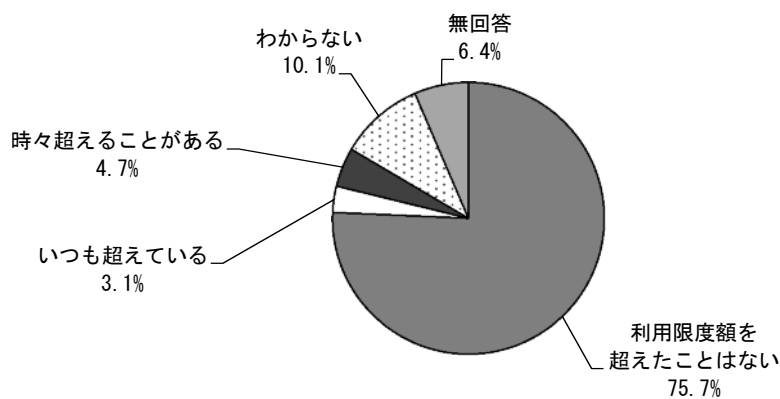


### 問3-1(6) 利用限度を超えた経験

「介護（予防）サービスを利用している方にうかがいます。」  
あなたが現在利用している介護（予防）サービスについてうかがいます。  
あなたは、利用限度額を超えて介護（予防）サービスを受けたことがありますか。あ  
てはまるもの1つに○をつけてください。

利用限度を超えた経験については、「利用限度を超えたことはない」が75.7%と最も多く、次いで、「時々超えることがある」が4.7%、「いつも超えている」が3.1%となっている。

図表3-1-6 利用限度を超えた経験 (N=1,567)

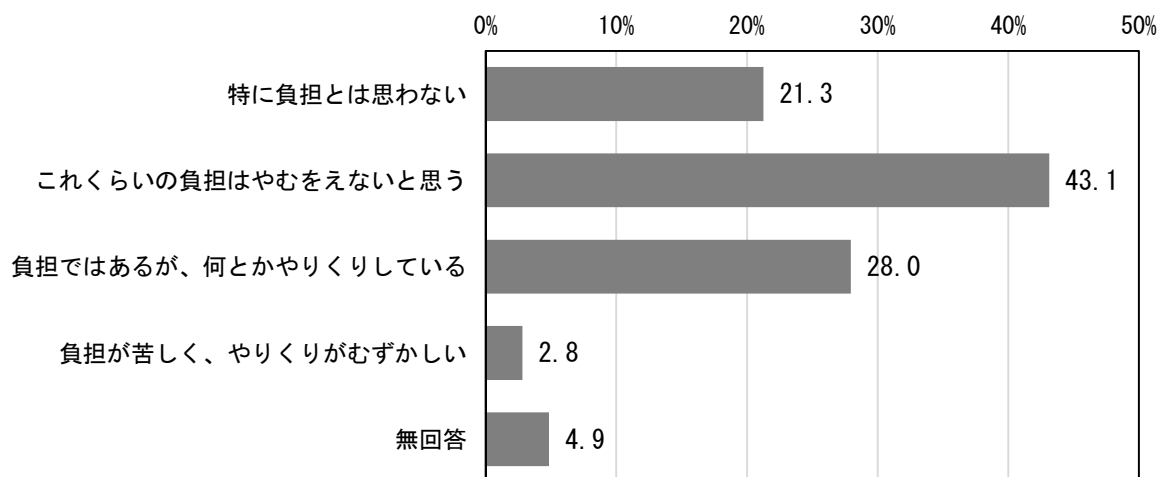


### 問3-2 利用料の負担感

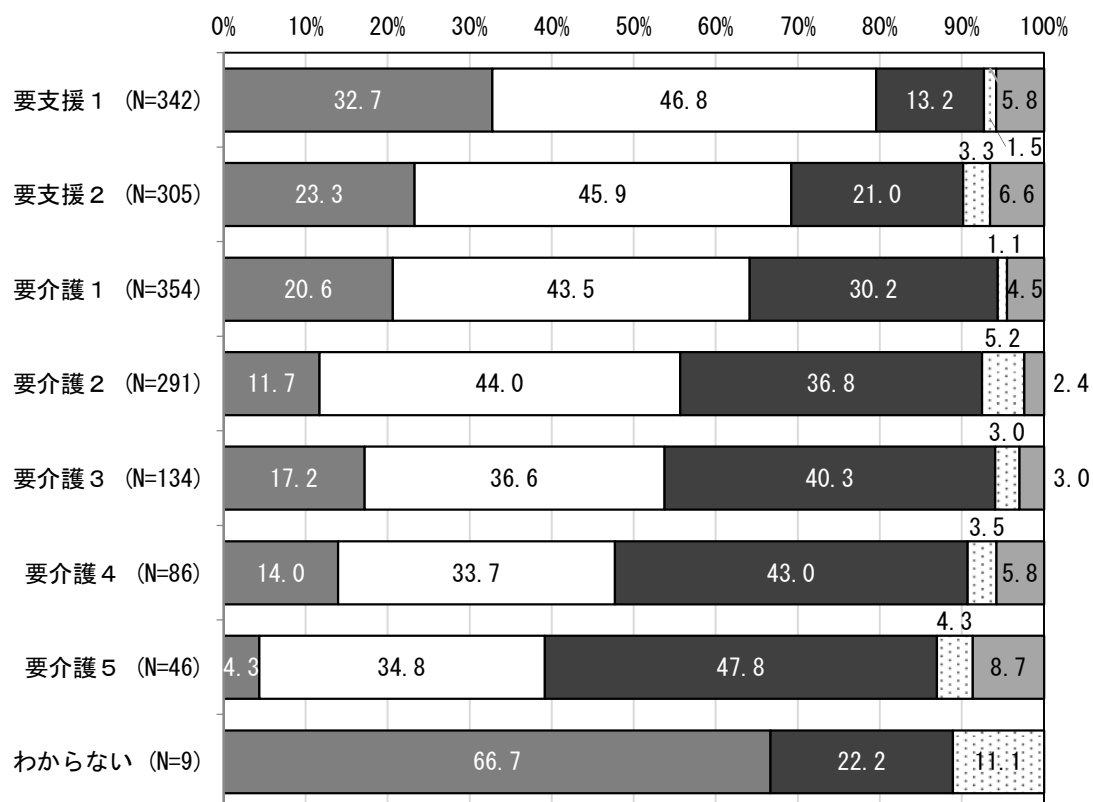
「介護（予防）サービスを利用している方にかかっています。」  
あなたは、現在支払っている介護（予防）サービスの利用料（自己負担額）について  
どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

利用料の負担感については、「これくらいの負担はやむをえないと思う」が43.1%と最も多く、次いで、「負担ではあるが、何とかやりくりしている」が28.0%、「特に負担とは思わない」が21.3%となっている。

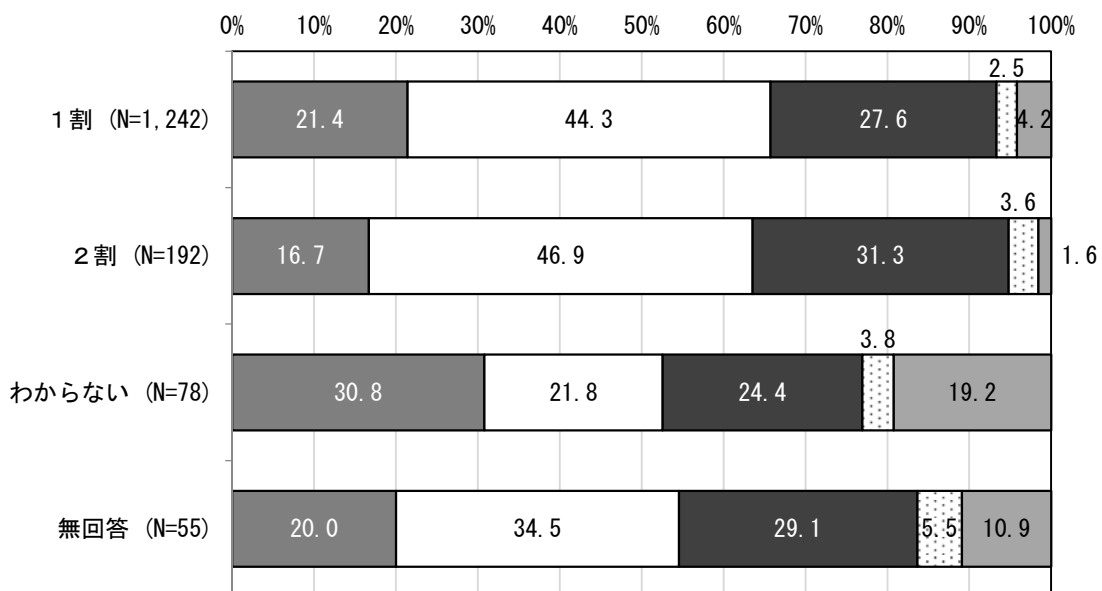
図表3-2 利用料の負担感 (N=1,567)



図表3-2-1 問3-2 利用料の負担感 × 問1-4 介護度

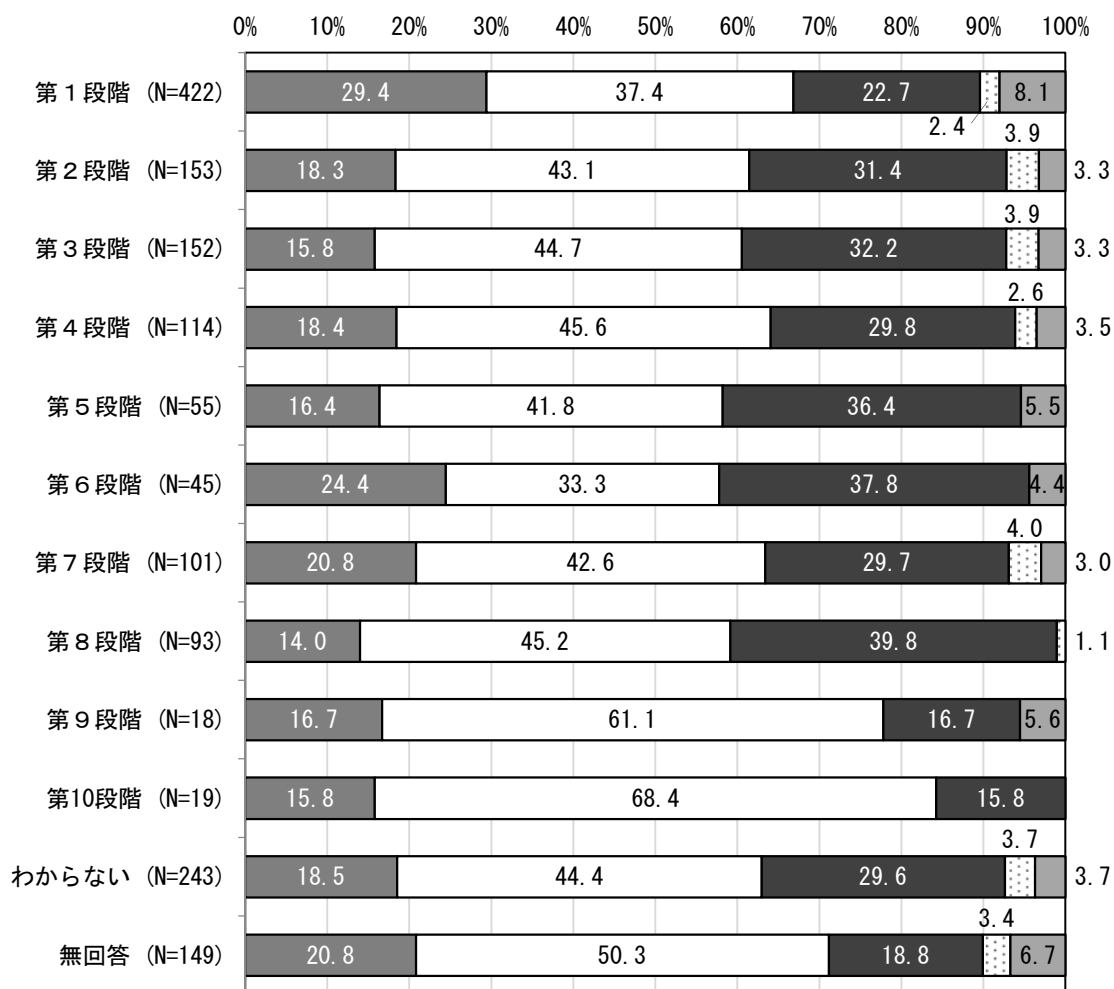


図表3-2-2 問3-2 利用料の負担感 × 問1-5 利用者負担割合



- 特になし
- 負担はあるが、何とかやりくりしている
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答
- これくらいの負担はやむをえないと思う

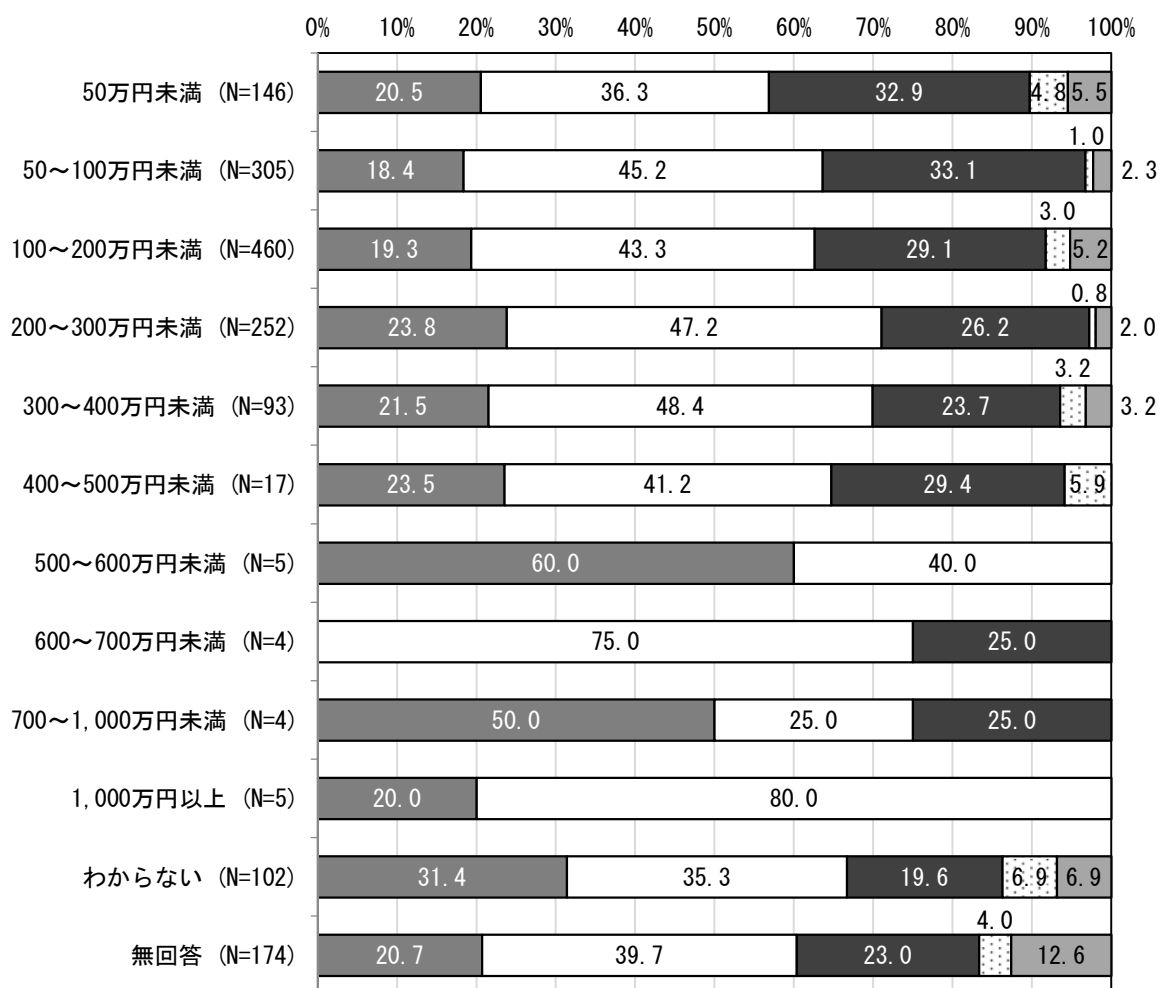
図表3-2-3 問3-2 利用料の負担感 × 問1-6 介護保険料所得段階



- 特に負担とは思わない
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答

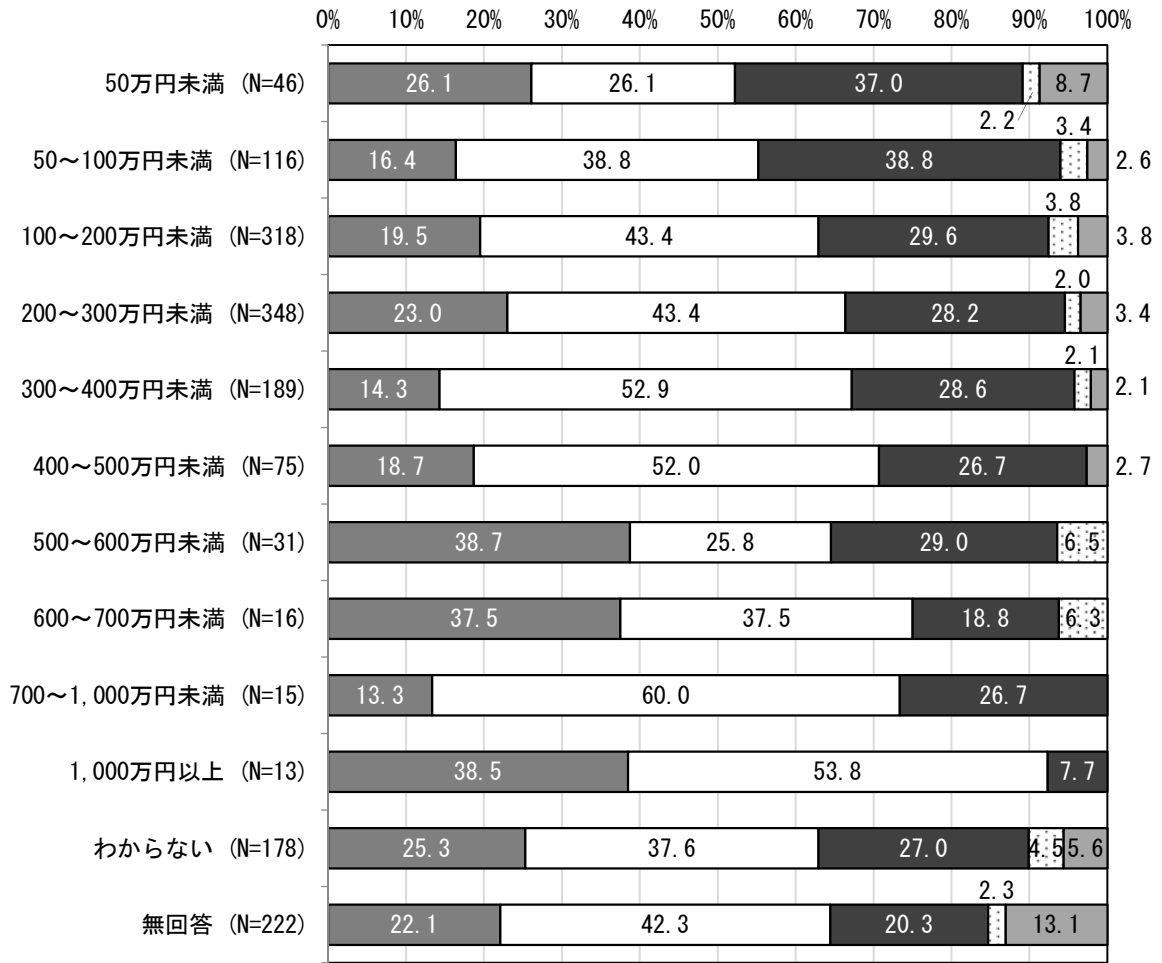


図表3-2-4 問3-2 利用料の負担感 × 問5-4(1) 個人収入



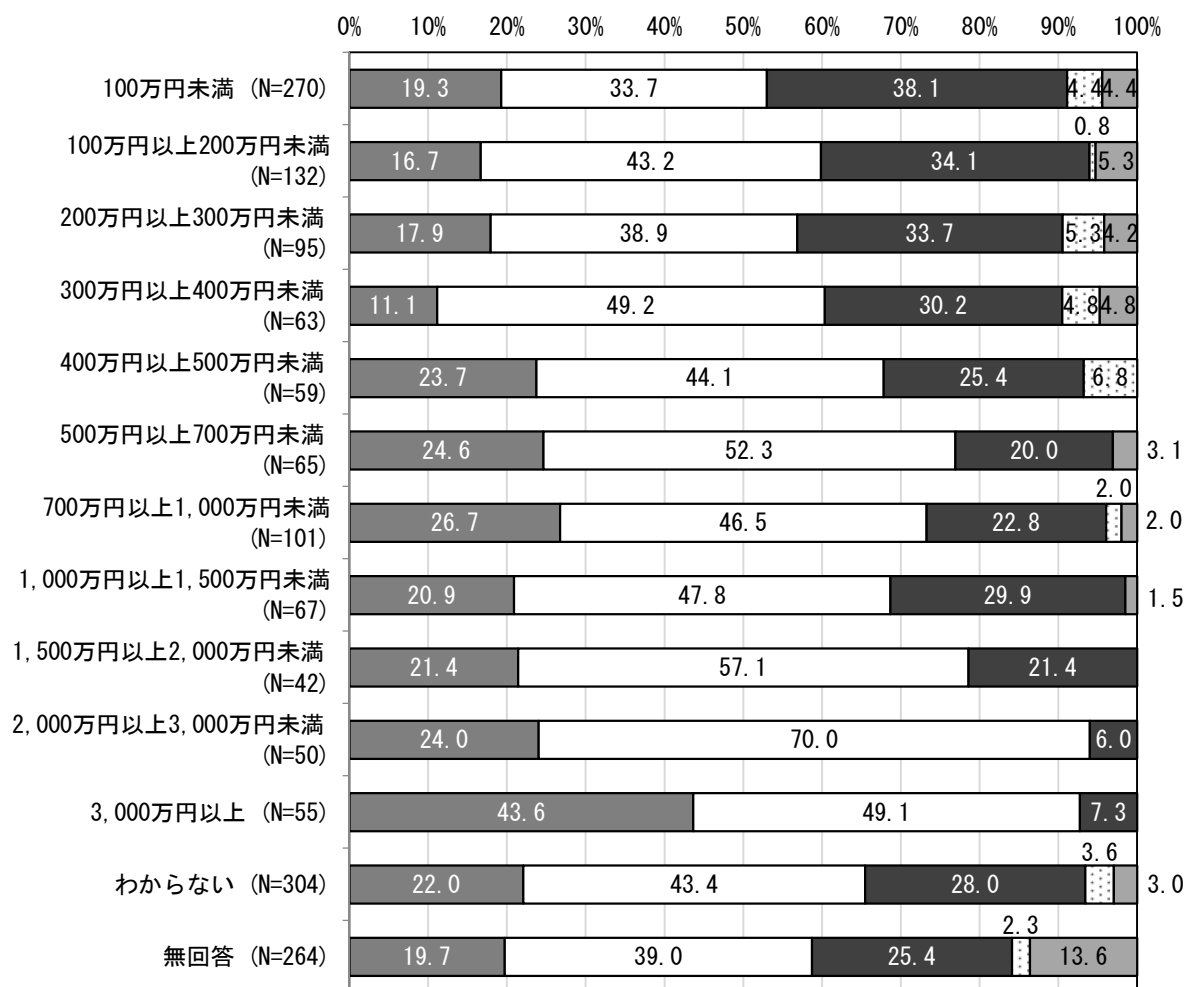
- 特に負担とは思わない
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答

図表3-2-5 問3-2 利用料の負担感 × 問5-4 (2) 世帯年収



- 特に負担とは思わない
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答

図表3-2-6 問3-2 利用料の負担感 × 問5-5 世帯貯蓄



- 特に負担とは思わない
  これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
  負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答

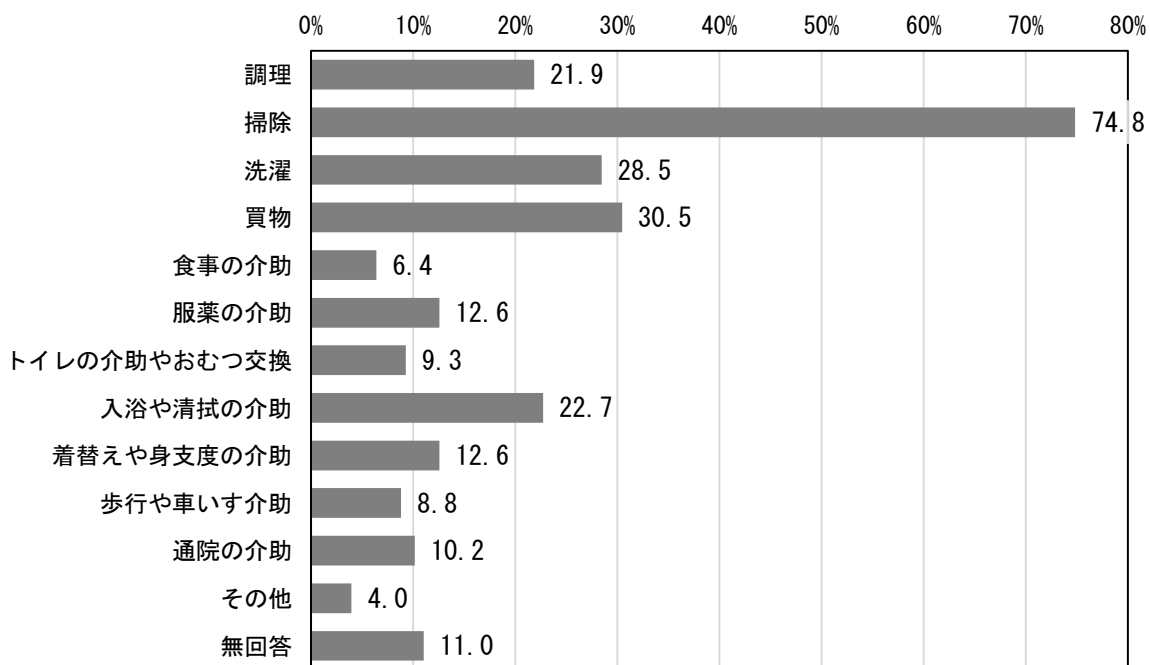
問3-3 (1) 訪問介護の利用メニュー

[複数回答]

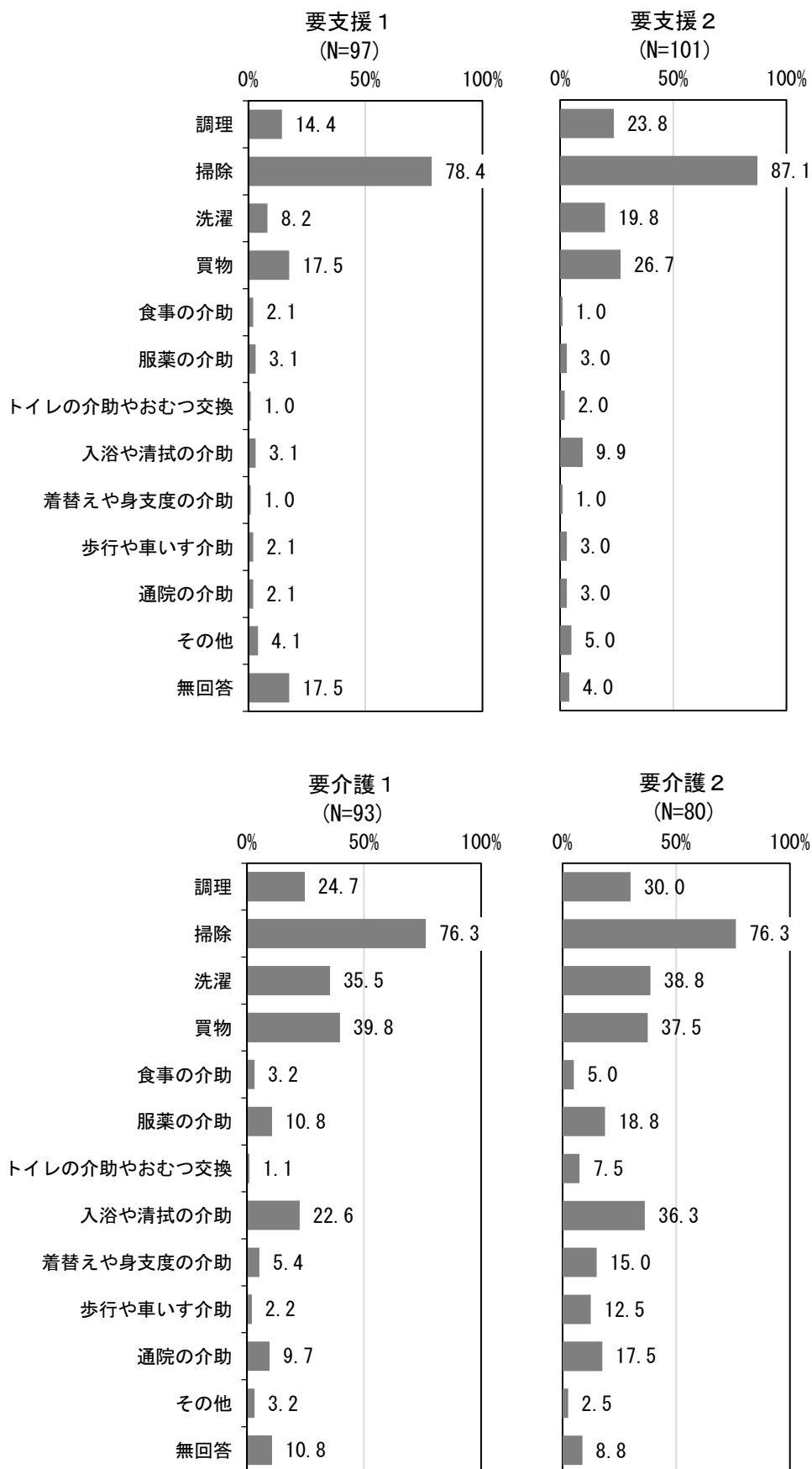
「介護（予防）サービスを利用している方」にうかがいます。訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用している方にうかがいます。具体的にどのようなサービスを利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

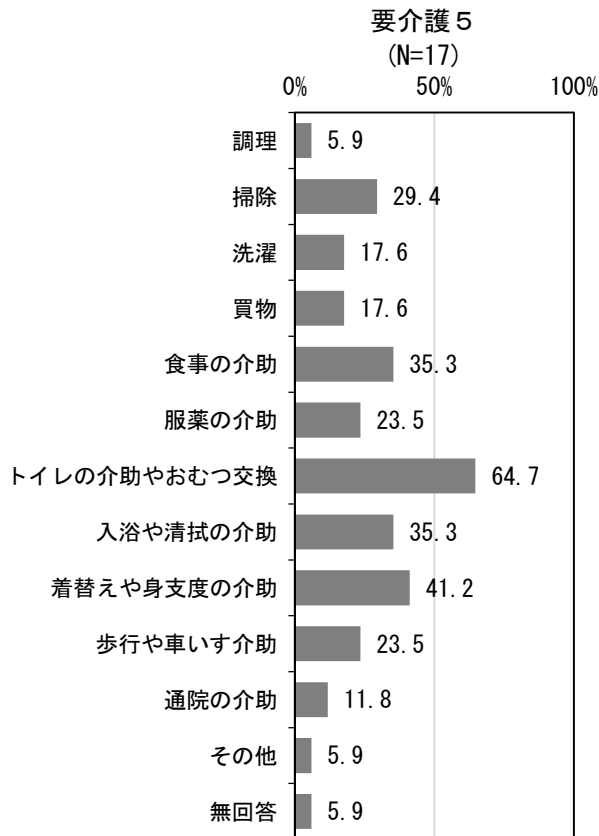
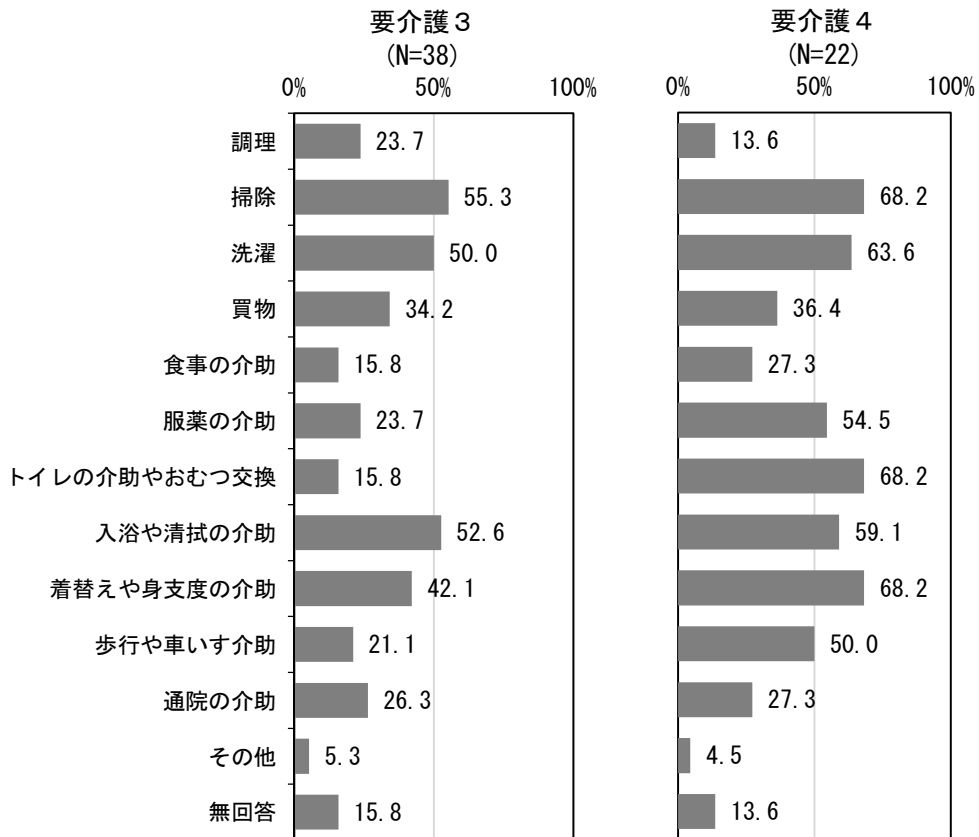
訪問介護の利用メニューについては、「掃除」が74.8%と最も多く、次いで、「買物」が30.5%、「洗濯」が28.5%となっている。

図表3-3-1 訪問介護の利用メニュー (N=453)

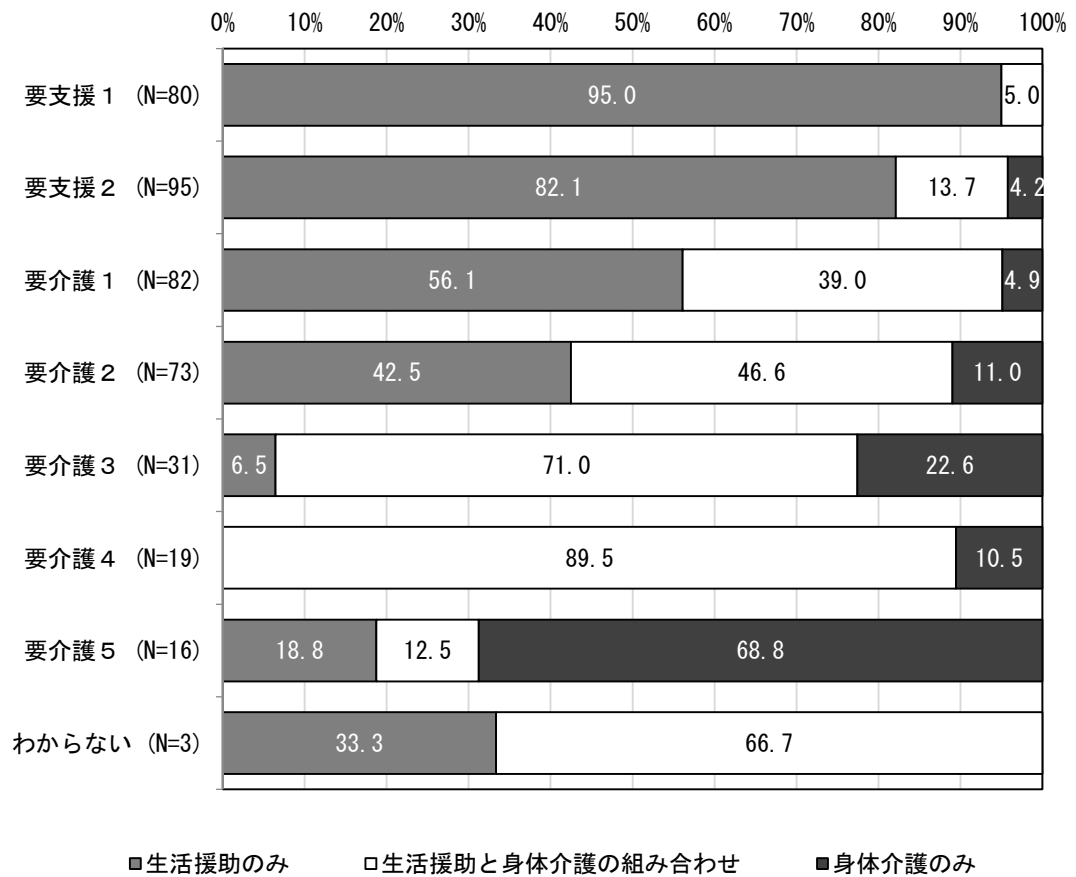


図表 3-3-1-1 問 3-3 (1) 訪問介護の利用メニュー × 問 1-4 介護度





図表3-3-1-2 問3-3 (1) 訪問介護の利用メニュー(生活援助、身体介護別)×問1-4 介護度



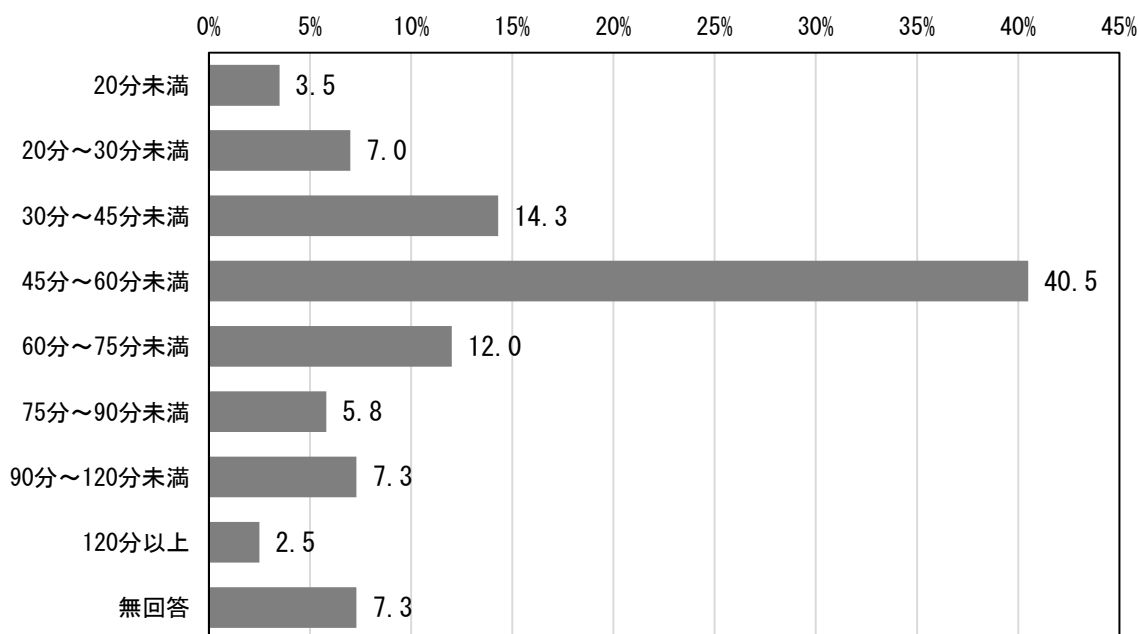
・生活援助 — 「調理」、「掃除」、「洗濯」、「買い物」のいずれかを利用  
 ・身体介護 — 「食事」、「服薬」、「トイレ・おむつ」、「入浴・清拭」、「着替え・身支度」、「歩行・車椅子」、「通院」のいずれかを利用

### 問3-3 (2) 訪問介護の利用時間

「介護（予防）サービスを利用している方にかがいます。」  
訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用している方にかがいます。  
サービス1回あたりの利用時間は、通院の介助にかかる時間を除いて、おおむねどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

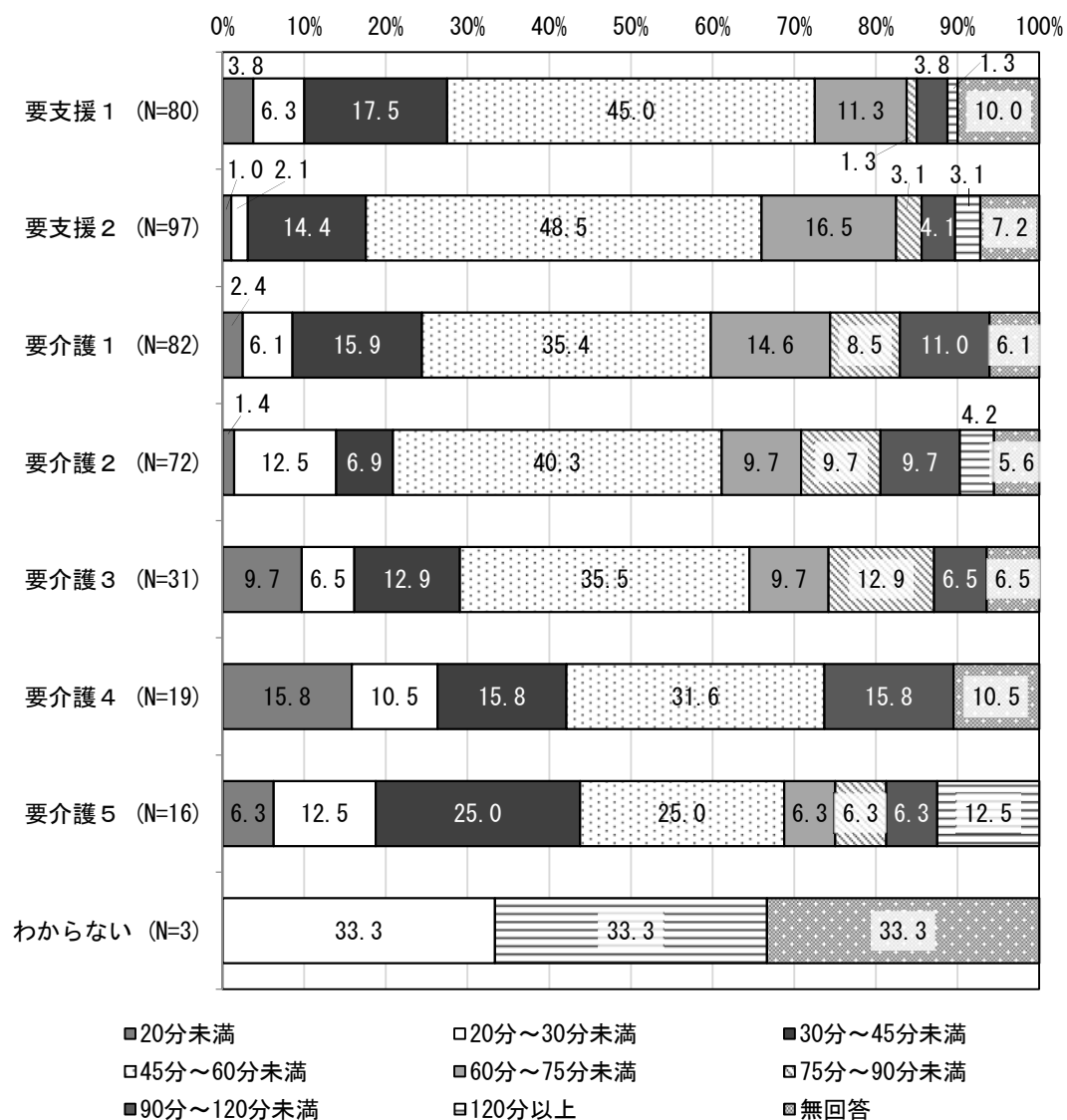
訪問介護の利用時間については、「45分～60分未満」が40.5%と最も多く、次いで、「30分～45分未満」が14.3%、「60分～75分未満」が12.0%となっている。

図表3-3-2 訪問介護の利用時間 (N=400)





図表3-3-2-1 問3-3 (2) 訪問介護の利用時間 × 問1-4 介護度



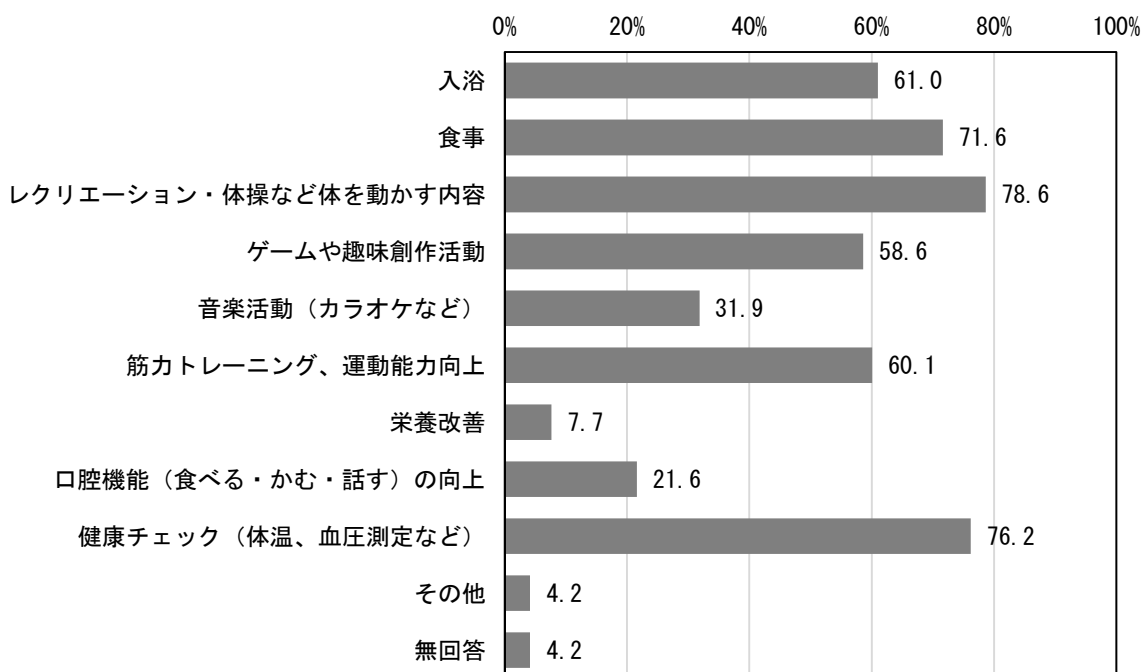
問3-4 (1) 通所介護の利用メニュー

[複数回答]

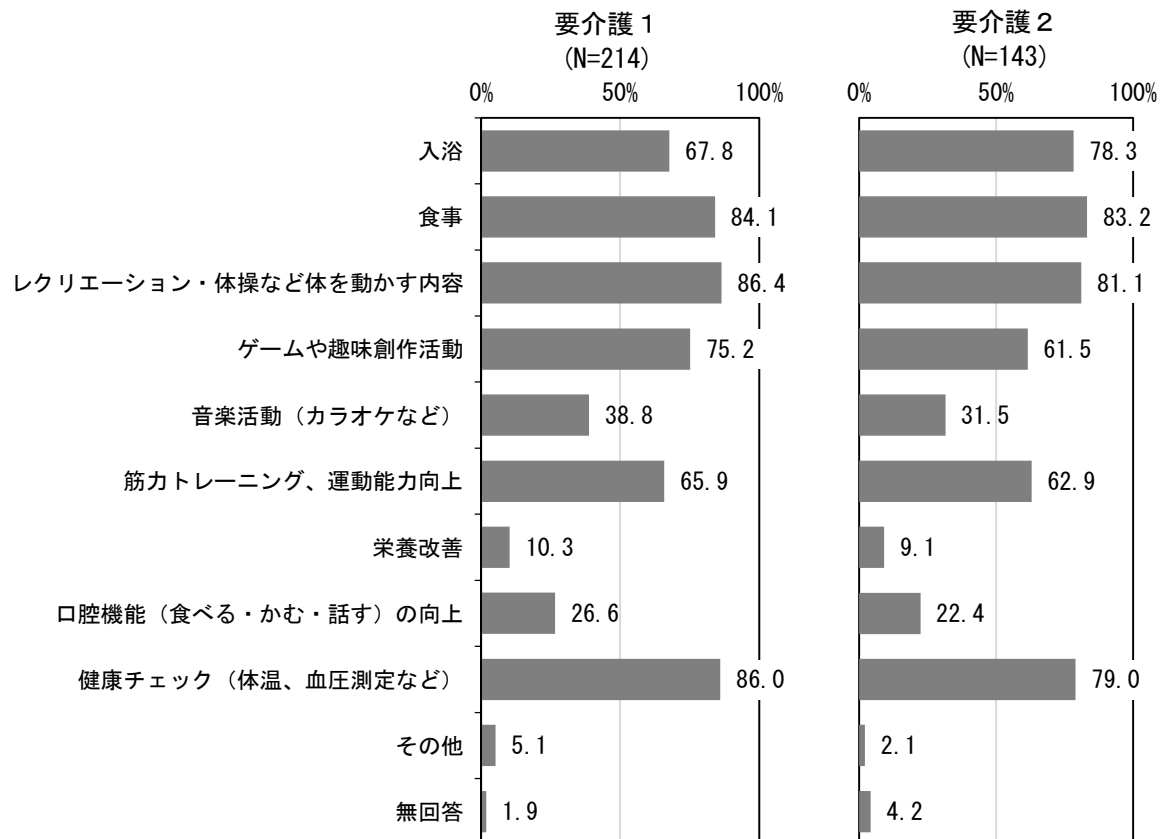
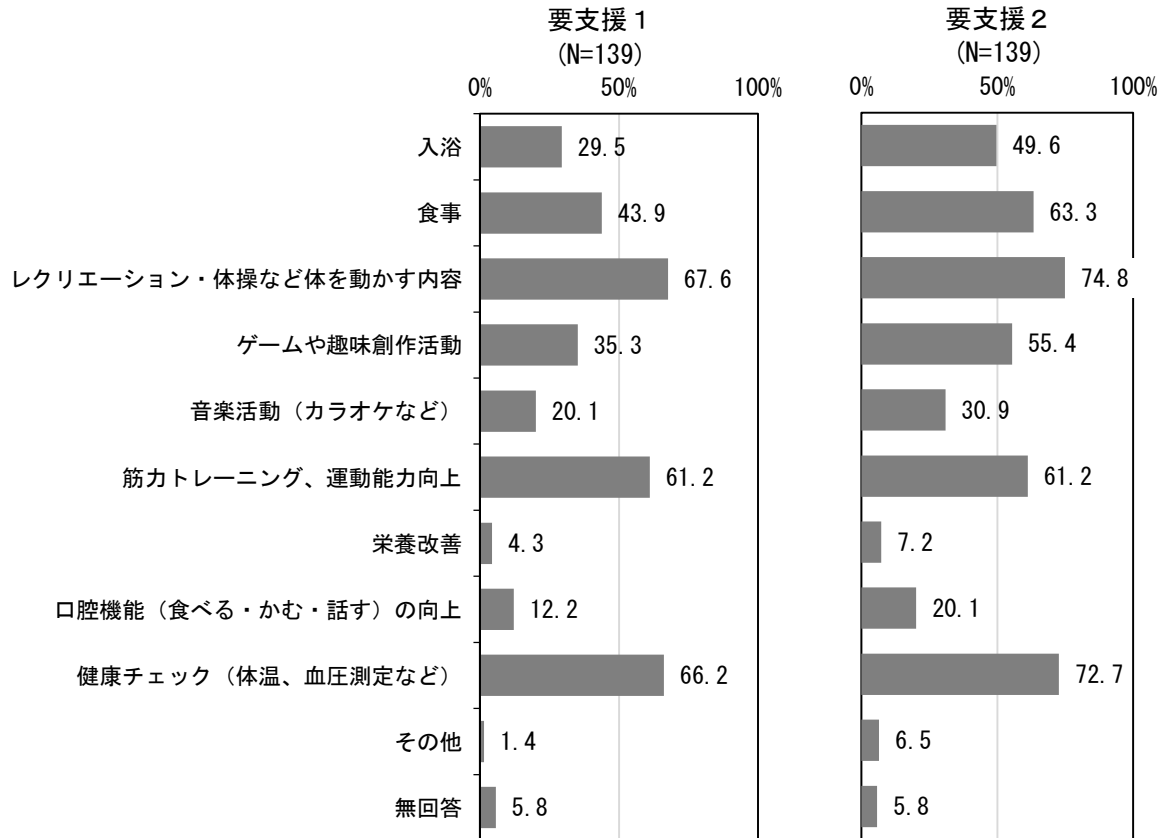
「介護（予防）サービスを利用している方にかかっています。」  
 通所介護（デイサービス）を利用している方にかかっています。  
 具体的にどのようなメニューを利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

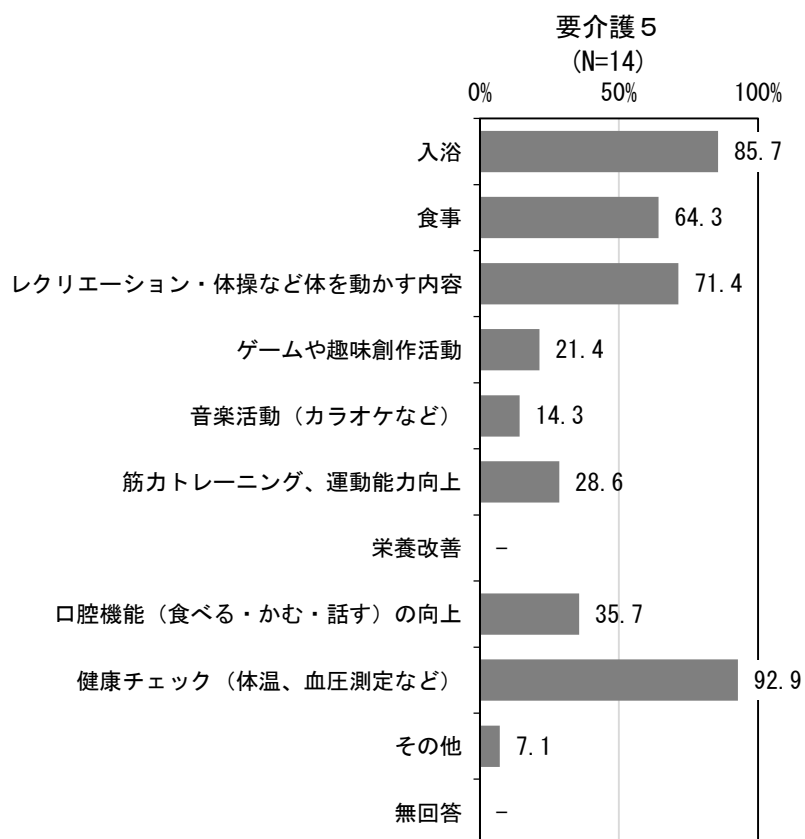
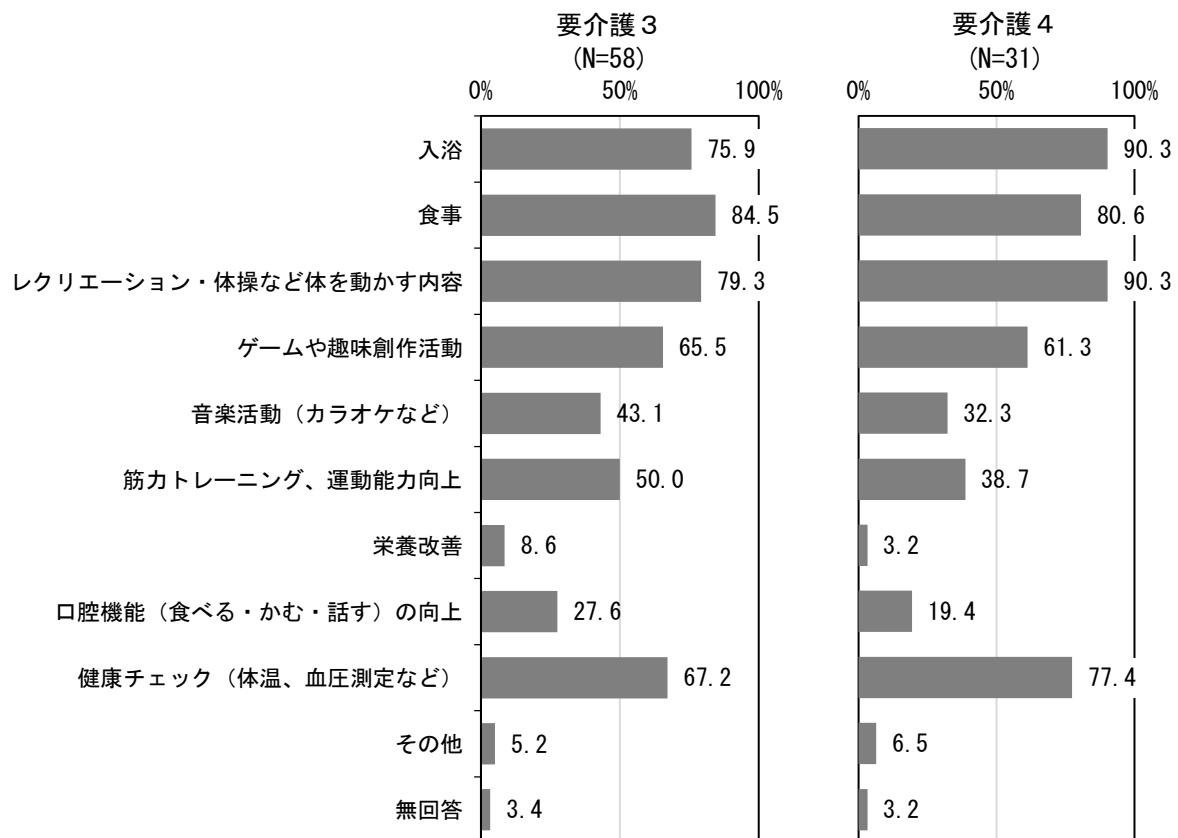
通所介護の利用メニューについては、「レクリエーション・体操など体を動かす内容」が78.6%と最も多く、次いで、「健康チェック（体温、血圧測定など）」が76.2%、「食事」が71.6%となっている。

図表3-4-1 通所介護の利用メニュー (N=744)



問 3-4-1-1 通所介護の利用メニュー × 問 1-4 介護度

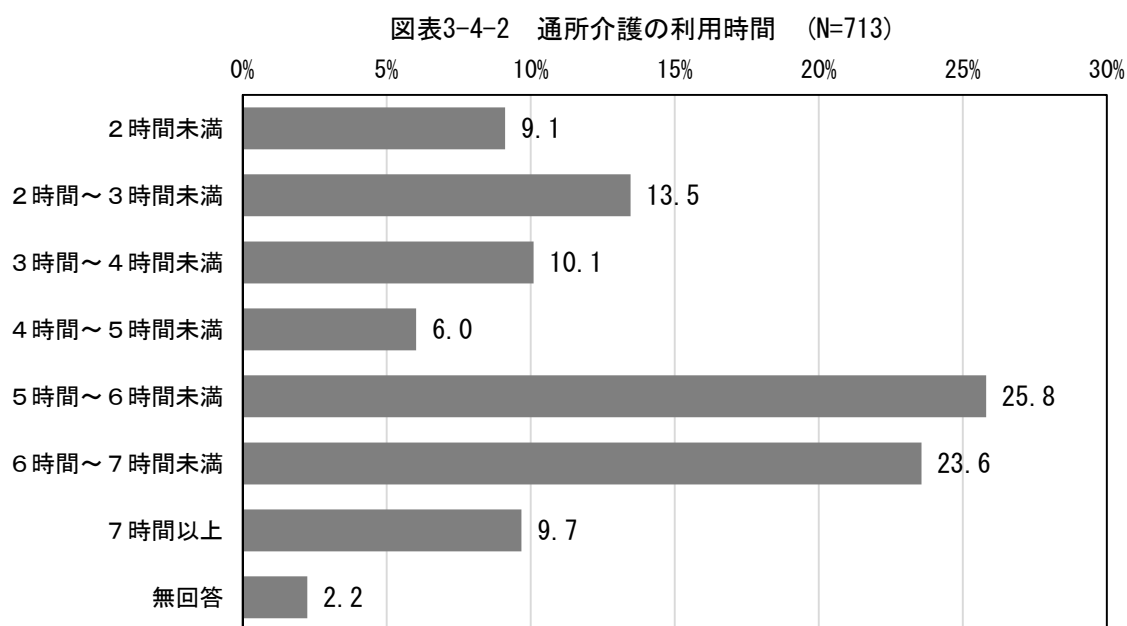




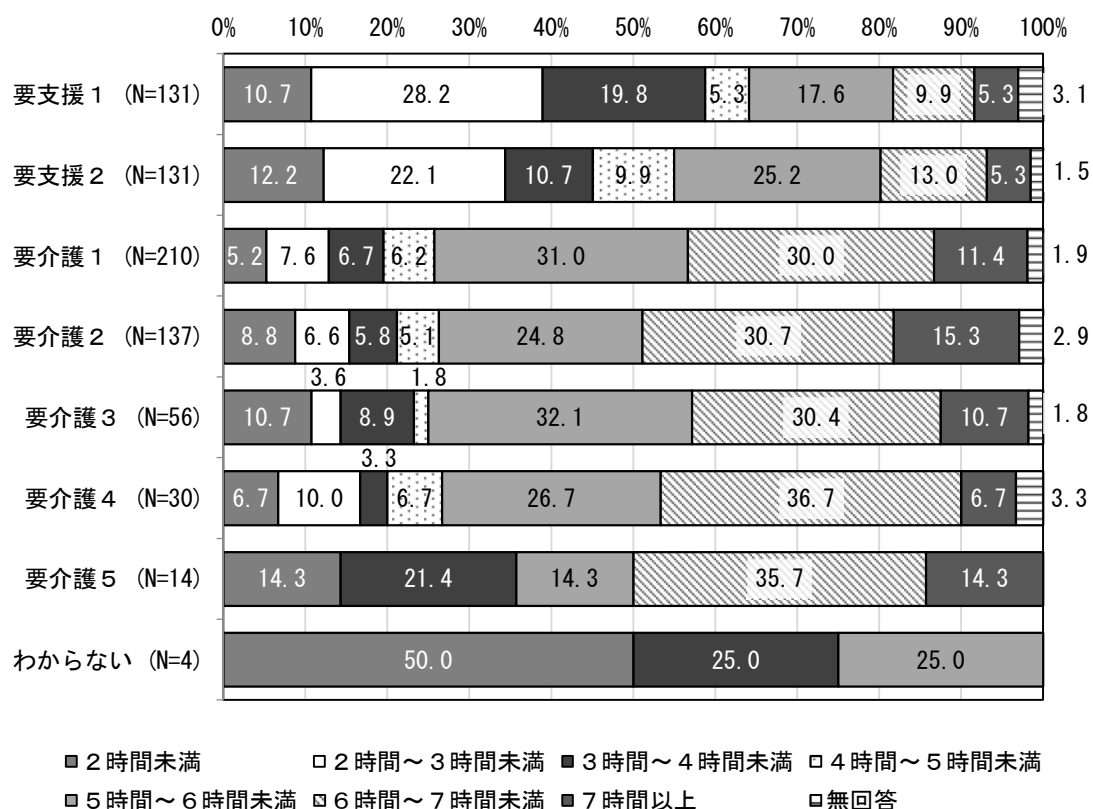
### 問3-4(2) 通所介護の利用時間

「介護（予防）サービスを利用している方にかがいます。」  
通所介護（デイサービス）を利用している方にかがいます。  
サービスの1回あたりの利用時間は、おおむねどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

通所介護の利用時間については、「5時間～6時間未満」が25.8%と最も多く、次いで、「6時間～7時間未満」が23.6%、「2時間～3時間未満」が13.5%となっている。



図表3-4-2-1 問3-4 (2) 通所介護の利用時間 × 問1-4 介護度



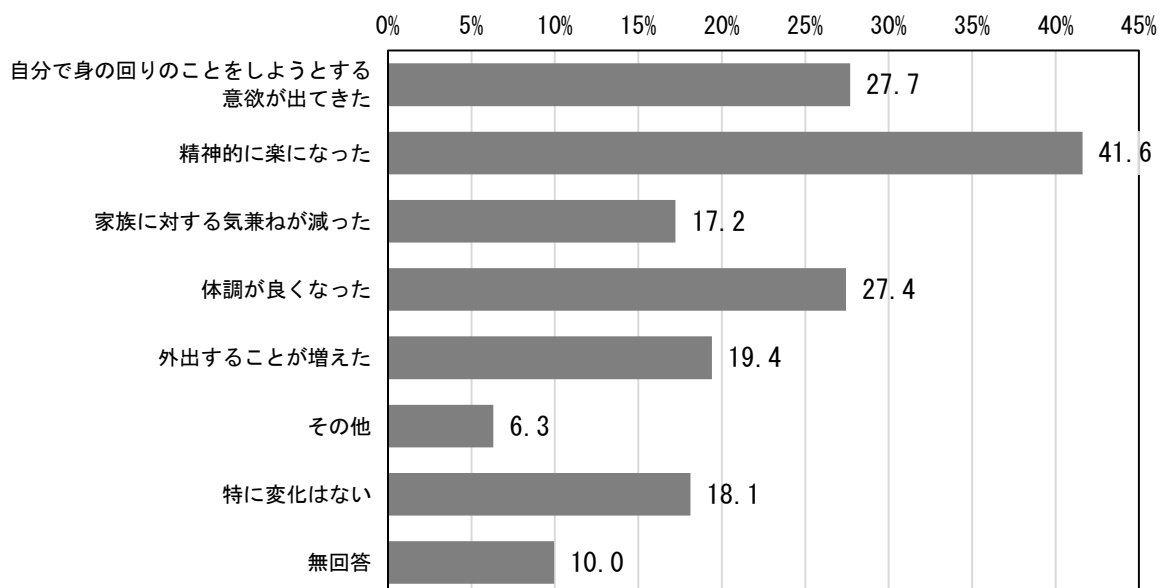
### 問3-5 サービス利用による生活の変化

[複数回答]

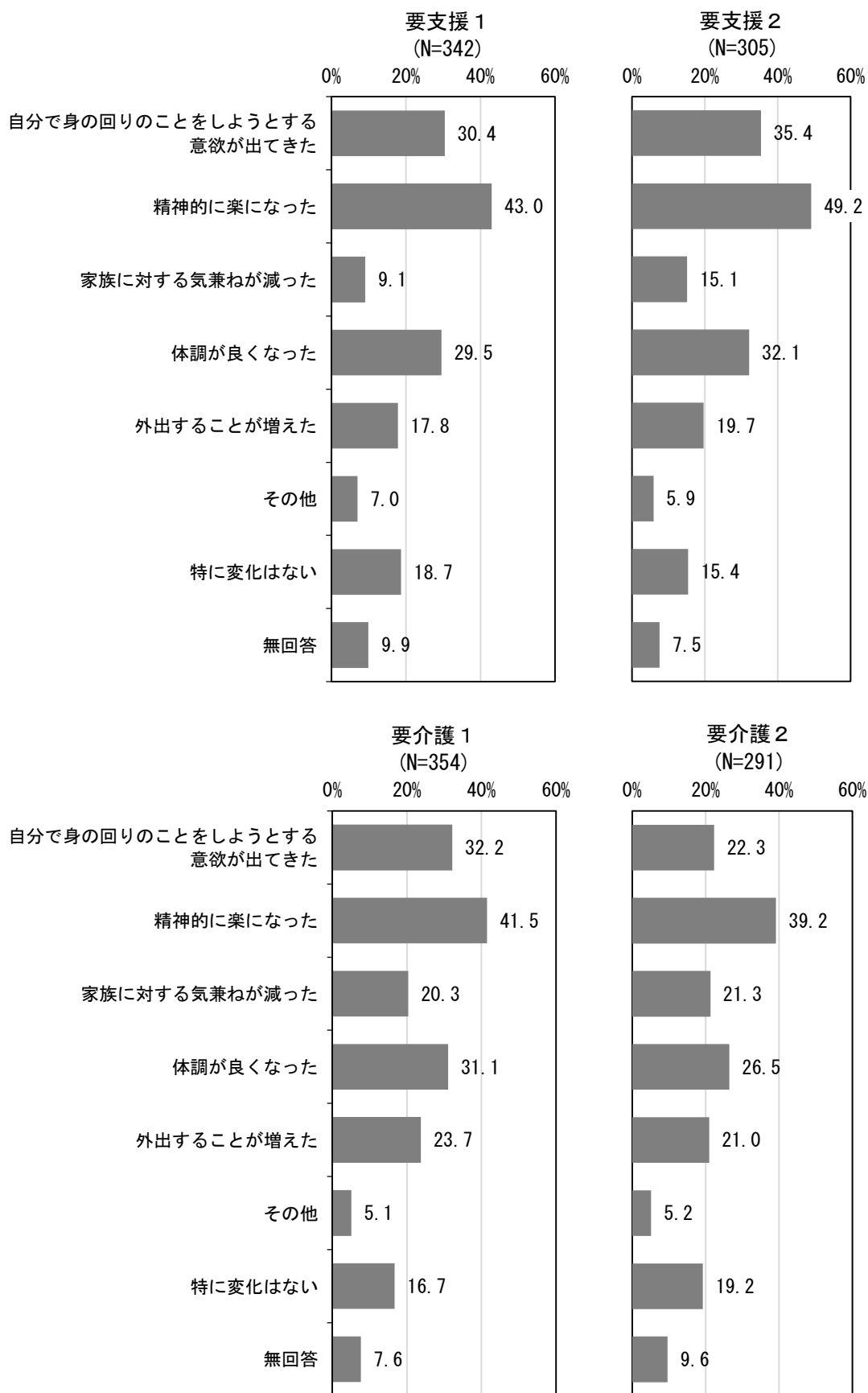
「介護（予防）サービスを利用している方にかがいます。」  
「すべての方にかがいます。介護（予防）サービスを利用することにより、生活にどのような変化がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。」

サービス利用による生活の変化については、「精神的に楽になった」が41.6%と最も多く、次いで、「自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた」が27.7%、「体調が良くなった」が27.4%となっている。

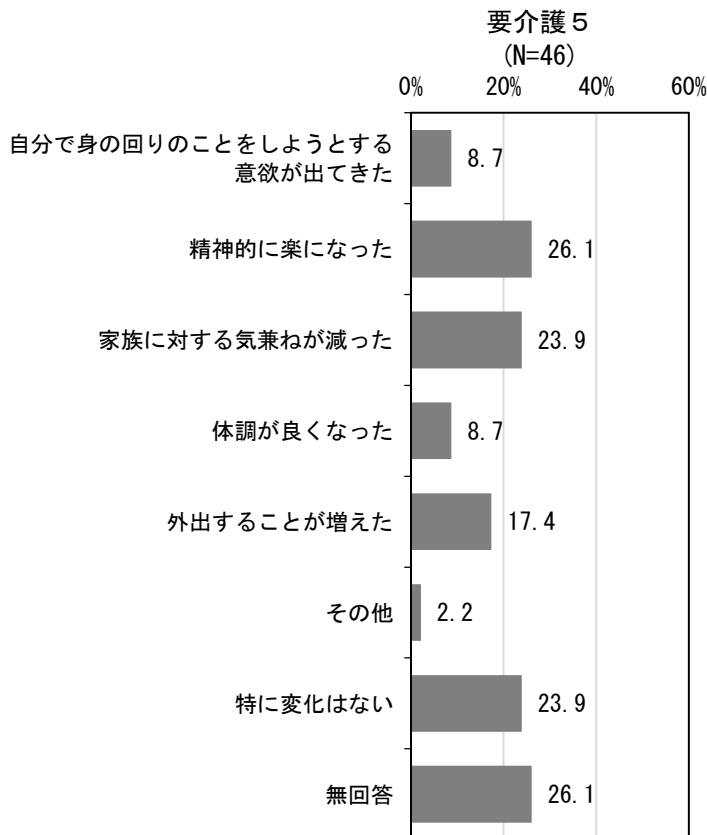
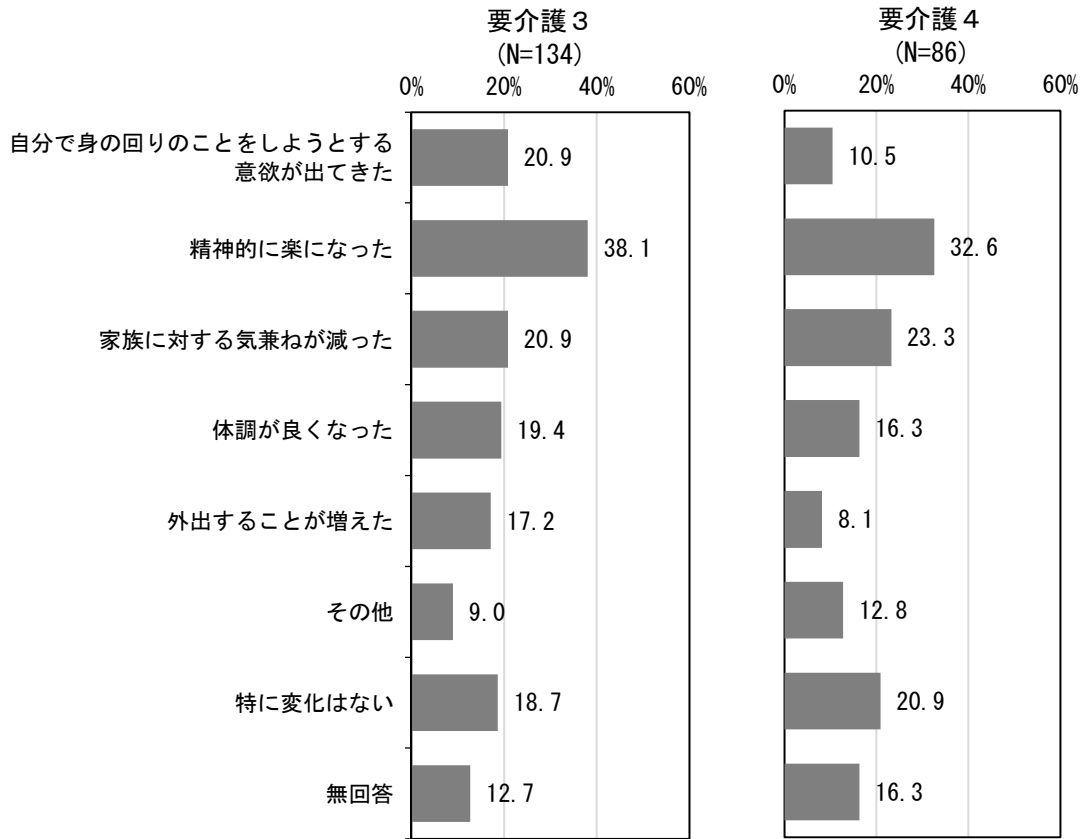
図表3-5 サービス利用による生活の変化 (N=1,567)



図表 3-5-1 問 3-5 サービス利用による生活の変化 × 問 1-4 介護度







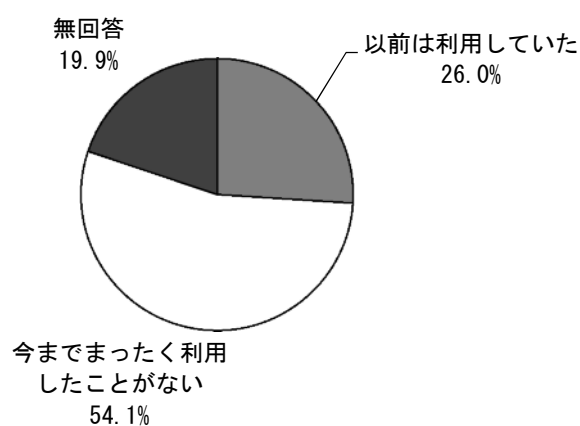
## 2. 4 介護（予防）サービス未利用の方の状況について

### 問4-1 サービス利用経験

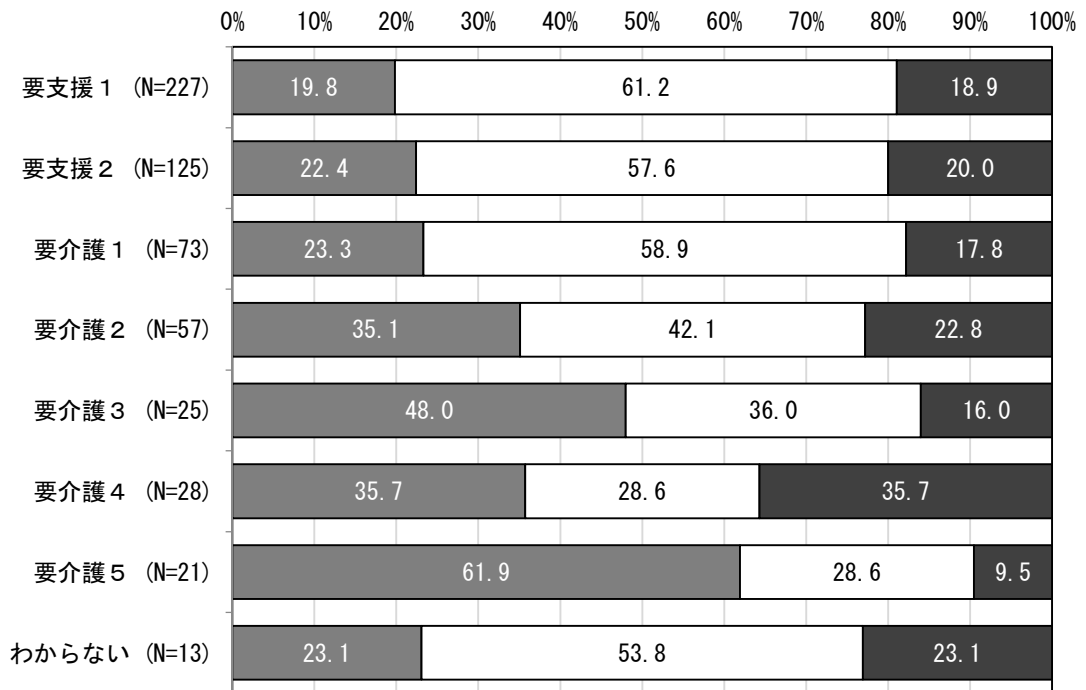
「介護保険による介護（予防）サービスを利用していない方にうかがいます。」  
あなたは今までに介護保険による介護（予防）サービスを利用したことがありますか。  
あてはまるものに○をつけてください。

サービス利用経験については、「今までまったく利用したことがない」が54.1%、「以前は利用していた」が26.0%となっている。

図表4-1 サービス利用経験 (N=569)



図表 4-1-1 問4-1 サービス利用経験 × 問1-4 介護度



■ 以前は利用していた      □ 今までまったく利用したことがない      ■ 無回答

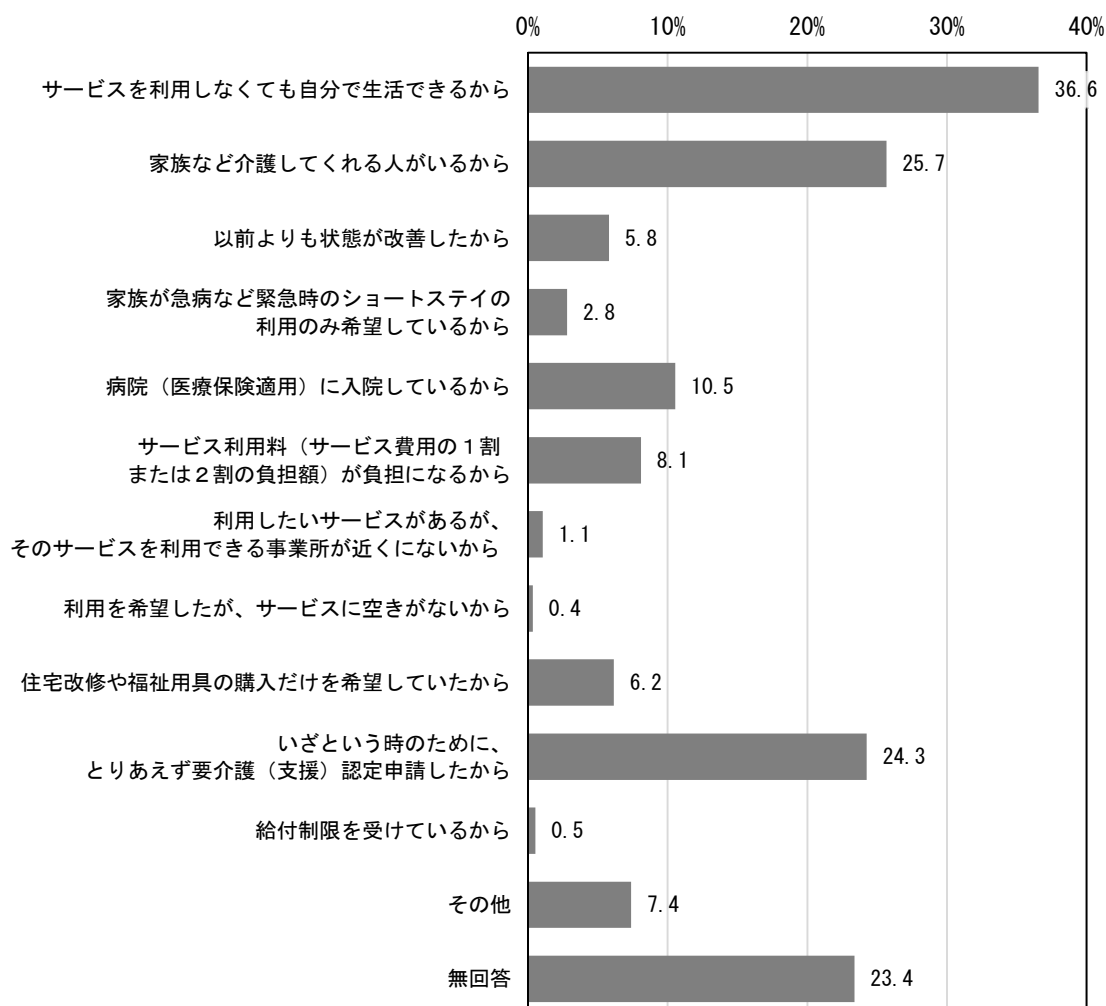
## 問4-2 サービスを利用していない理由

[複数回答]

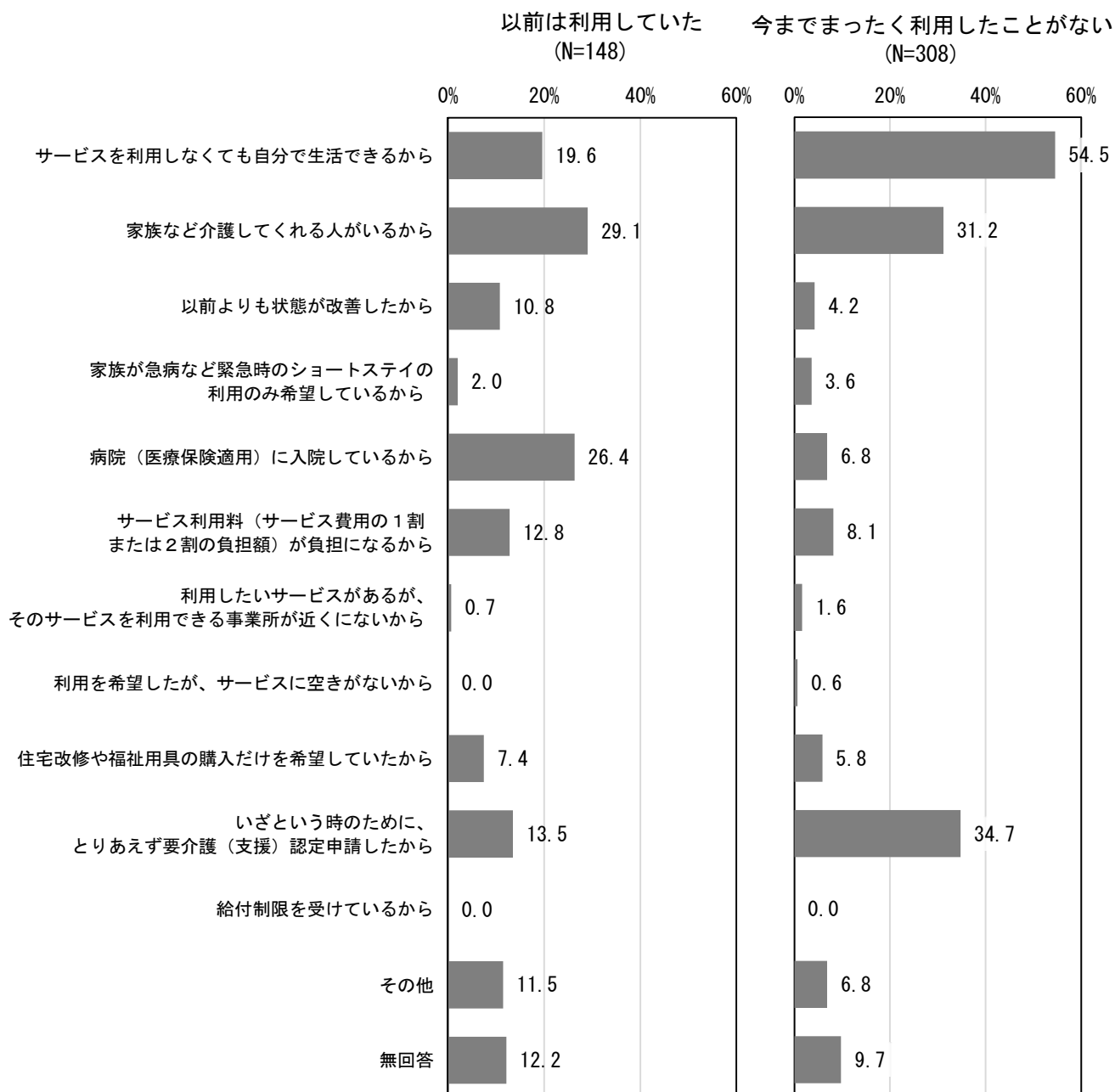
「介護保険による介護（予防）サービスを利用していない方にうかがいます。」  
 あなたが介護（予防）サービスを現在利用していない理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

サービスを利用していない理由については、「サービスを利用しなくても自分で生活できるから」が36.6%と最も多く、次いで、「家族など介護してくれる人がいるから」が25.7%、「いざという時のために、とりあえず要介護（支援）認定申請したから」が24.3%となっている。

図表4-2 サービスを利用していない理由 (N=569)



図表 4-2-1 問 4-2 サービスを利用していない理由 × 問 4-1 これまでのサービス利用経験



## 問4-2 (1) 利用できないサービス

[複数回答]

「介護保険による介護（予防）サービスを利用していない方にうかがいます。」  
 「7. 利用したいサービスがあるが、そのサービスを利用できる事業所が近くにないから」または「8. 利用を希望したが、サービスに空きがないから」を選んだ方にお聞きします。近くにないサービス事業所、空きがないサービス事業所は、次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

利用できないサービスについては、「通所介護（デイサービス）」が3件と最も多く、次いで、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が2件となっている。

図表4-2-1 利用できないサービス (N=8)

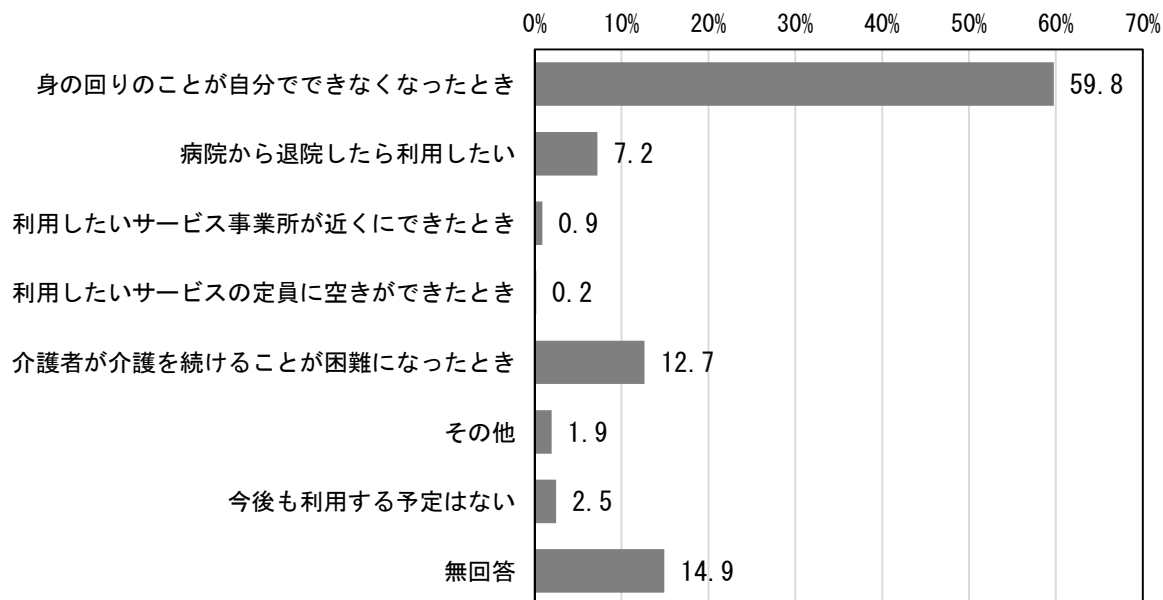
	0件	1件	2件	3件	4件
訪問介護（ホームヘルプサービス）			2		
通所介護（デイサービス）				3	
通所リハビリテーション（デイケア）		1			
短期入所（ショートステイ）		1			
訪問看護（介護保険分）	0				
訪問リハビリテーション	0				
居宅療養管理指導	0				
訪問入浴介護		1			
福祉用具貸与	0				
特定施設入居者生活介護		1			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0				
夜間対応型訪問介護	0				
認知症対応型通所介護	0				
小規模多機能型居宅介護	0				
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0				
看護小規模多機能型居宅介護	0				
居宅介護支援、介護予防支援（ケアマネジャー）	0				
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	0				
介護老人保健施設		1			
介護療養型医療施設（病院・診療所／介護保険適用）	0				
無回答		1			

### 問4-3 今後の介護（予防）サービスの利用意向

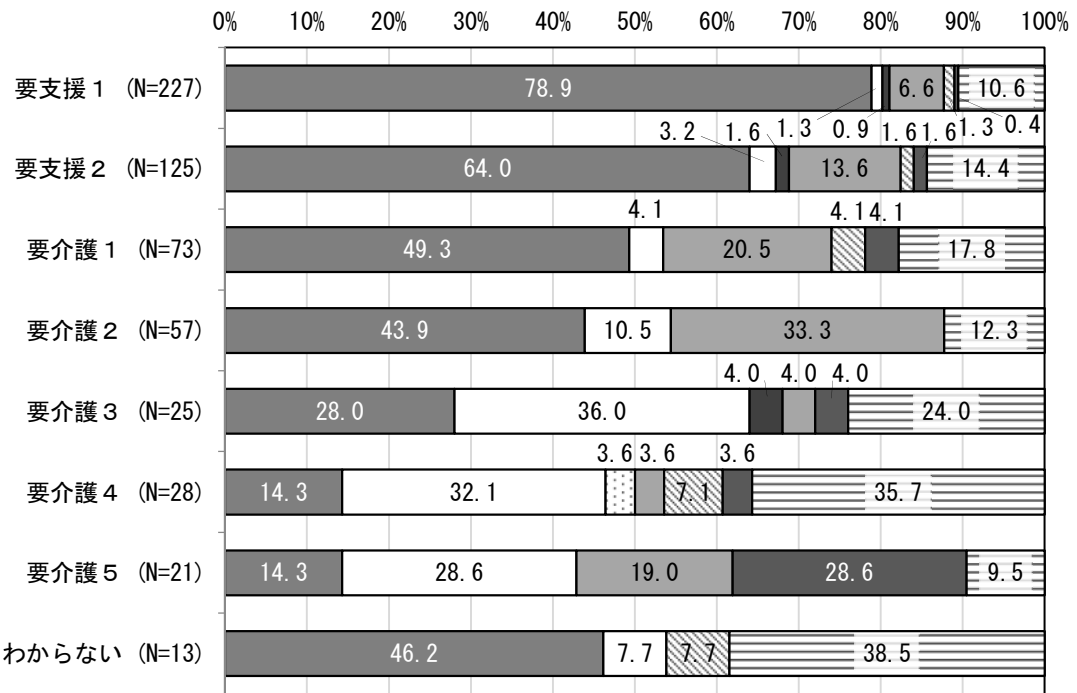
「介護保険による介護（予防）サービスを利用していない方にうかがいます。」  
「すべての方におうかがいします。今後どのような状況になったときに、介護（予防）サービスを利用しようと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。」

今後の利用意向については、「身の回りのことが自分でできなくなったとき」が59.8%と最も多く、次いで、「介護者が介護を続けることが困難になったとき」が12.7%、「病院から退院したら利用したい」が7.2%となっている。

図表4-3 今後の介護（予防）サービスの利用意向 (N=569)



図表4-3-1 問4-3 今後の介護（予防）サービスの利用意向 × 問1-4 介護度



- 身の回りのことが自分でできなくなったとき
- 利用したいサービス事業所が近くにできたとき
- 介護者が介護を続けることが困難になったとき
- 今後も利用する予定はない
- 病院から退院したら利用したい
- 利用したいサービスの定員に空きができたとき
- その他
- 無回答



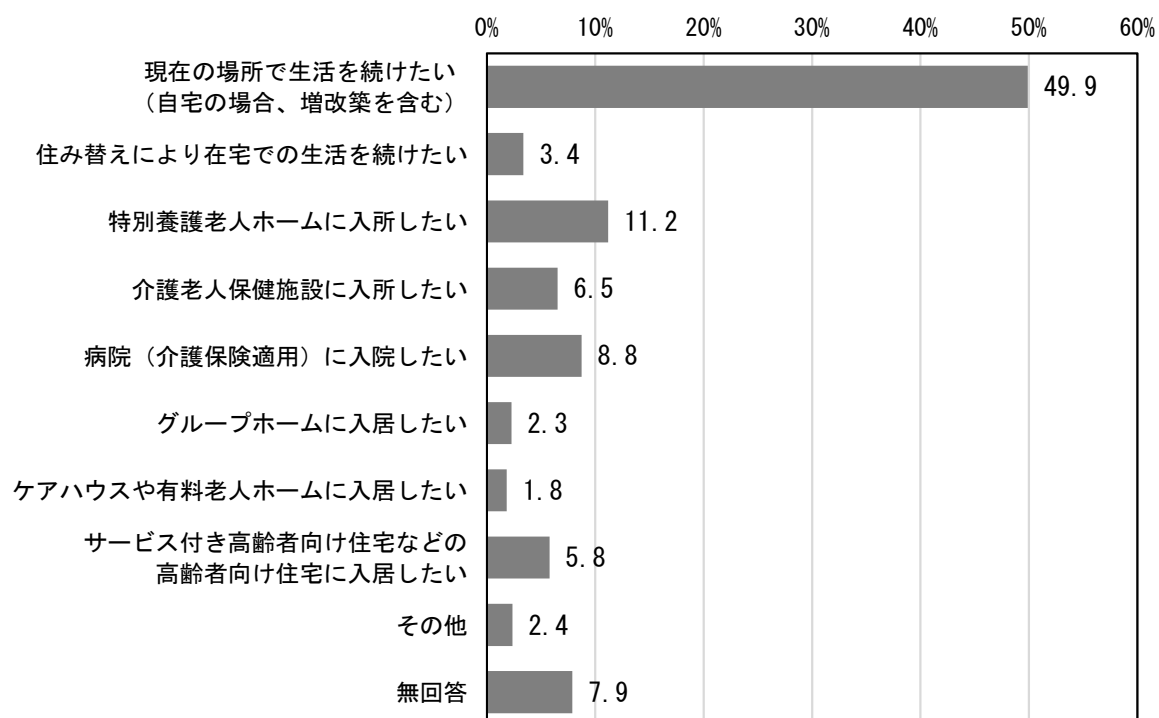
## 2. 5 今後の暮らし方・経済状況等について

### 問5-1 介護度が重くなったときの生活場所

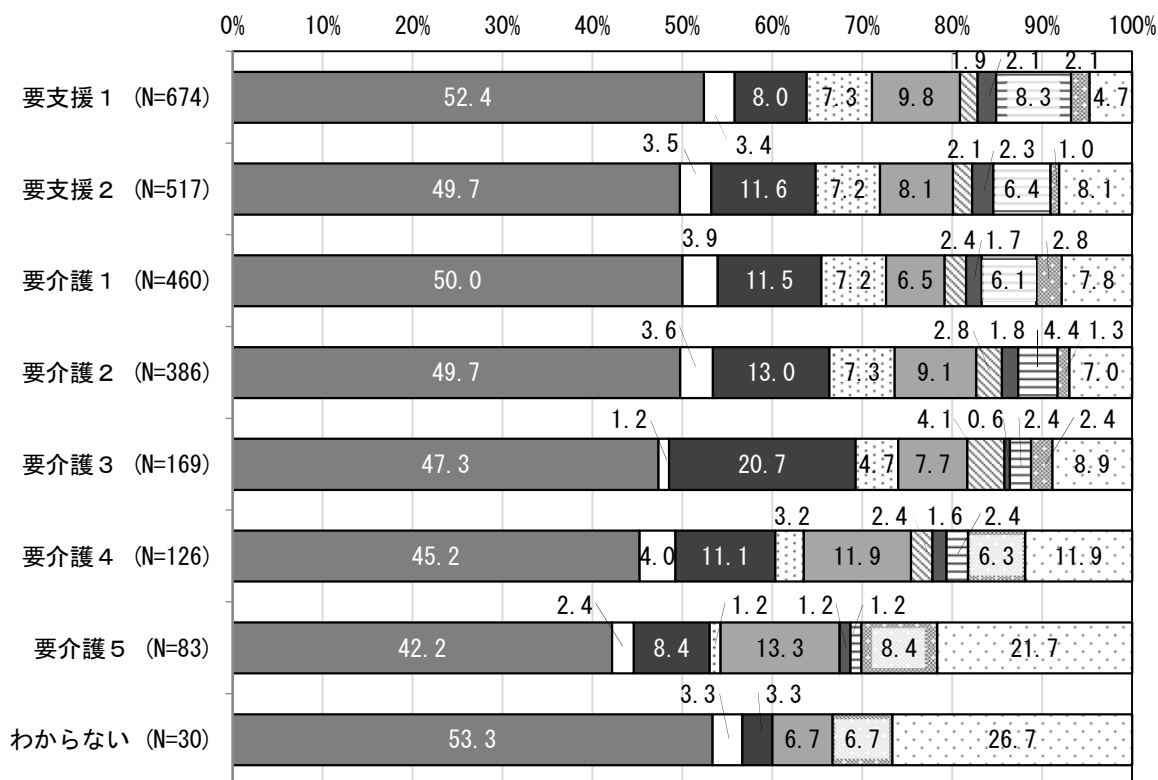
すべての方におうかがいします。今後、要介護度が重くなるなど状況が変わったとき、どのようなところで過ごしたいと考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護度が重くなったときの生活場所については、「現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む）」が49.9%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホームに入所したい」が11.2%、「病院（介護保険適用）に入院したい」が8.8%となっている。

図表5-1 介護度が重くなったときの生活場所（N=2,445）

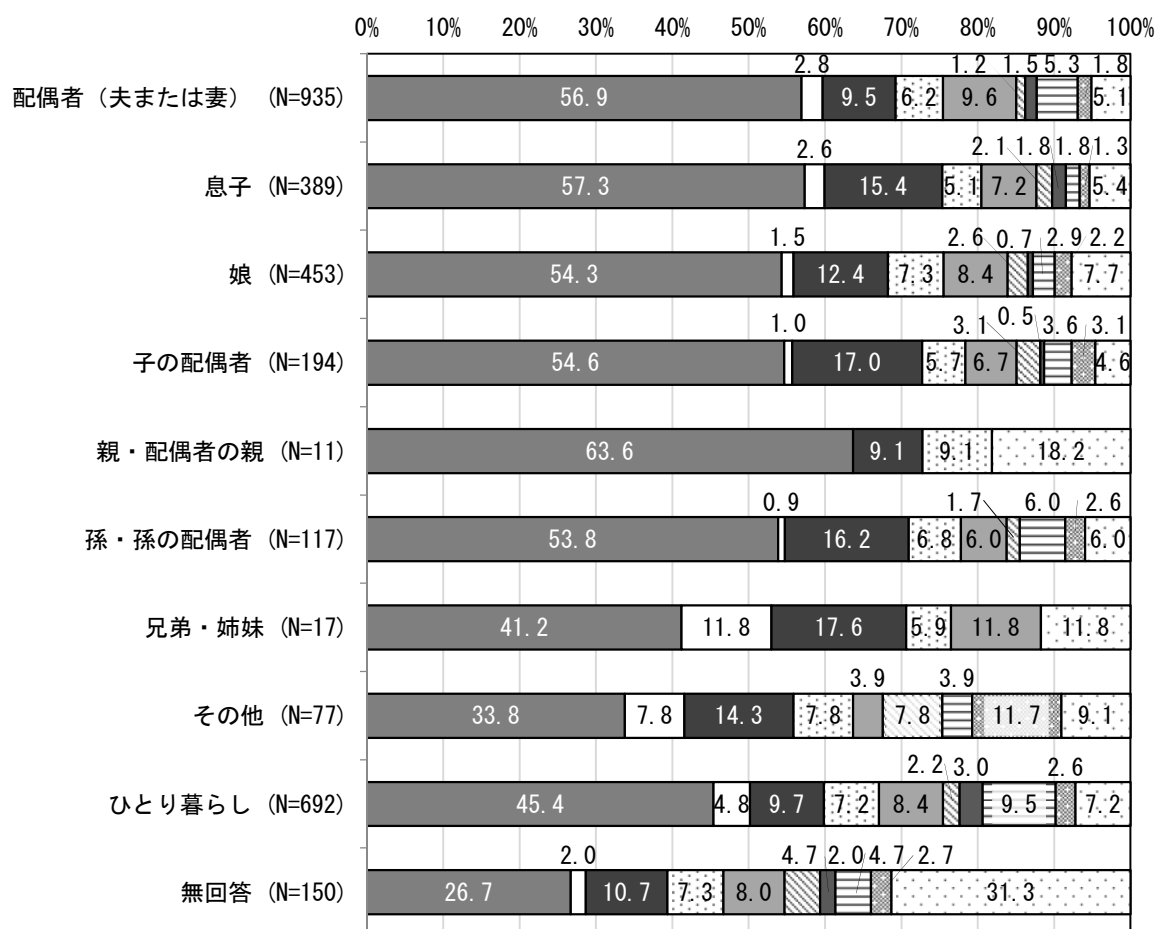


図表5-1-1 問5-1 介護度が重くなったときの生活場所 × 問1-4 介護度



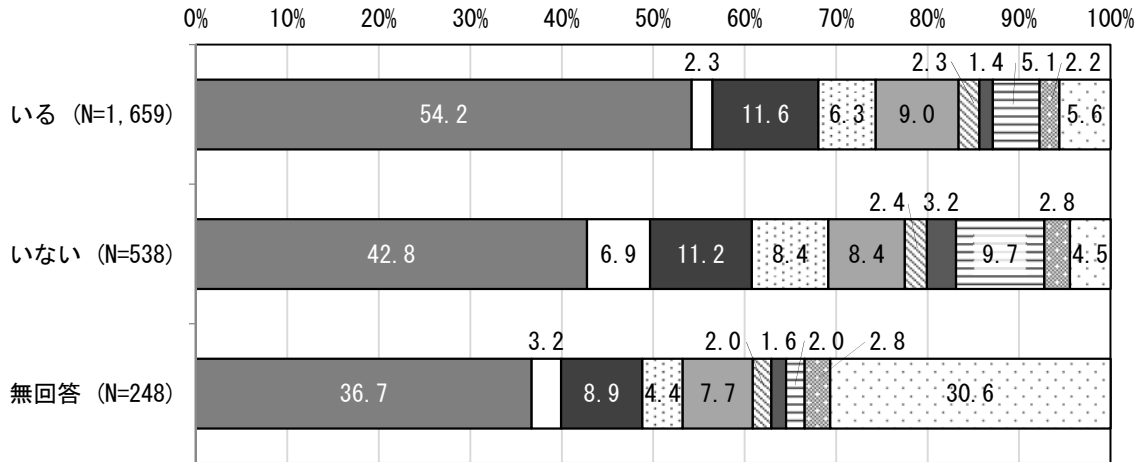
- 現在の場所で生活を続けたい (自宅の場合、増改築を含む)
- 住み替えにより在宅での生活を続けたい
- 特別養護老人ホームに入所したい
- 介護老人保健施設に入所したい
- 病院 (介護保険適用) に入院したい
- グループホームに入居したい
- ケアハウスや有料老人ホームに入居したい
- サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅に入居したい
- その他
- 無回答

図表5-1-2 問5-1 介護度が重くなったときの生活場所 × 問1-8 同居者



- 現在の場所で生活を続けたい (自宅の場合、増改築を含む)
- 住み替えにより在宅での生活を続けたい
- 特別養護老人ホームに入所したい
- 介護老人保健施設に入所したい
- 病院 (介護保険適用) に入院したい
- グループホームに入居したい
- ケアハウスや有料老人ホームに入居したい
- サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅に入居したい
- その他
- 無回答

図表5-1-3 問5-1 介護度が重くなったときの生活場所 × 問6-1 介護者の有無



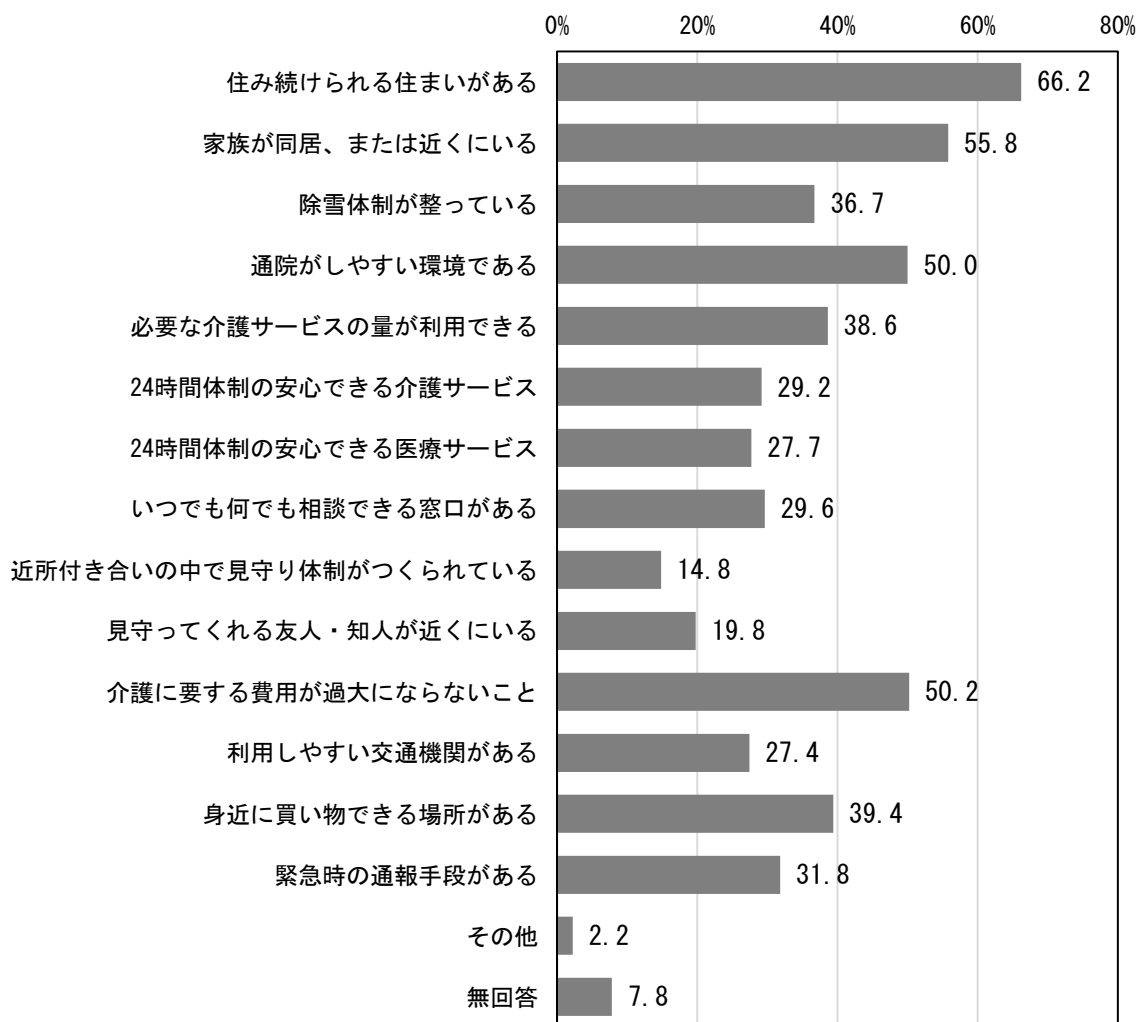
- 現在の場所で生活を続けたい (自宅の場合、増改築を含む)
- 住み替えにより在宅での生活を続けたい
- 特別養護老人ホームに入所したい
- 介護老人保健施設に入所したい
- 病院 (介護保険適用) に入院したい
- グループホームに入居したい
- ケアハウスや有料老人ホームに入居したい
- サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅に入居したい
- その他
- 無回答

## 問5-2 住み慣れた地域で暮らし続けるために必要だと思うこと [複数回答]

あなたは、住み慣れた地域や家庭で自立した生活をするために必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

住み慣れた地域で暮らし続けるために必要だと思うことについては、「住み続けられる住まいがある」が66.2%と最も多く、次いで、「家族が同居、または近くにいる」が55.8%、「介護に要する費用が過大にならないこと」が50.2%となっている。

図表5-2 住み慣れた地域で暮らし続けるために必要だと思うこと (N=2,445)



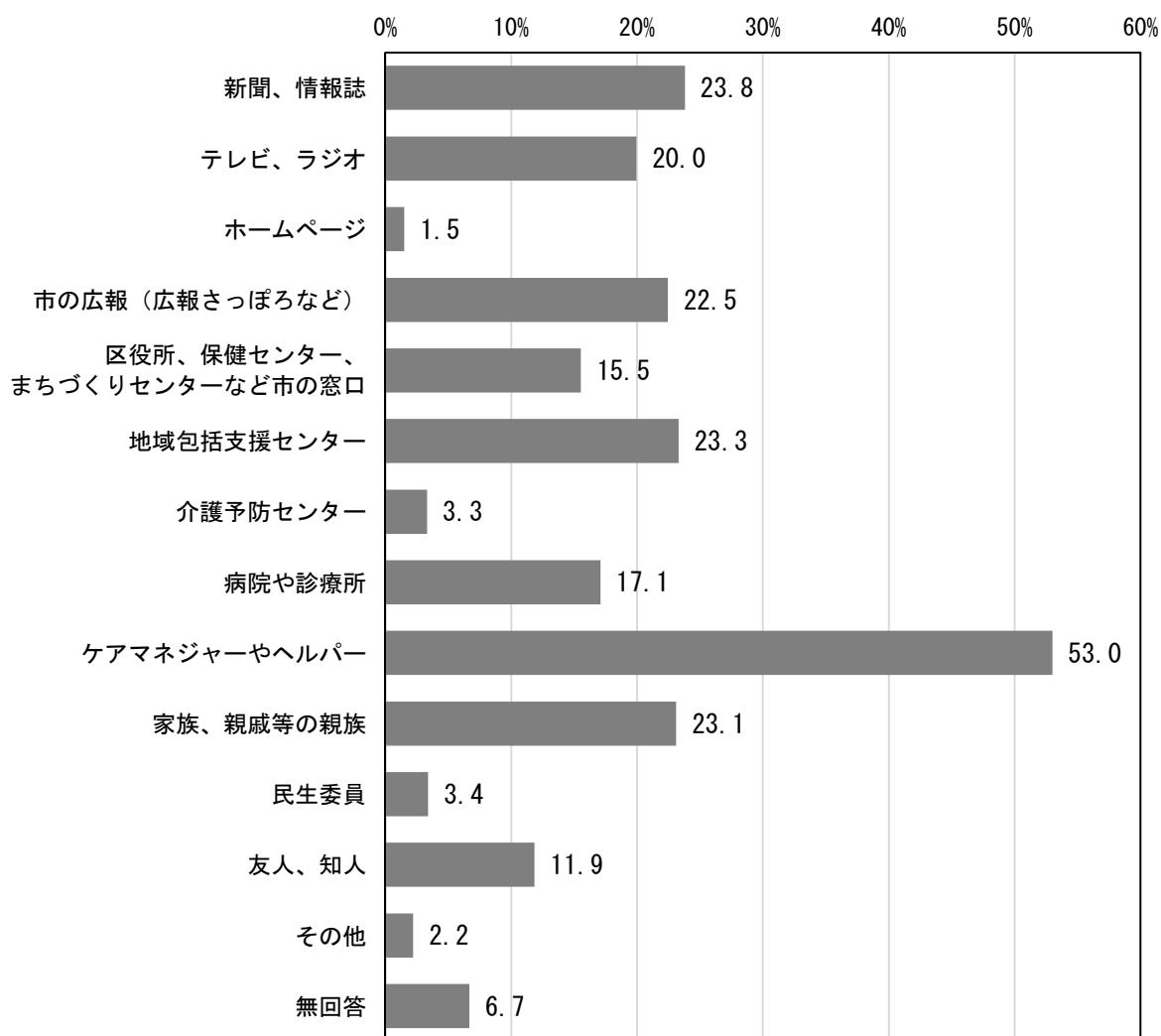
### 問5-3 情報の入手先

[複数回答]

あなたは、介護保険に関する情報を、主にどこから入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

情報の入手先については、「ケアマネジャーやヘルパー」が53.0%と最も多く、次いで、「新聞、情報誌」が23.8%、「地域包括支援センター」が23.3%となっている。

図表5-3 情報の入手先 (N=2,445)

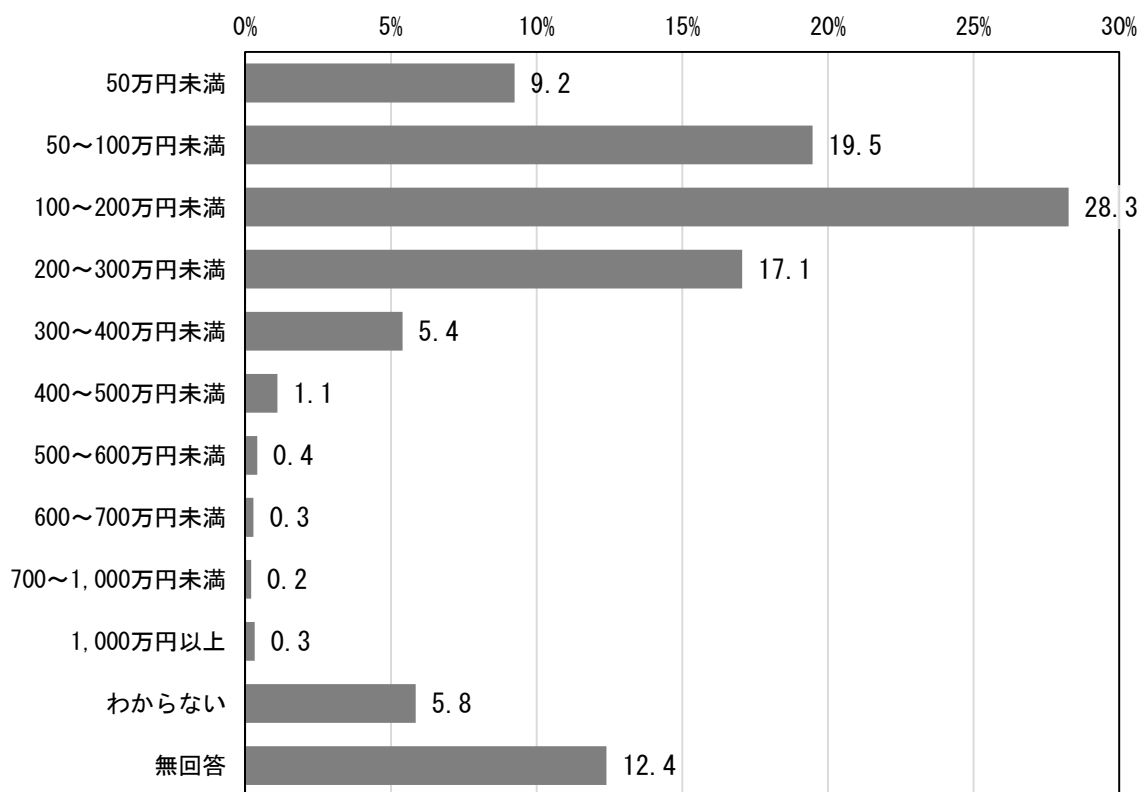


### 問5-4（1） 個人収入

収入についてうかがいます。あなた個人の平成27年1年間の収入（税込み）はいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

個人収入については、「100～200万円未満」が28.3%と最も多く、次いで、「50～100万円未満」が19.5%、「200～300万円未満」が17.1%となっている。

図表5-4-1 個人収入 (N=2,445)

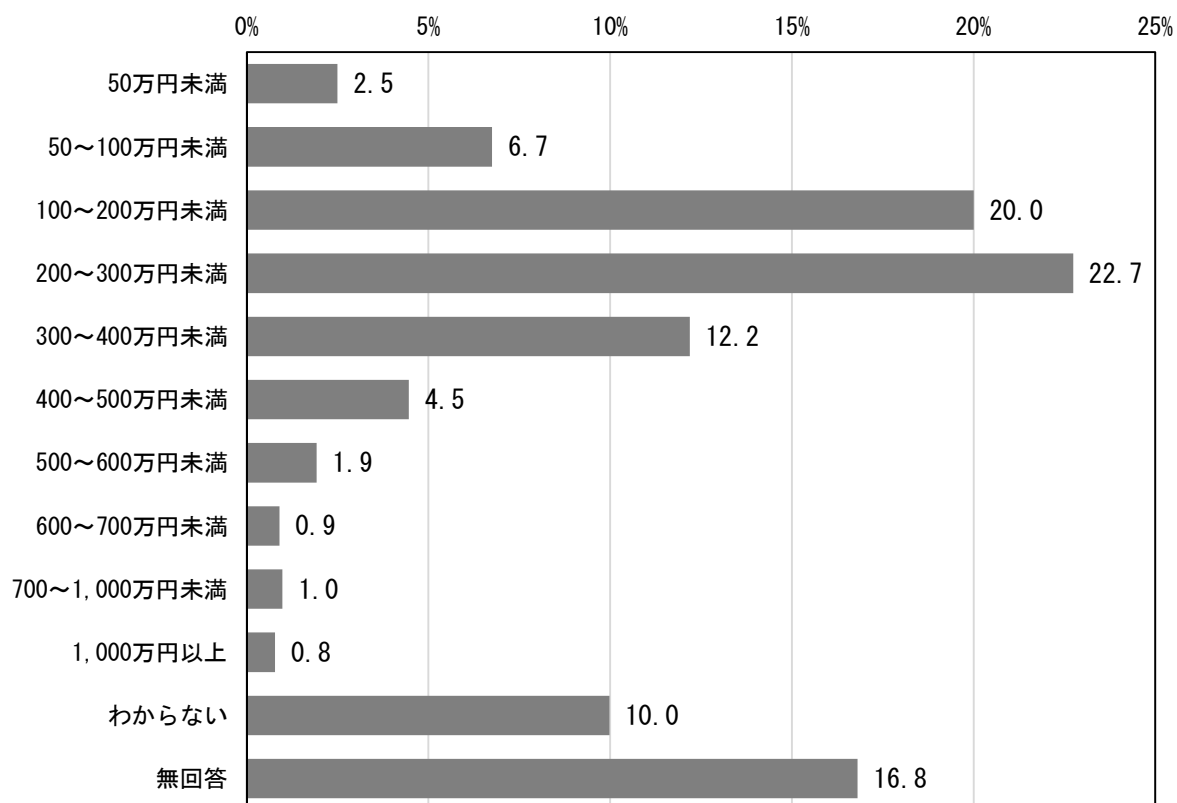


## 問5-4 (2) 世帯収入

収入についてうかがいます。世帯全体の平成27年1年間の収入（税込み）はいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

世帯収入については、「200～300万円未満」が22.7%と最も多く、次いで、「100～200万円未満」が20.0%、「300～400万円未満」が12.2%となっている。

図表5-4-2 世帯収入 (N=2,445)



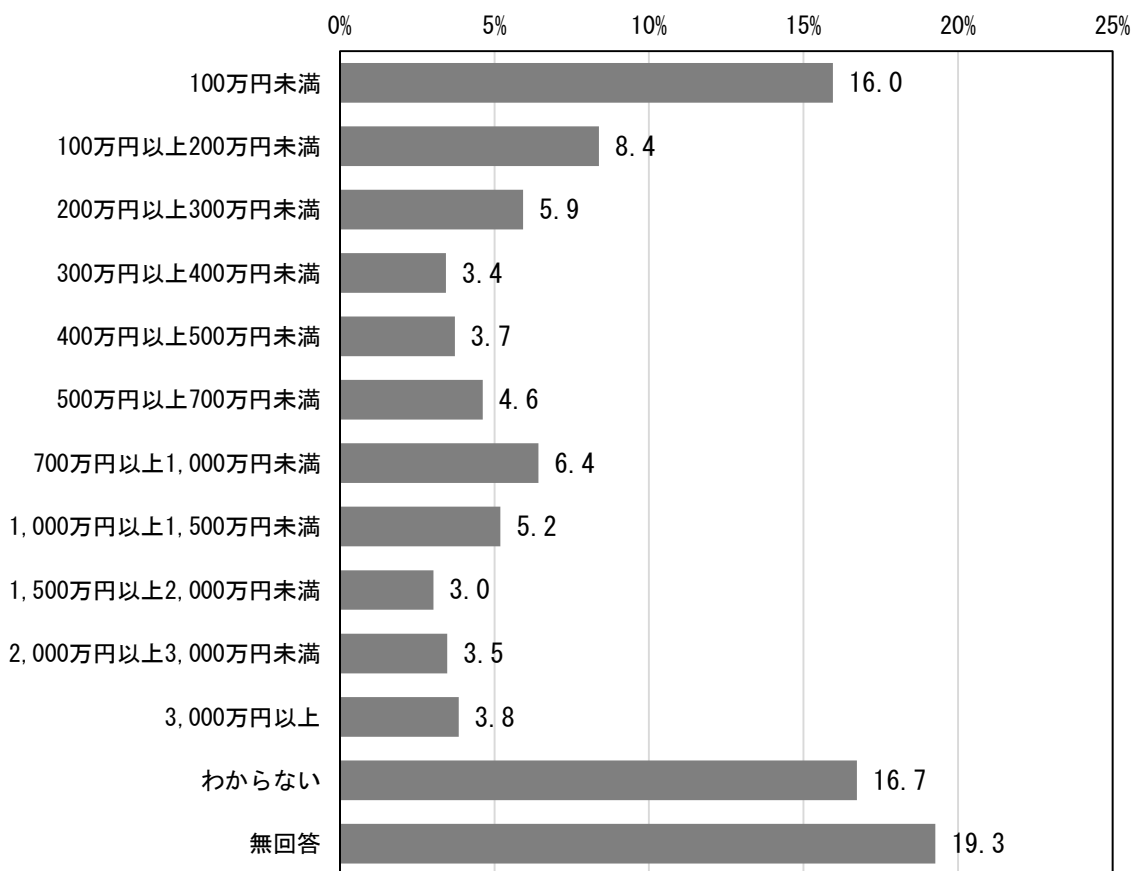


## 問5-5 世帯貯蓄

世帯全体の貯蓄の合計額はおよそいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

世帯貯蓄については、「100万円未満」が16.0%と最も多く、次いで、「100～200万円未満」が8.4%、「700～1000万円未満」が6.4%となっている。

図表5-5 世帯貯蓄 (N=2,445)

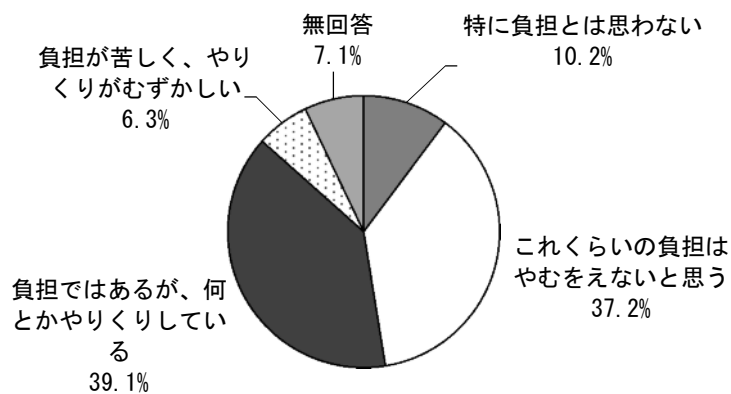


## 問5-6 介護保険料の負担感

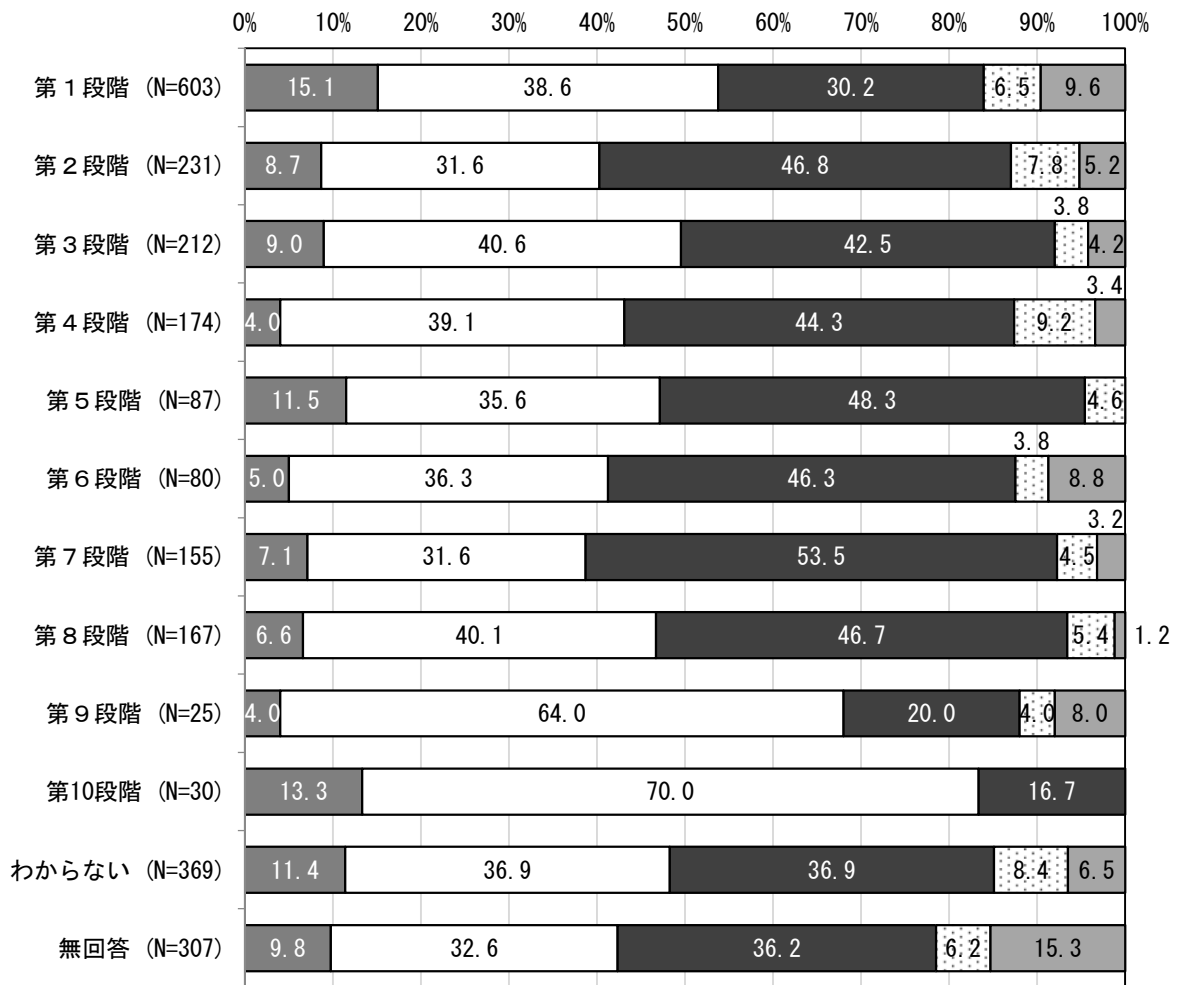
あなたは、現在支払っている介護保険料についてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護保険料の負担感については、「負担ではあるが、何とかやりくりしている」が39.1%と最も多く、次いで、「これくらいの負担はやむをえないと思う」が37.2%、「特に負担とは思わない」が10.2%となっている。

図表5-6 介護保険料の負担感 (N=2,445)

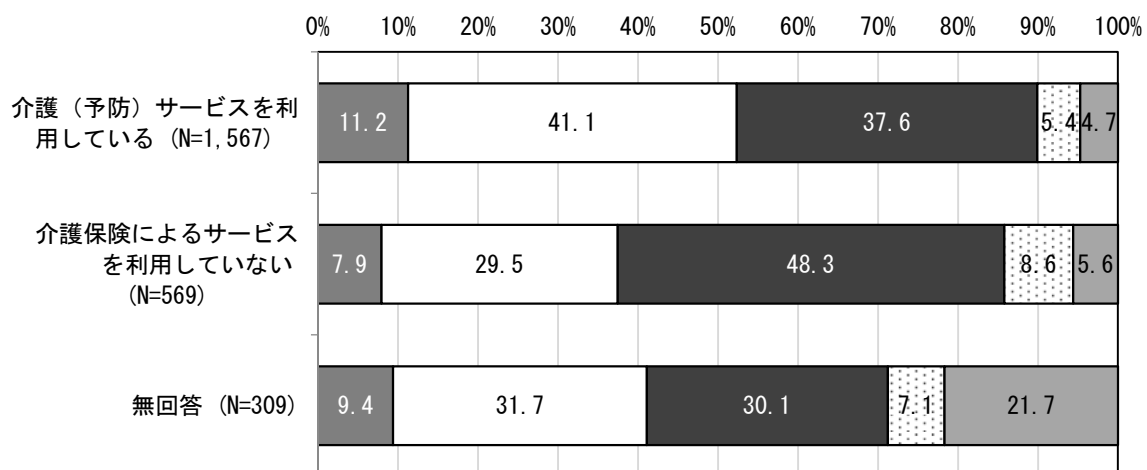


図表5-6-1 問5-6 介護保険料の負担感 × 問1-6 介護保険料所得段階



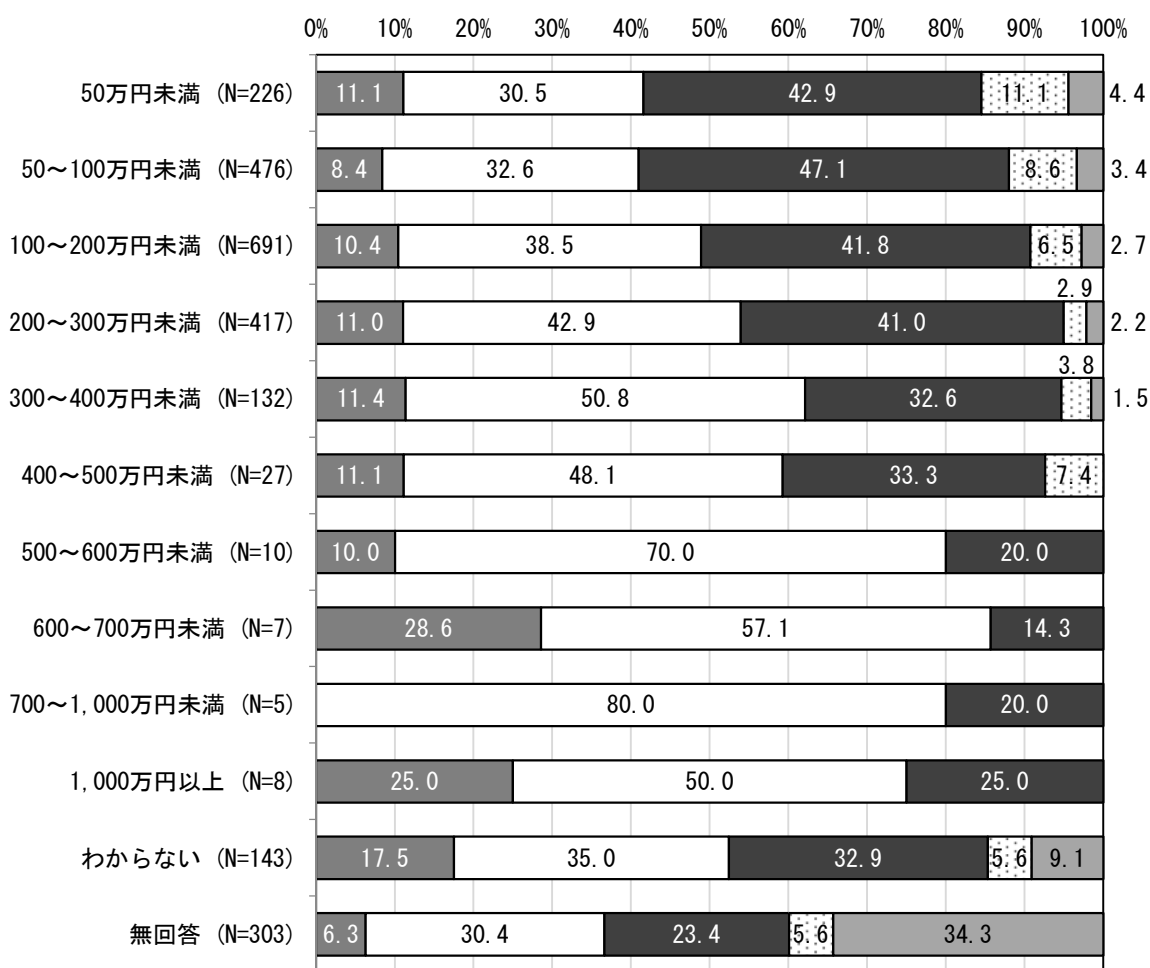
- 特に負担とは思わない
  これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
  負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答

図表5-6-2 問5-6 介護保険料の負担感 × 問2-5 介護サービス利用の有無



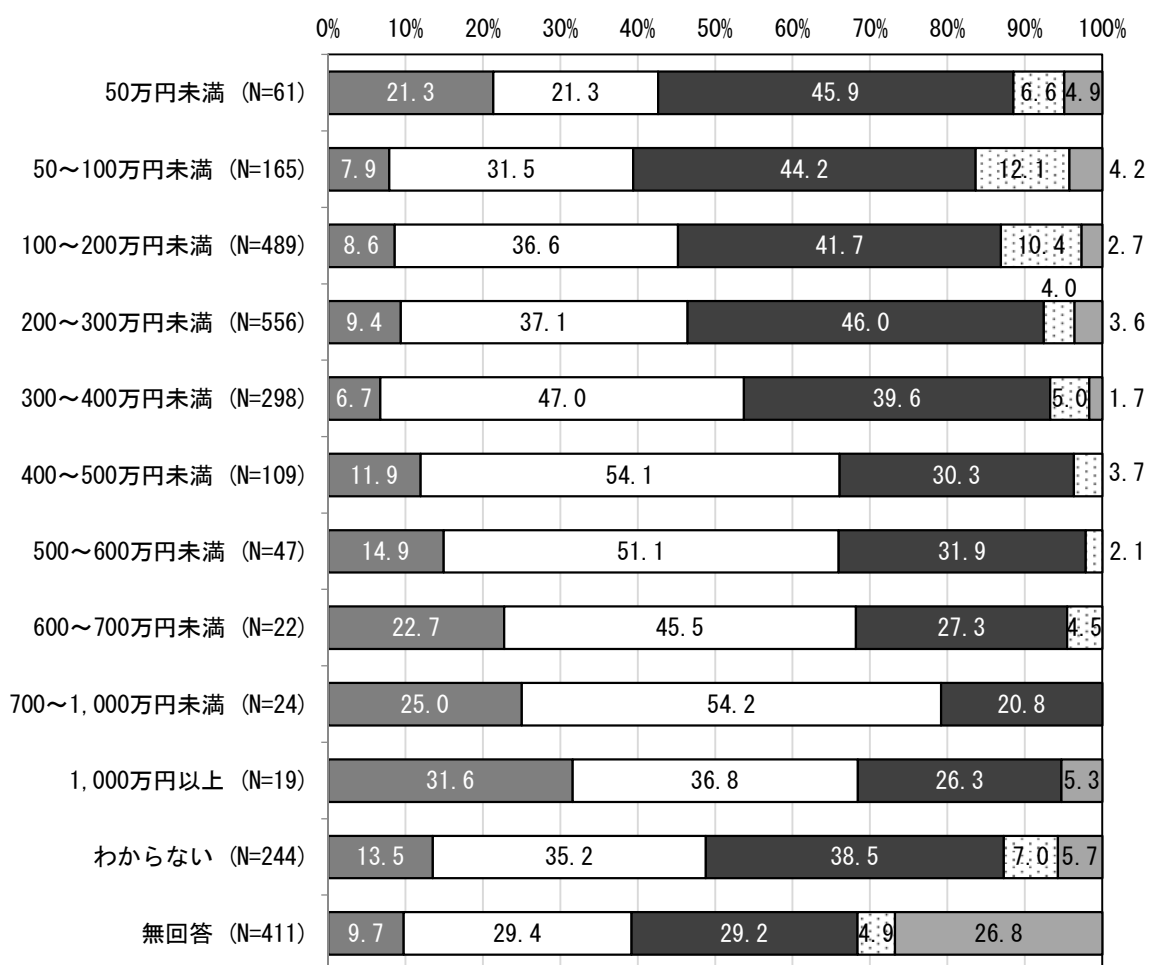
- 特に負担とは思わない
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 無回答

図表5-6-3 問5-6 介護保険料の負担感 × 問5-4(1) 個人収入



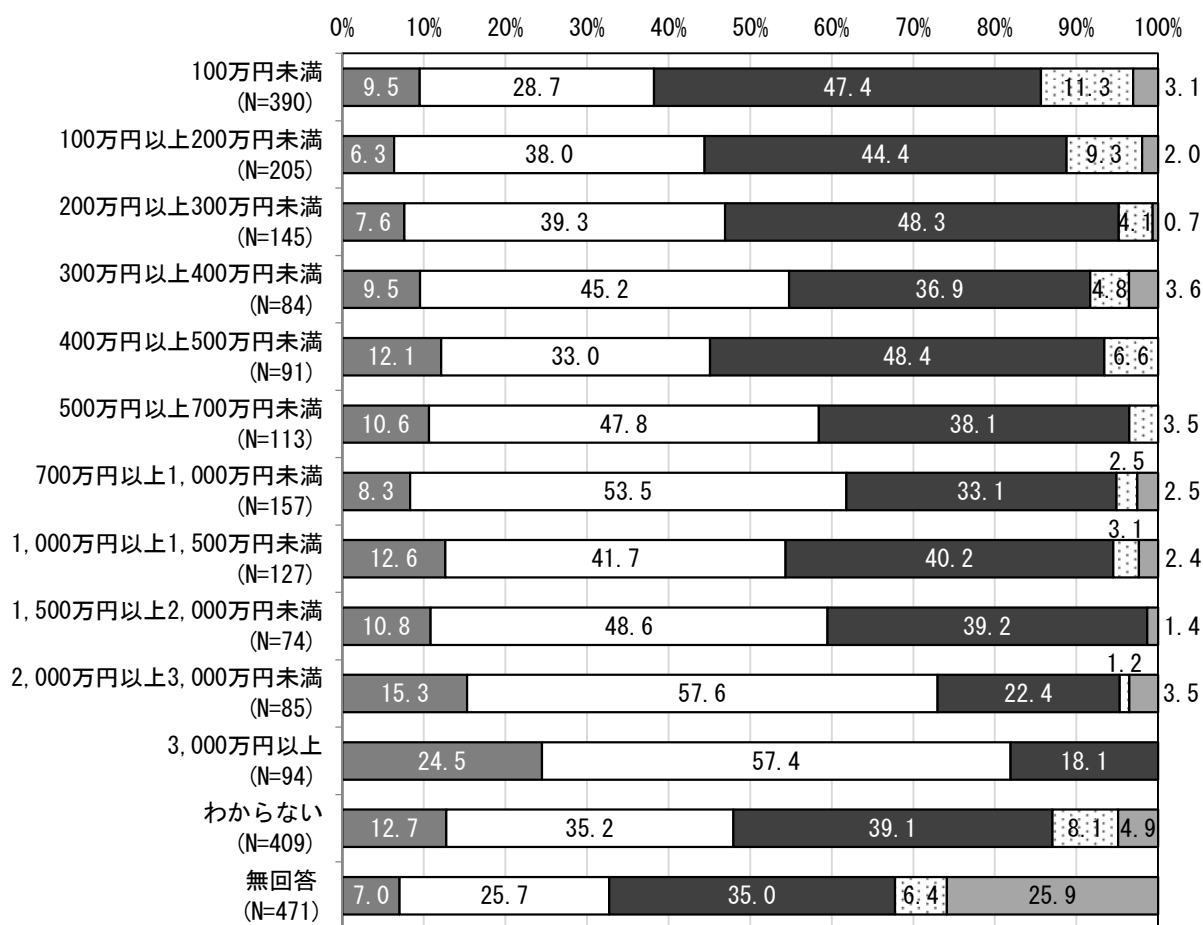
- 特に負担とは思わない
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答

図表5-6-4 問5-6 介護保険料の負担感 × 問5-4(2) 世帯収入



- 特に負担とは思わない
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい
- 無回答

図表5-6-5 問5-6 介護保険料の負担感 × 問5-5 世帯貯蓄



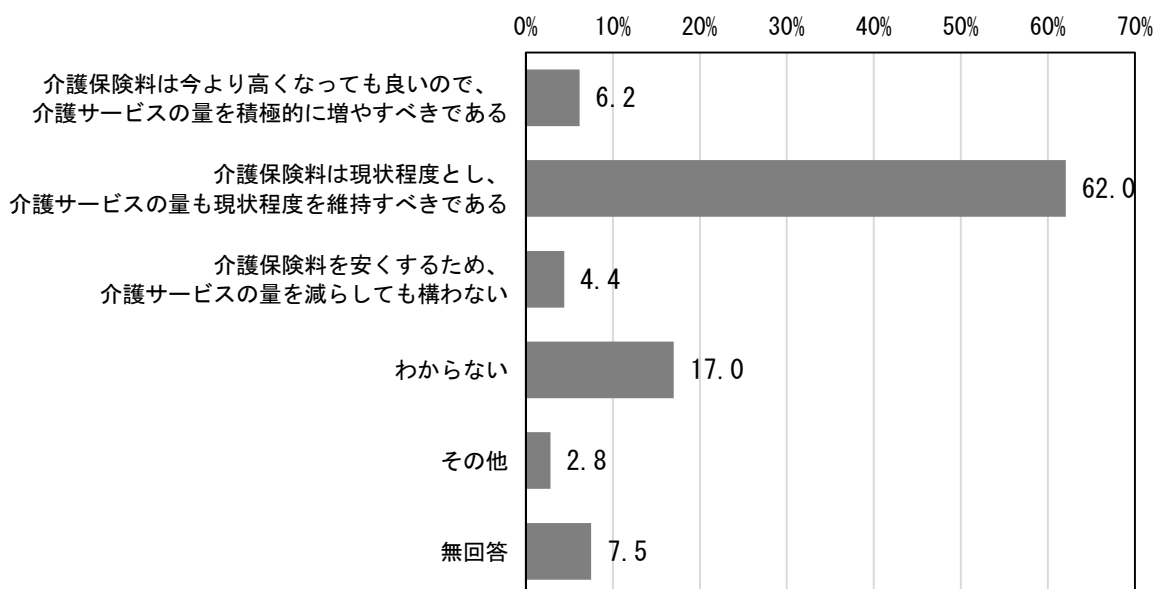
- 特に負担とは思わない
- 負担ではあるが、何とかやりくりしている
- 無回答
- これくらいの負担はやむをえないと思う
- 負担が苦しく、やりくりがむずかしい

## 問5-7 介護サービスと介護保険料の関係

介護保険では、介護サービスを充実させることで、介護保険料が上がりますが、介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

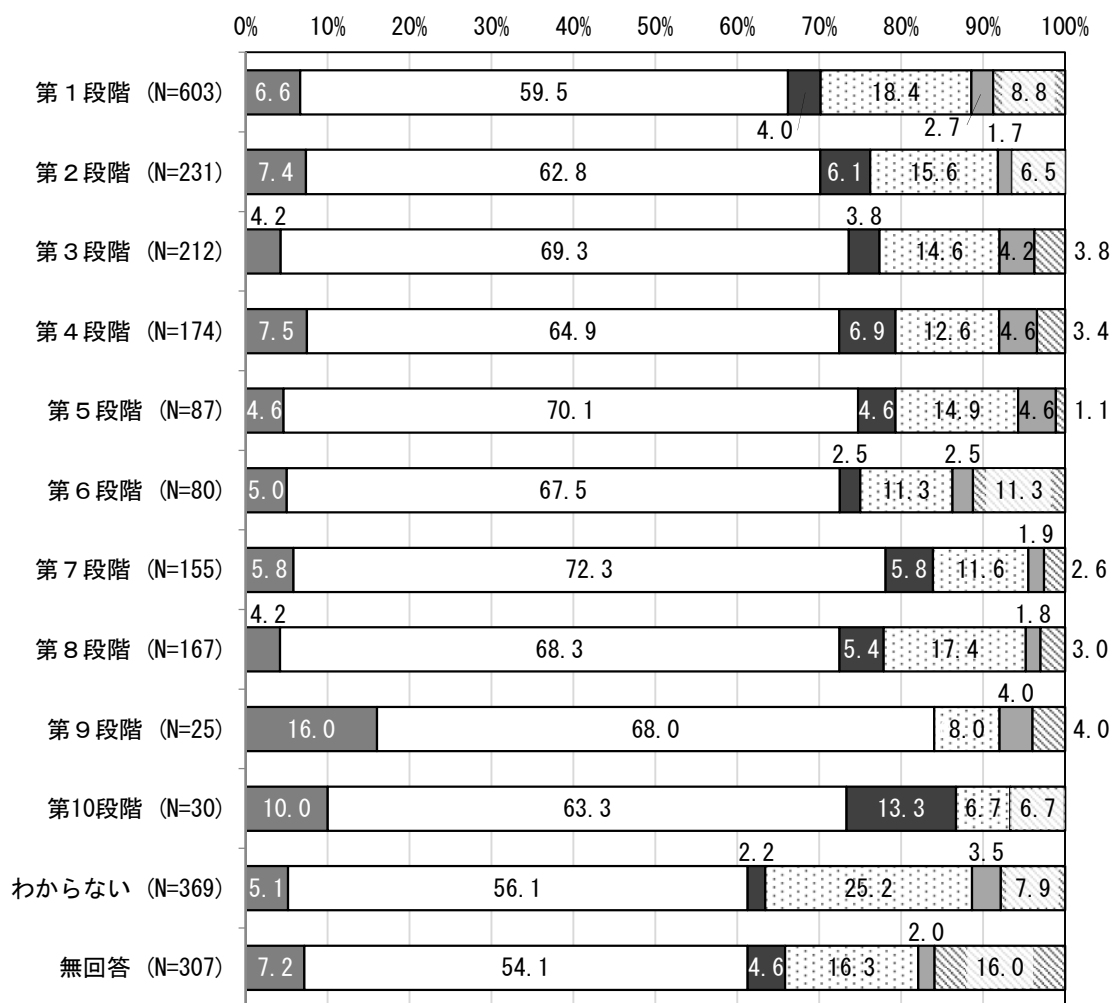
介護サービスと介護保険料の関係については、「介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである」が62.0%と最も多く、次いで、「わからない」が17.0%、「介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスの量を積極的に増やすべきである」が6.2%となっている。

図表5-7 介護サービスと介護保険料の関係 (N=2,445)



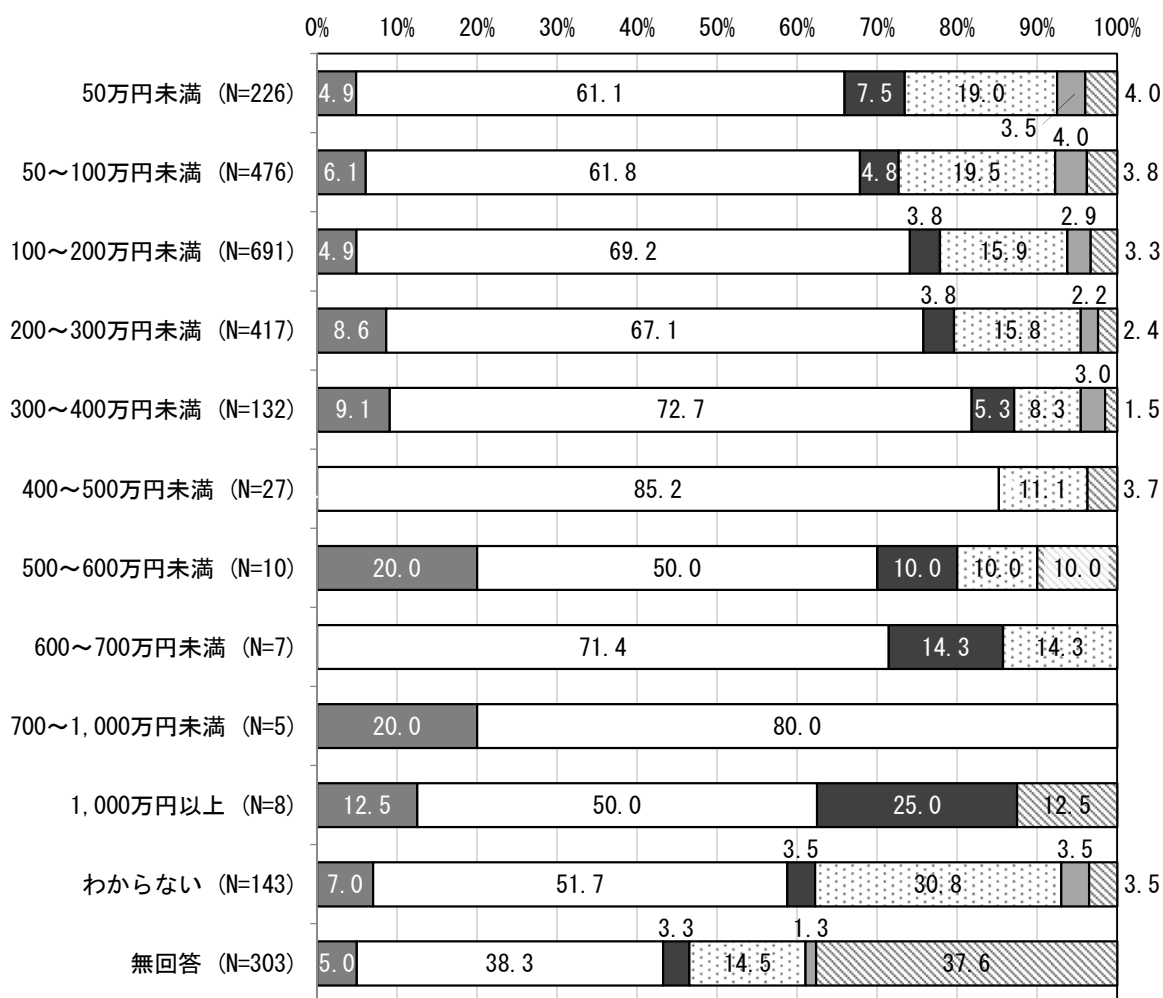


図表5-7-1 問5-7 介護サービスと介護保険料の関係 × 問1-6 介護保険料所得段階



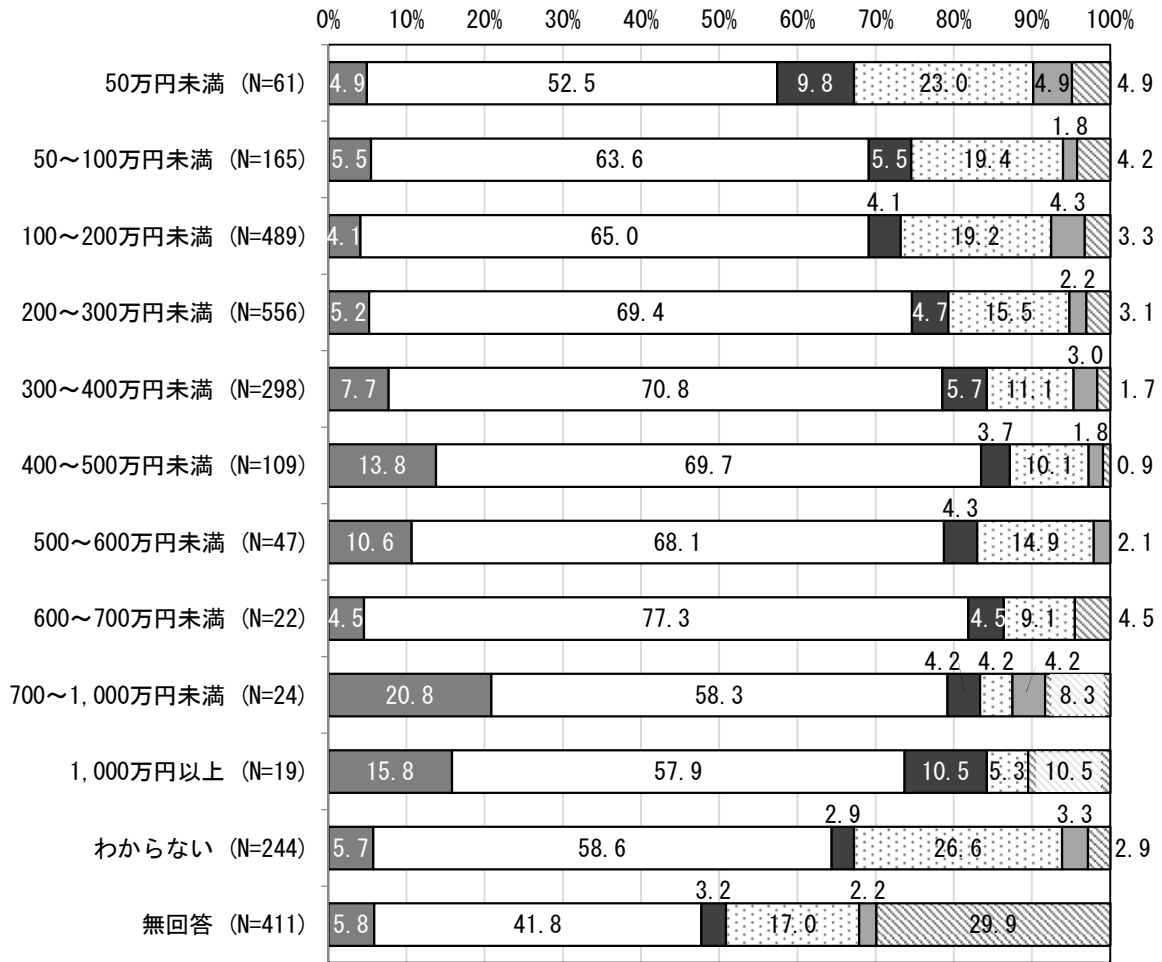
- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスの量を積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- わからない
- その他
- 無回答

図表5-7-2 問5-7 介護サービスと介護保険料の関係 × 問5-4(1) 個人収入



- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスの量を積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- わからない
- その他
- 無回答

図表5-7-3 問5-7 介護サービスと介護保険料の関係 × 問5-4(2) 世帯収入



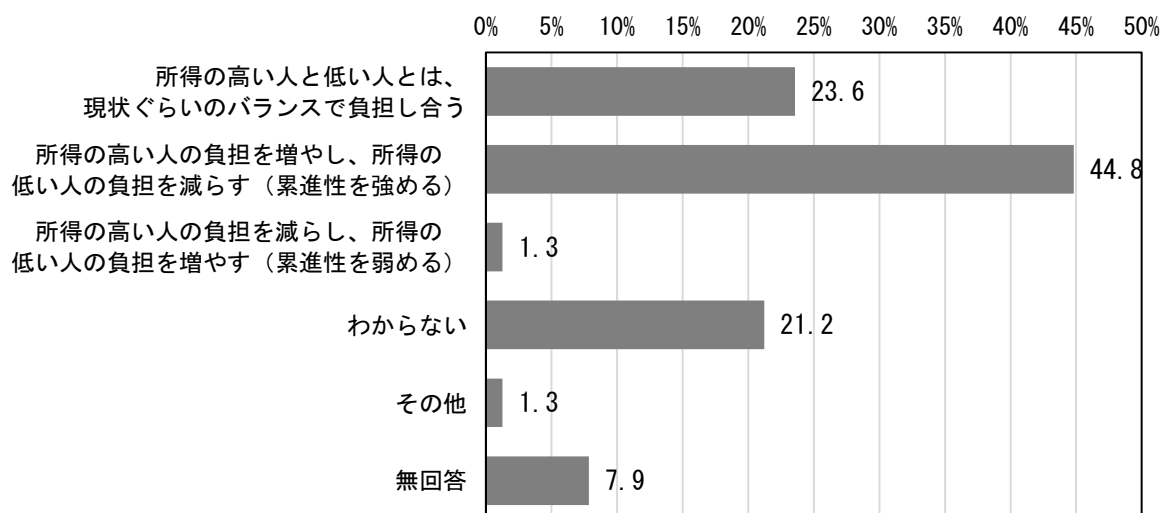
- 介護保険料は今より高くなっても良いので、介護サービスの量を積極的に増やすべきである
- 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
- 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
- わからない
- その他
- 無回答

## 問5-8 今後の介護保険料の負担のあり方

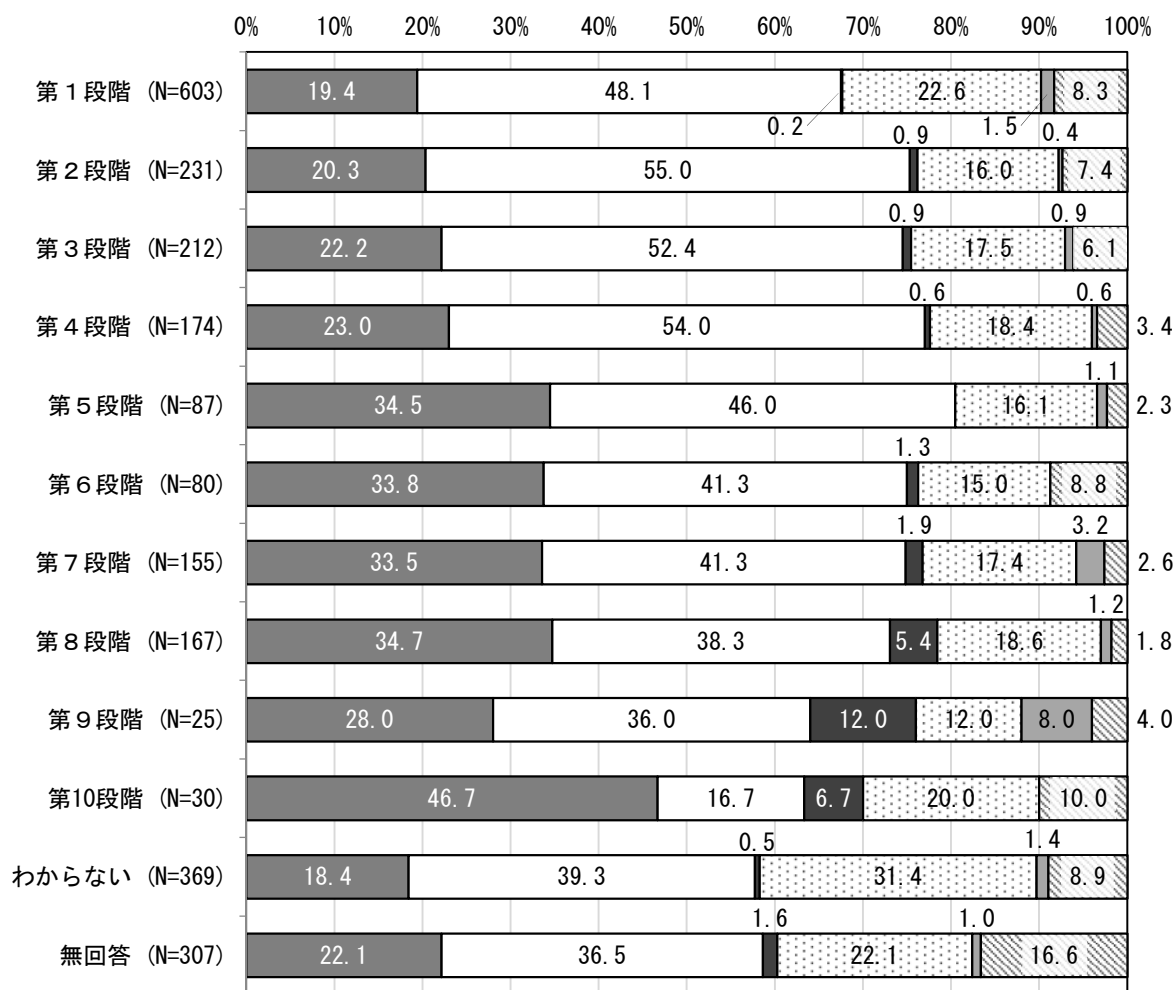
あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

今後の介護保険料の負担のあり方については、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」が44.8%と最も多く、次いで、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」が23.6%、「わからない」が21.2%となっている。

図表5-8 今後の介護保険料の負担のあり方 (N=2,445)

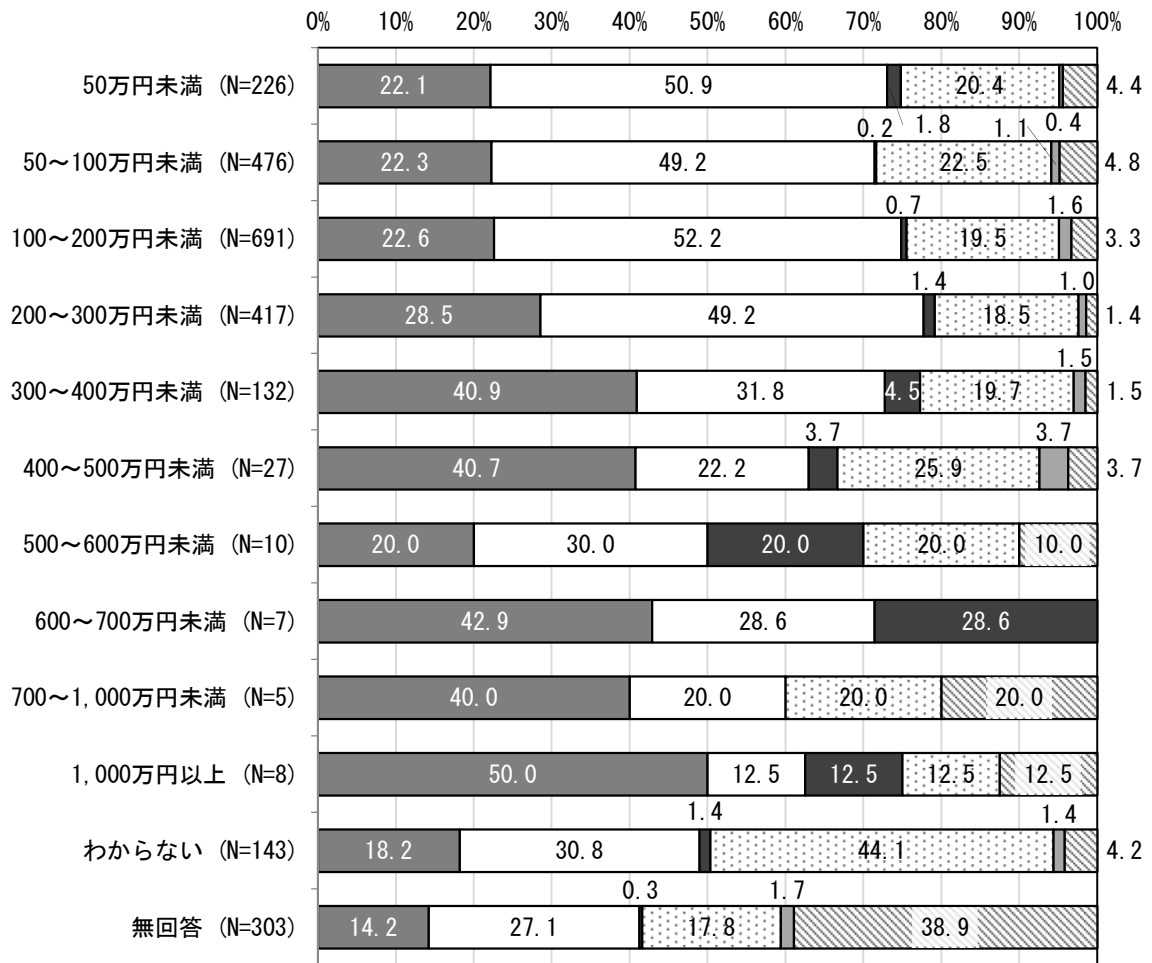


図表5-8-1 問5-8 今後の介護保険料の負担のあり方 × 問1-6 介護保険料所得段階



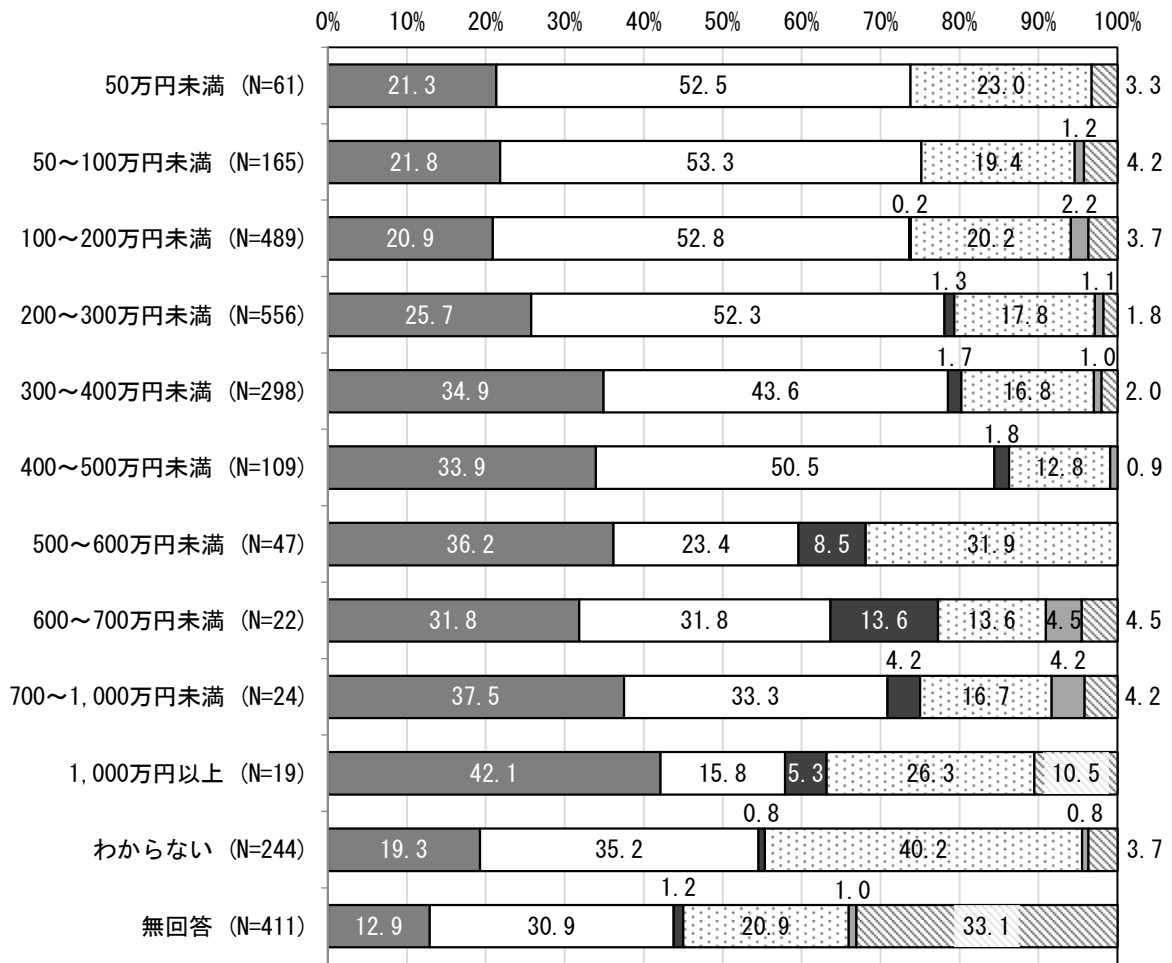
- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす (累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす (累進性を弱める)
- わからない
- その他
- 無回答

図表5-8-2 問5-8 今後の介護保険料の負担のあり方 × 問5-4(1) 個人収入



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす (累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす (累進性を弱める)
- わからない
- その他
- 無回答

図表5-8-3 問5-8 今後の介護保険料の負担のあり方 × 問5-4(2) 世帯収入



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす（累進性を弱める）
- わからない
- その他
- 無回答

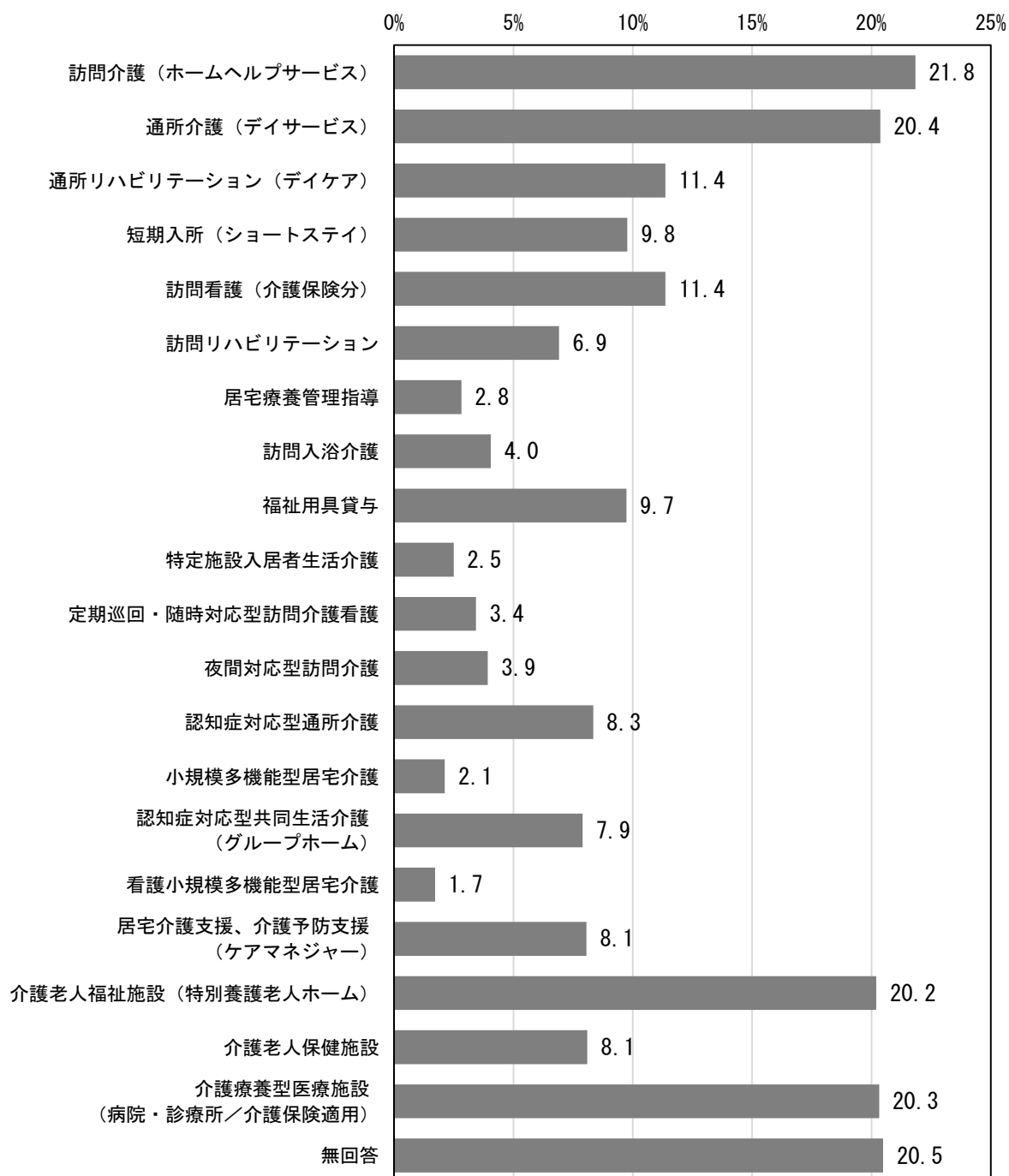
## 問5-9 今後充実してほしい介護サービス

[複数回答]

あなたが、今後より充実してほしいと考える介護サービスはどれですか。3つ以内で選び、○をつけてください。

今後充実してほしい介護サービスについては、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が21.8%と最も多く、次いで、「通所介護（デイサービス）」が20.4%となっている。

図表5-9 今後充実してほしいサービス (N=2,445)





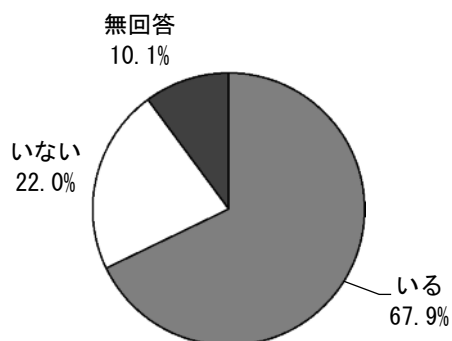
## 2. 6 あなたを介護してくれる方の状況について

### 問6-1 介護者の有無

ヘルパーや施設職員以外で、あなたを介護してくれる方はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

介護者の有無については、「いる」が67.9%、「いない」が22.0%となっている。

図表6-1 介護者の有無 (N=2,445)

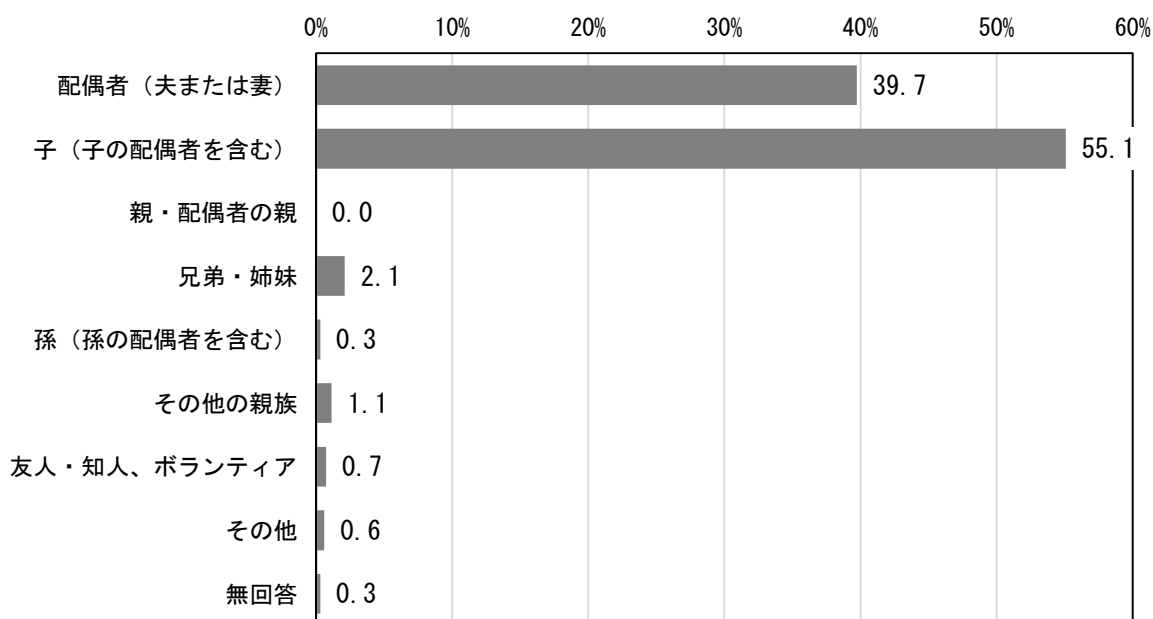


## 問6-1 (1) 主な介護者の続柄

「1. いる」と答えた方におうかがいします。主に介護してくれる方（主な介護者）の続柄について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

主な介護者の続柄については、「子（子の配偶者を含む）」が55.1%と最も多く、次いで、「配偶者（夫または妻）」が39.7%となっている。

図表6-1-1 主な介護者の続柄 (N=1,659)



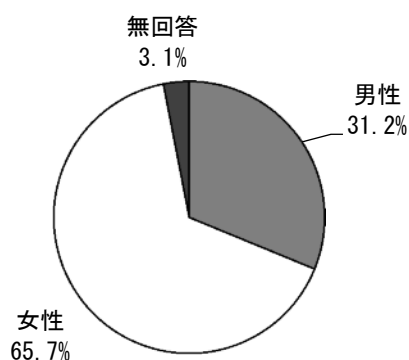
## 2. 7 家族介護者の状況について

### 問7-1 主な家族介護者の性別

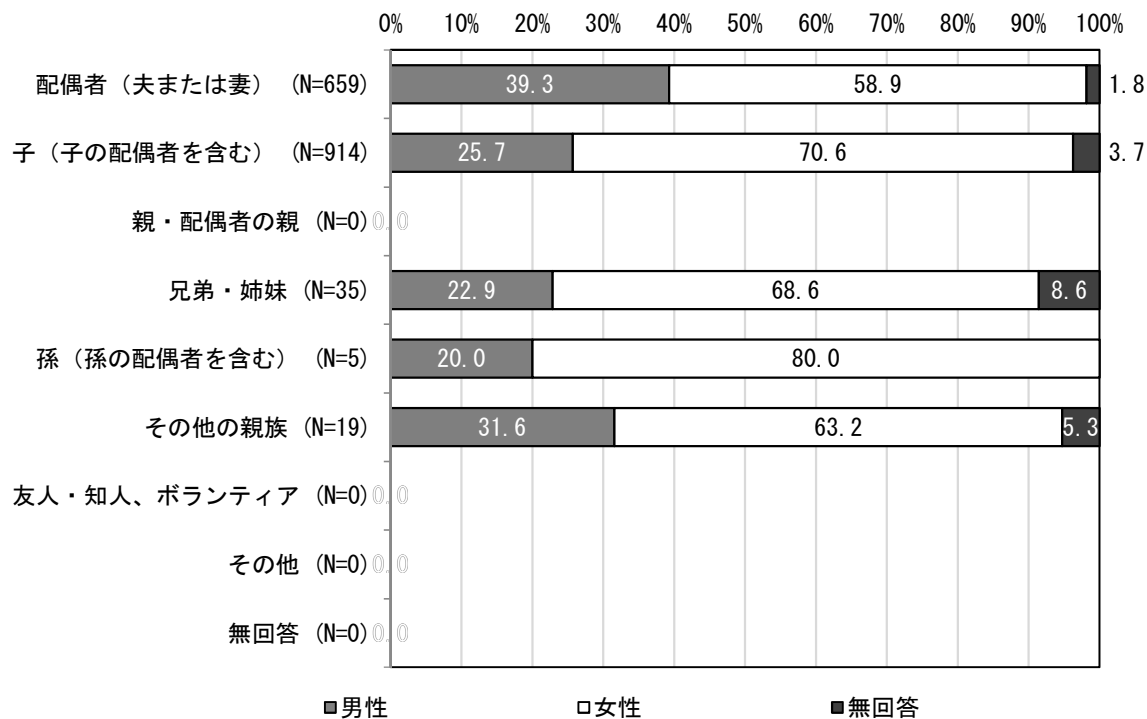
主な家族介護者の性別について、あてはまるものに○をつけてください。

主な家族介護者の性別については、「男性」が 31.2%、「女性」が 65.7%となっている。

図表7-1 主な家族介護者の性別 (N=1,632)



図表7-1-1 問7-1 主な家族介護者の性別 × 問6-1 (1) 主な介護者の続柄

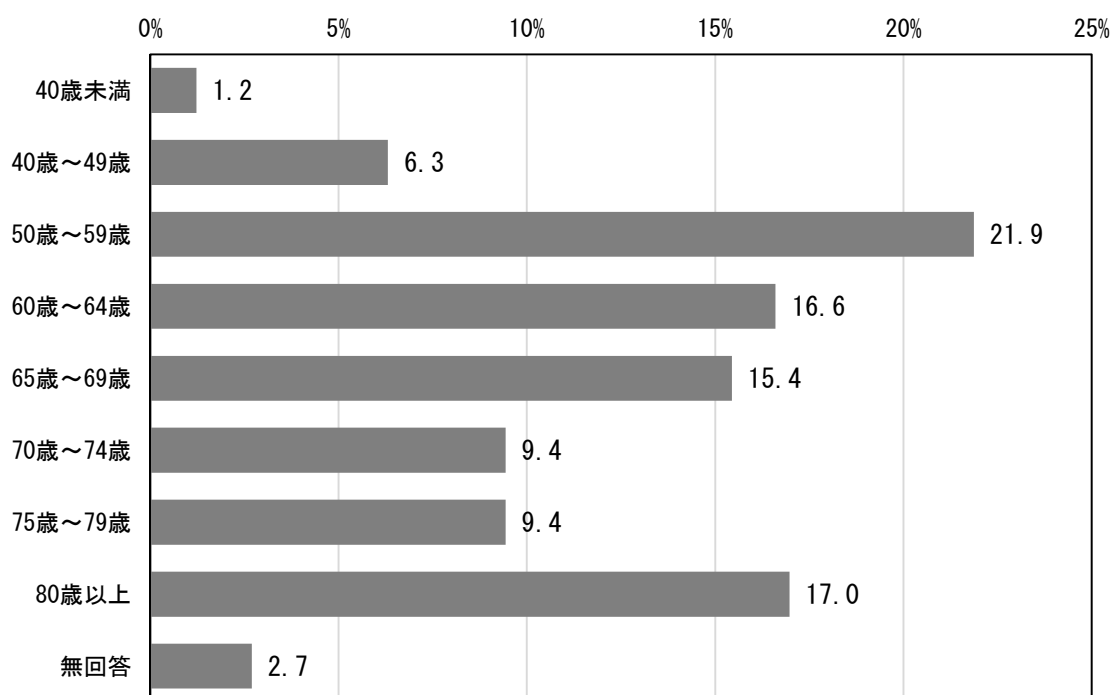


## 問7-2 主な家族介護者の年齢

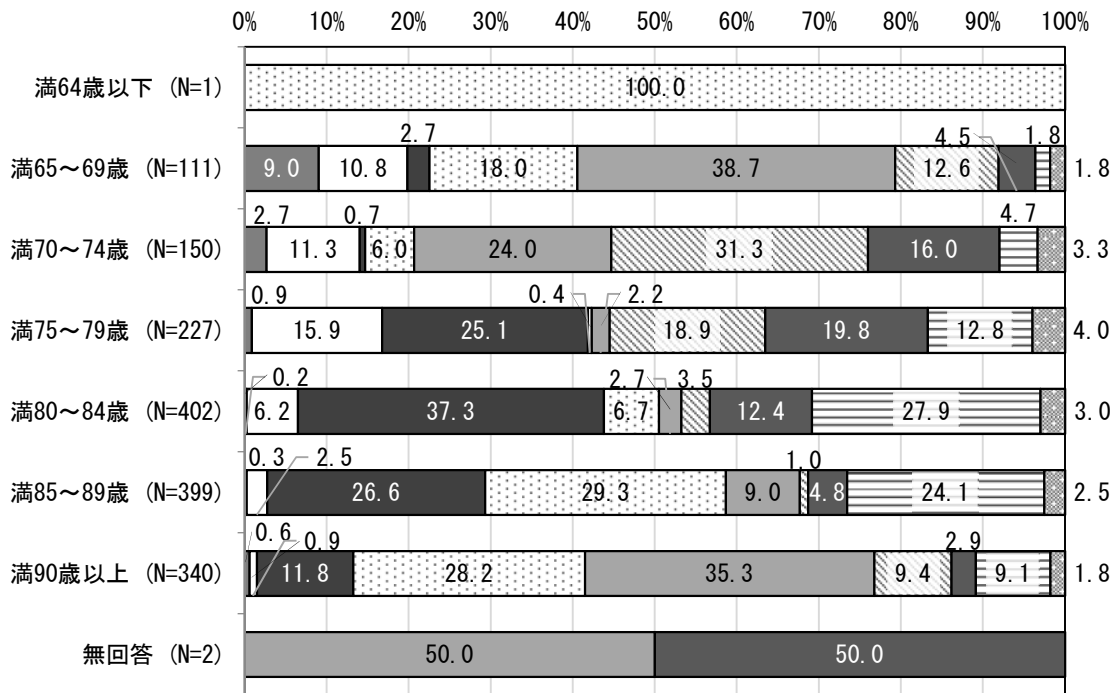
主な家族介護者の年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

主な家族介護者の年齢については、「50歳～59歳」が21.9%と最も多く、次いで、「80歳以上」が17.0%、「60歳～64歳」が16.6%となっている。

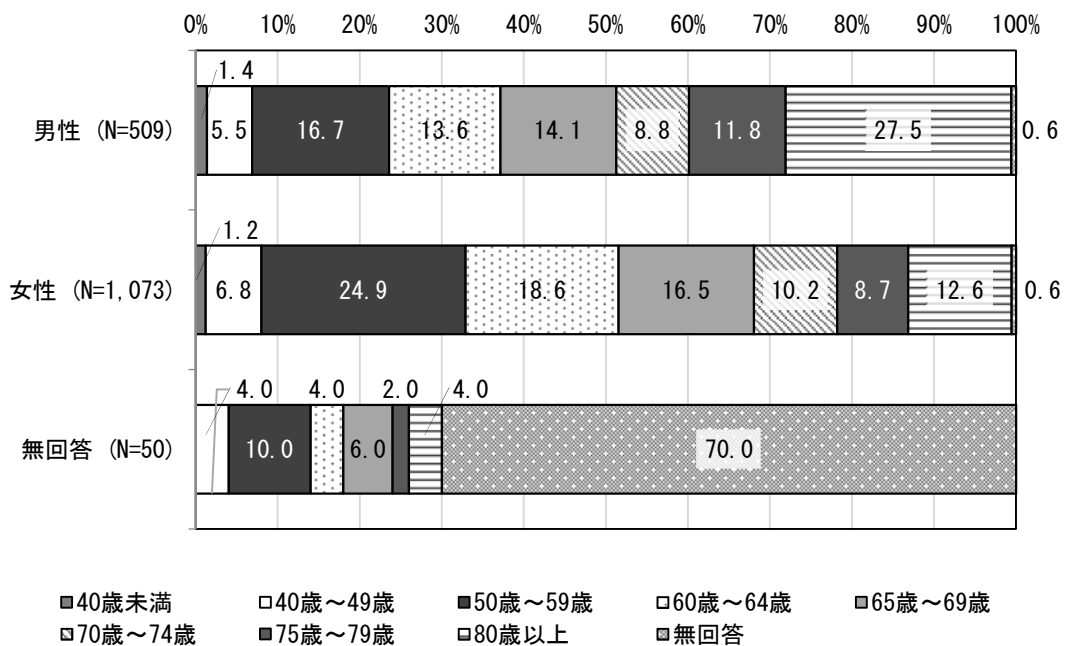
図表7-2 主な家族介護者の年齢 (N=1,632)



図表7-2-1 問7-2 主な家族介護者の年齢 × 問1-2 年齢



図表7-2-2 問7-2 主な家族介護者の年齢 × 問7-1 主な家族介護者の性別

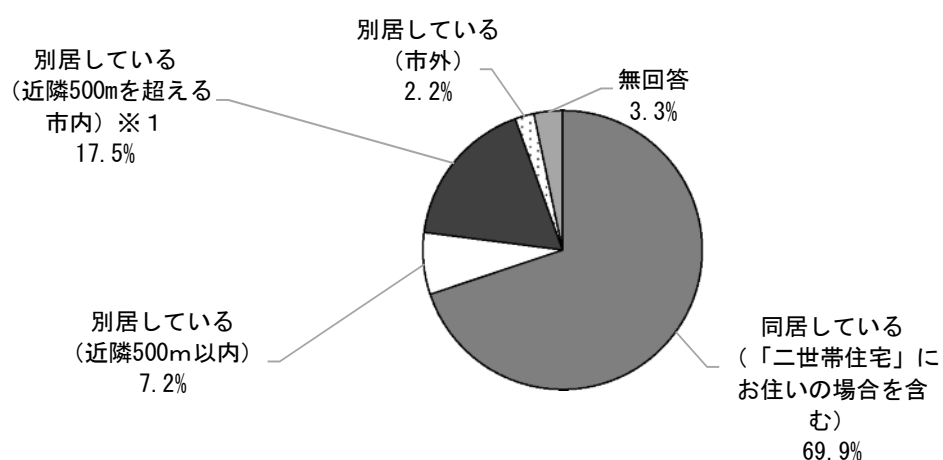


### 問7-3 本人と主な家族介護者との同居・別居

ご本人（封筒のあて名の方）と主な家族介護者との同居・別居について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

本人と主な家族介護者との同居・別居については、「同居している（「二世帯住宅」にお住いの場合を含む）」が69.9%と最も多く、次いで、「別居している（近隣500mを超える市内）<sup>※1</sup>」が17.5%、「別居している（近隣500m以内）」が7.2%となっている。

図表7-3 本人と主な家族介護者との同居・別居（N=1,632）



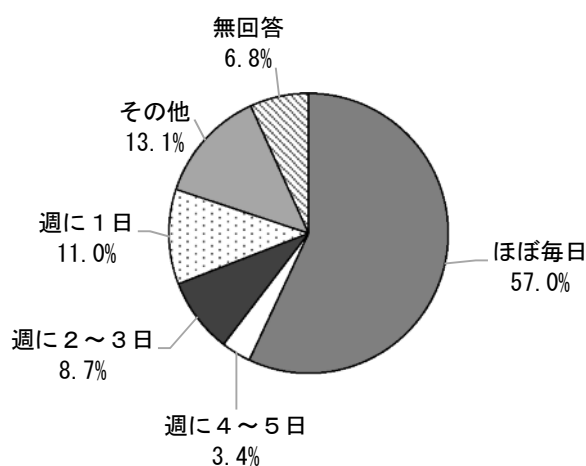
※1 「別居している（近隣500mを超える市内）」：調査票においての選択肢は「上記2. 以外の市内」

## 問7-4 主な家族介護者の介護の頻度

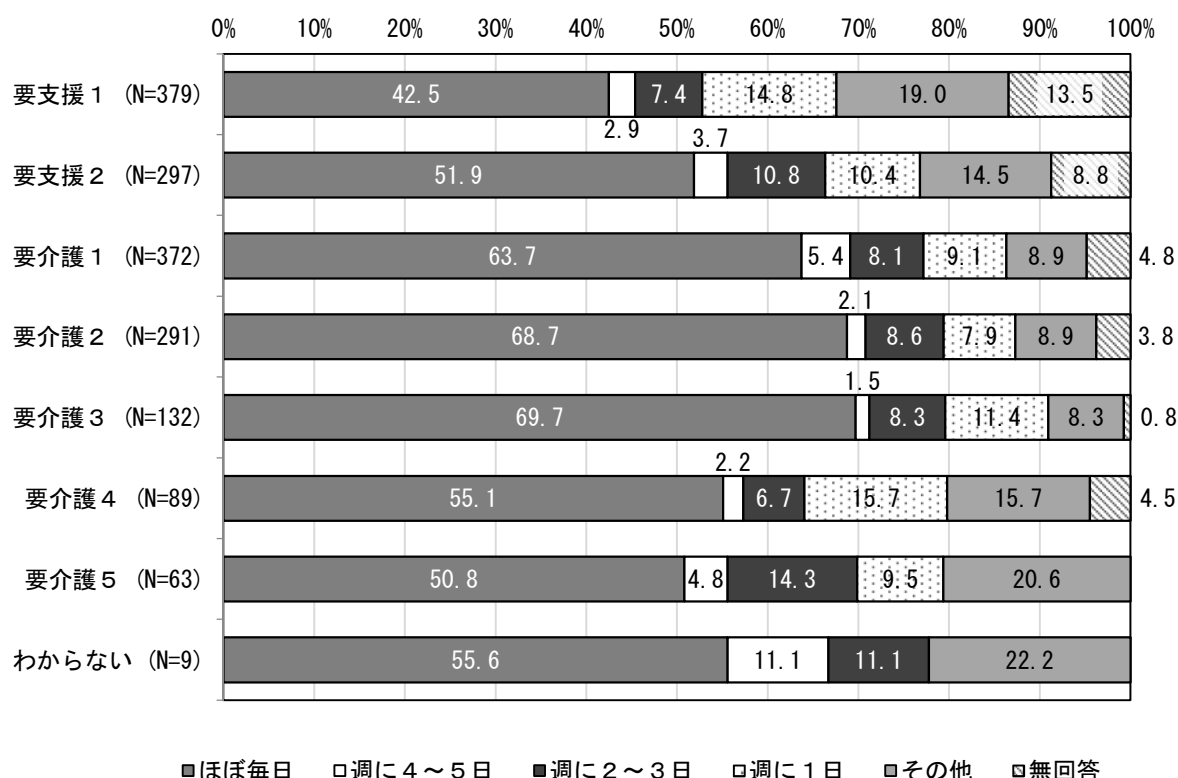
主な家族介護者は、ご本人（封筒のあて名の方）の介護をどれくらいの頻度で行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

主な家族介護者の介護の頻度については、「ほぼ毎日」が57.0%と最も多く、次いで、「その他」が13.1%、「週に1日」が11.0%となっている。

図表7-4 主な家族介護者の介護の頻度 (N=1,632)



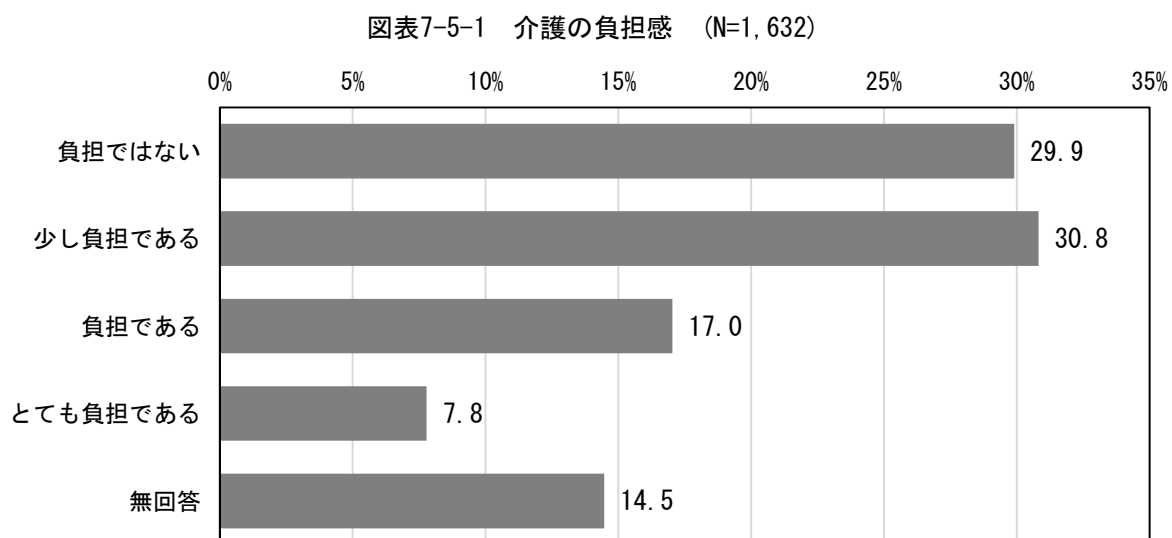
図表7-4-1 問7-4 主な家族介護者の介護の頻度 × 問1-4 介護度



### 問7-5（1） 介護の負担感

介護の負担感についてお聞きします。  
主な家族介護者の介護の負担感はどの程度ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

介護の負担感については、「少し負担である」が30.8%と最も多く、次いで、「負担ではない」が29.9%、「負担である」が17.0%となっている。





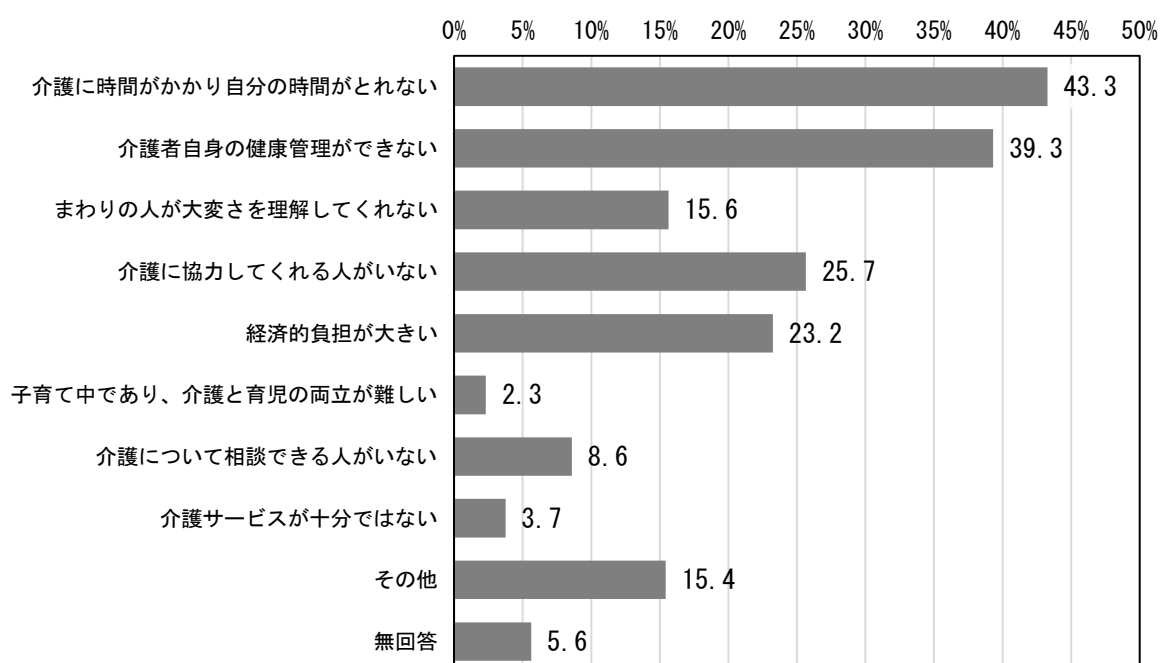
## 問7-5 (2) 負担に感じること

[複数回答]

介護の負担感についてお聞きします。  
 (1)で「2.少し負担である」「3.負担である」または「4.とても負担である」と答えた方にうかがいます。負担に感じることはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

負担に感じることについては、「介護に時間がかかり自分の時間がとれない」が43.3%と最も多く、次いで、「介護者自身の健康管理ができない」が39.3%、「介護に協力してくれる人がいない」が25.7%となっている。

図表7-5-2 負担に感じること (N=908)



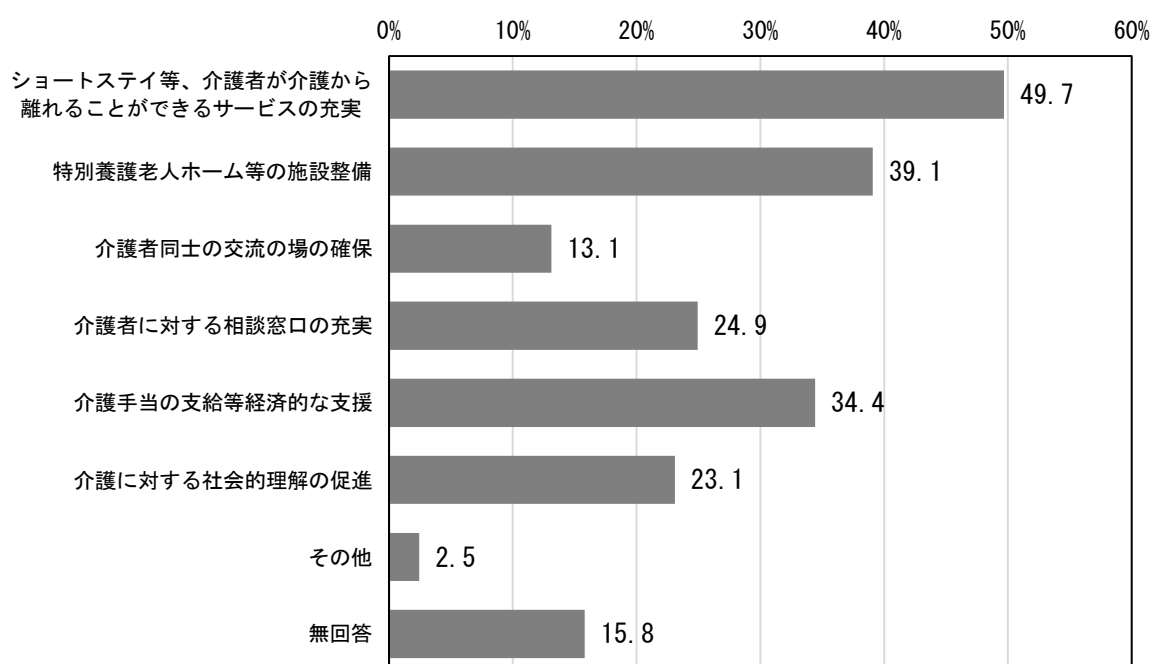
## 問7-6 介護者支援として重要なこと

[複数回答]

すべての方におうかがいします。介護者支援として重要なことはどのようなことだと考えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

介護者支援として重要なことについては、「ショートステイ等、介護者が介護から離れることができるサービスの充実」が49.7%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホーム等の施設整備」が39.1%、「介護手当の支給等経済的な支援」が34.4%となっている。

図表7-6 介護者支援として重要なこと (N=1,632)



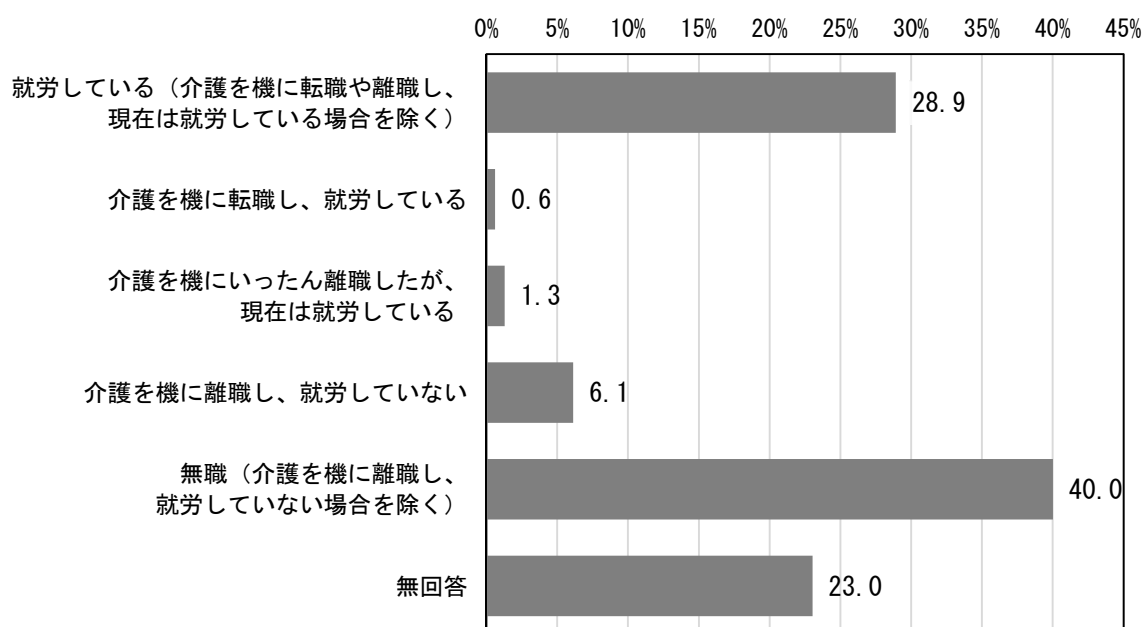
## 問7-7（1） 就労状況

就労状況についてお聞きします。

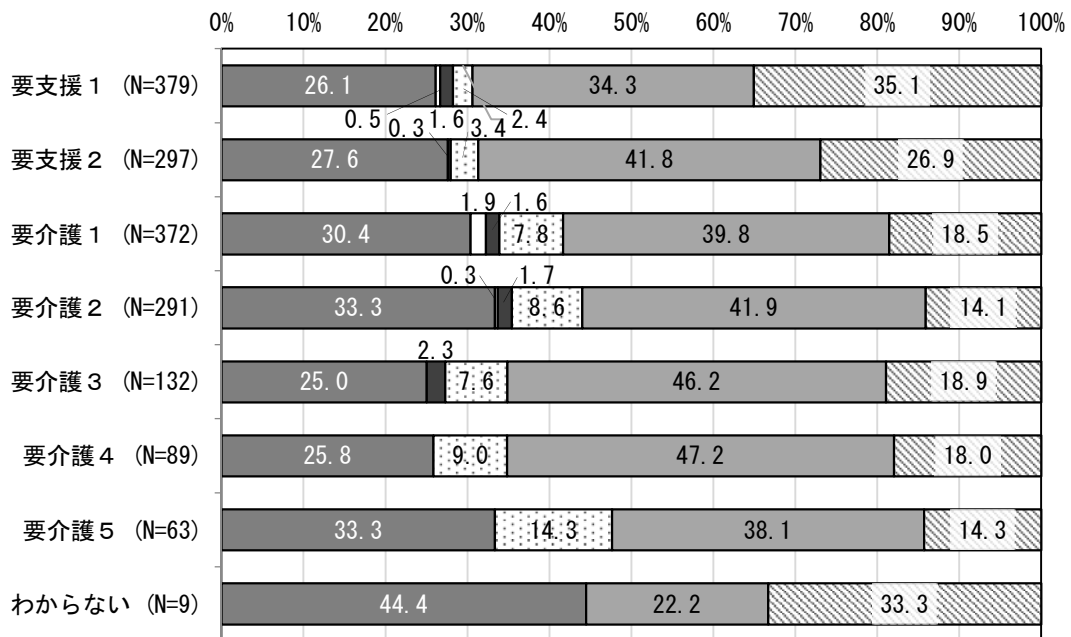
主な家族介護者は、現在、就労していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

就労状況については、「無職（介護を機に離職し、就労していない場合を除く）」が40.0%と最も多く、次いで、「就労している（介護を機に転職や離職し、現在は就労している場合を除く）」が28.9%、「介護を機に離職し、就労していない」が6.1%となっている。

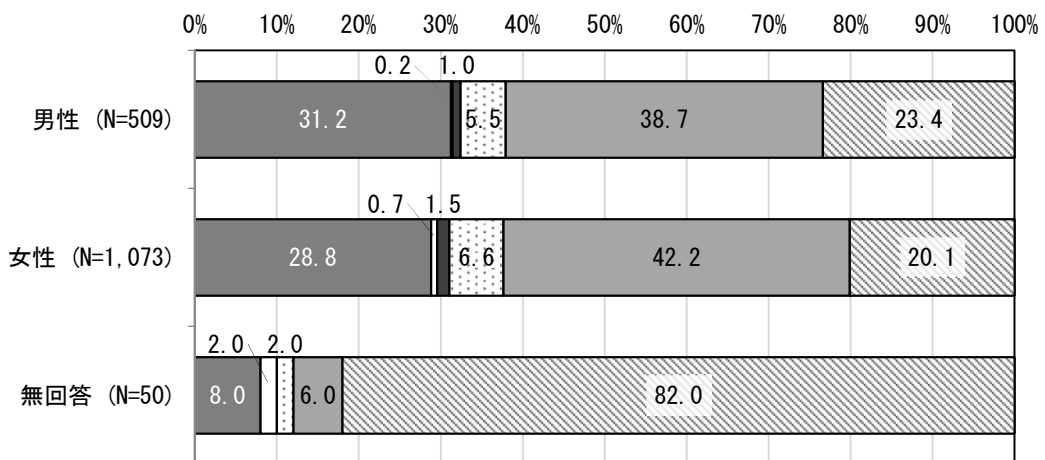
図表7-7-1 就労状況（N=1,632）



図表7-7-1-1 問7-7 (1) 就労状況 × 問1-4 介護度



図表7-7-1-2 問7-7 (1) 就労状況 × 問7-1 主な家族介護者の性別



- 就労している（介護を機に転職や離職し、現在は就労している場合を除く）
- 介護を機に転職し、就労している
- 介護を機にいったん離職したが、現在は就労している
- 介護を機に離職し、就労していない
- 無職（介護を機に離職し、就労していない場合を除く）
- 無回答

## 問7-7 (2) 転職、離職理由

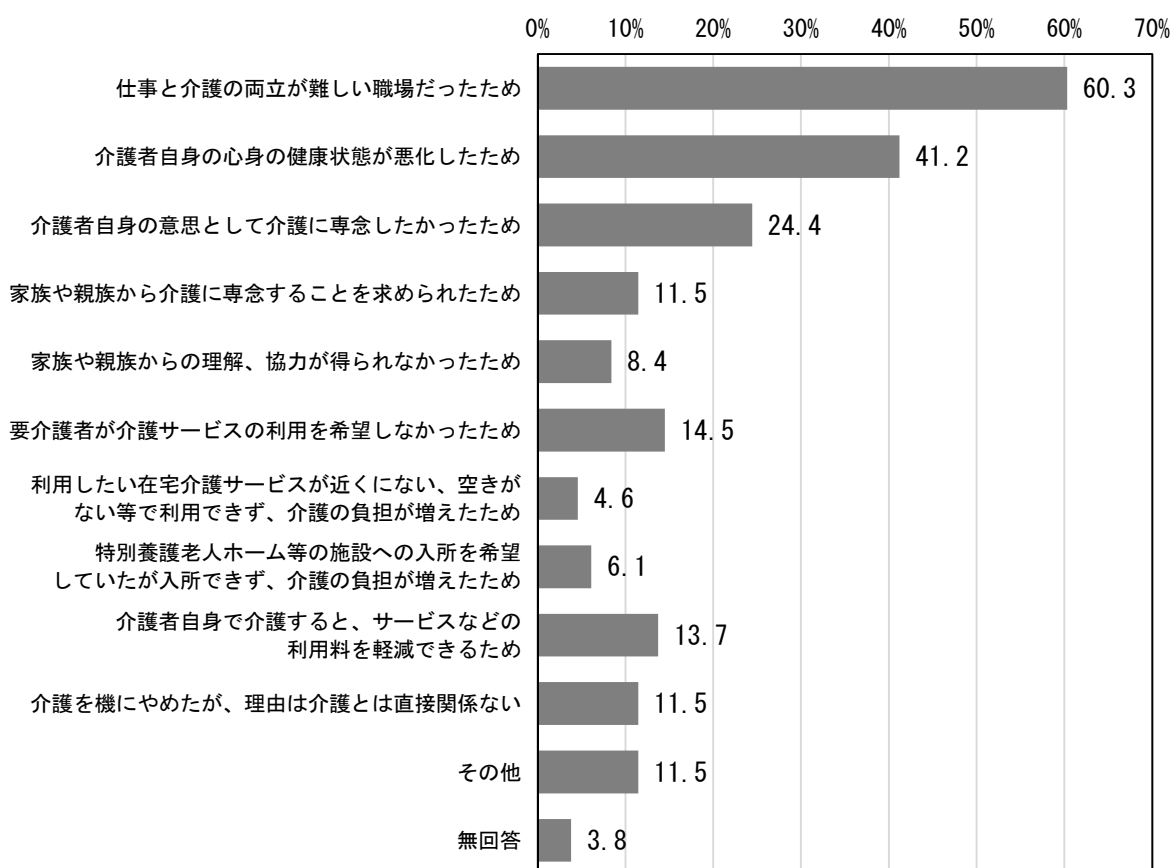
[複数回答]

就労状況についてお聞きします。

(1)で「2.介護を機に転職し、就労している」「3.介護を機にいったん離職したが、現在は就労している」または「4.介護を機に離職し、就労していない」と答えた方にうかがいます。転職した理由、離職した理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

転職、離職理由については、「仕事と介護の両立が難しい職場だったため」が60.3%と最も多く、次いで、「介護者自身の心身の健康状態が悪化したため」が41.2%、「介護者自身の意思として介護に専念したかったため」が24.4%となっている。

図表7-7-2 転職、離職理由 (N=131)



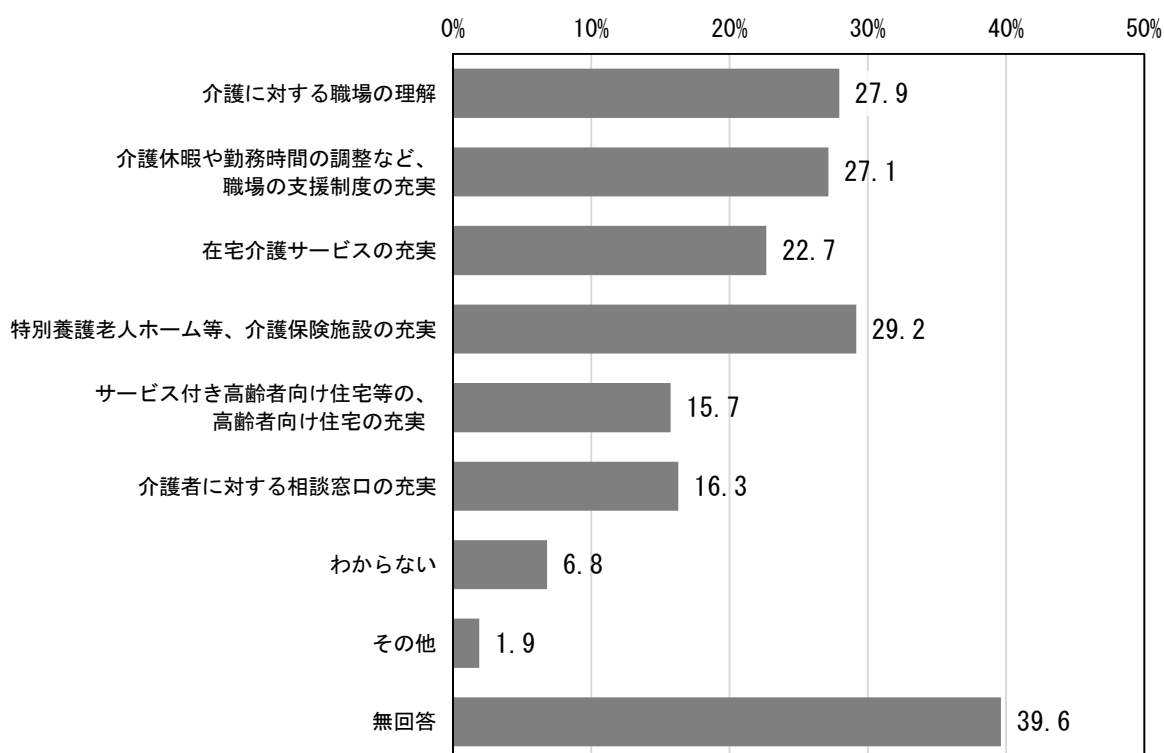
## 問7-8 就労継続に必要な支援

[複数回答]

すべての方におうかがいします。就労の継続にはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

就労継続に必要な支援については、「特別養護老人ホーム等、介護保険施設の充実」が29.2%と最も多く、次いで、「介護に対する職場の理解」が27.9%、「介護休暇や勤務時間の調整など、職場の支援制度の充実」が27.1%となっている。

図表7-8 就労継続に必要な支援 (N=1,632)



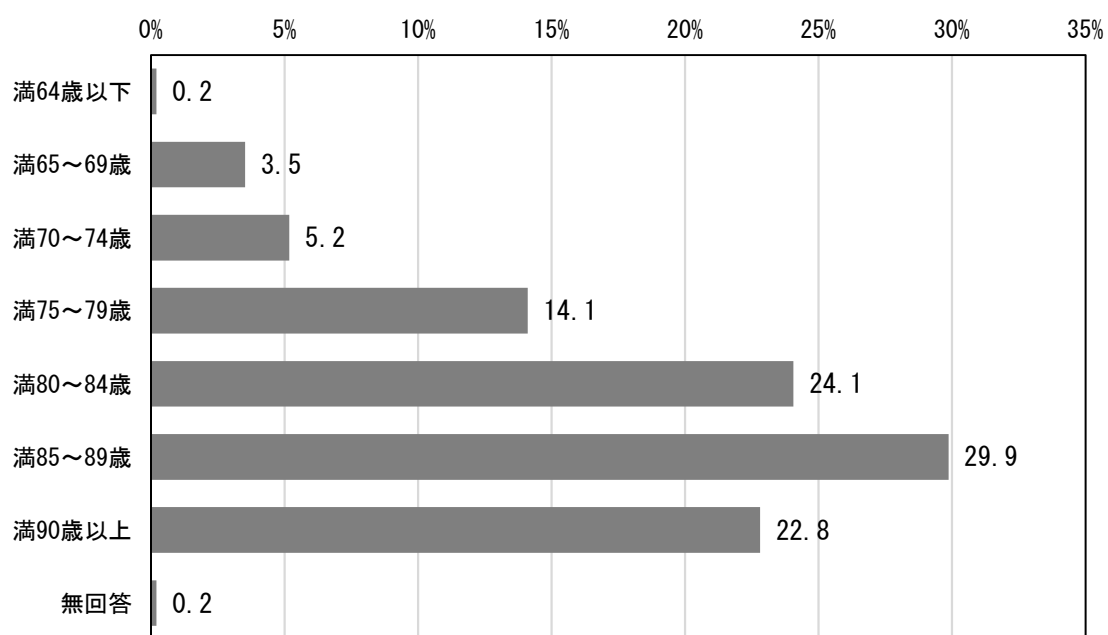
## 2. 参考1 認知症有病者にかかる分析について

以下に示す分析は、「問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気」における選択肢「認知症」を選択した方（認知症有病者）を母集団（N=482）とする集計である。

### 問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気（認知症有病者に限る）

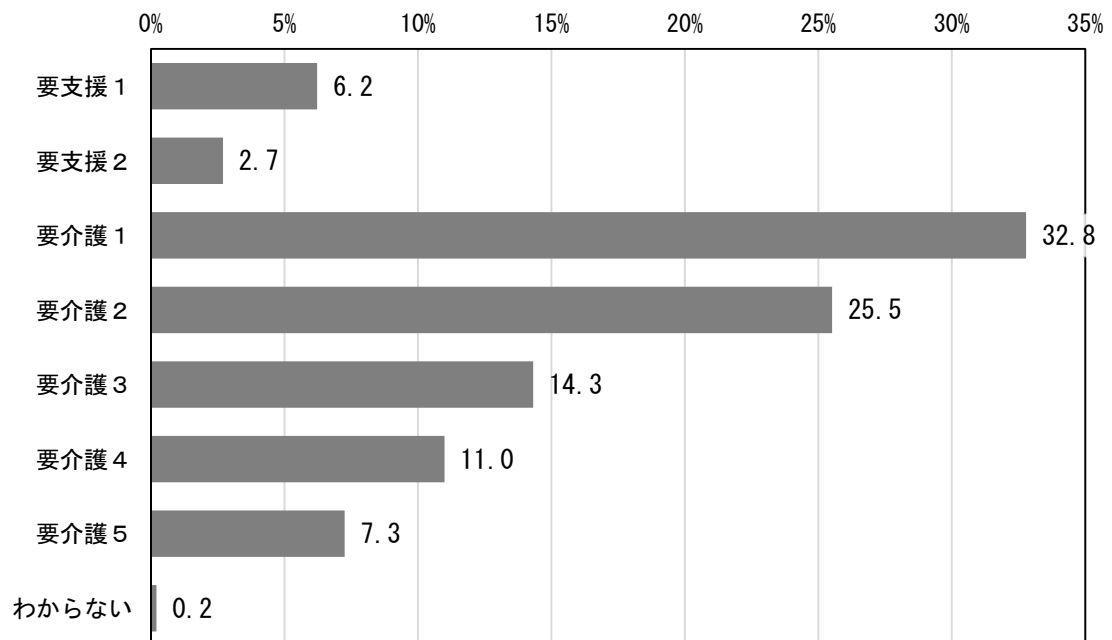
認知症有病者の年齢構成については、「満85～89歳」が29.9%と最も多く、次いで「満80～84歳」が24.1%、「満90歳以上」が22.8%となっている。

図表1-10-1 問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気（認知症有病者に限る）  
（問1-2 年齢別）（N=482）



認知症有病者の要介護度については、「要介護1」が32.8%と最も多く、次いで「要介護2」が25.5%、「要介護度3」が14.8%となっている。

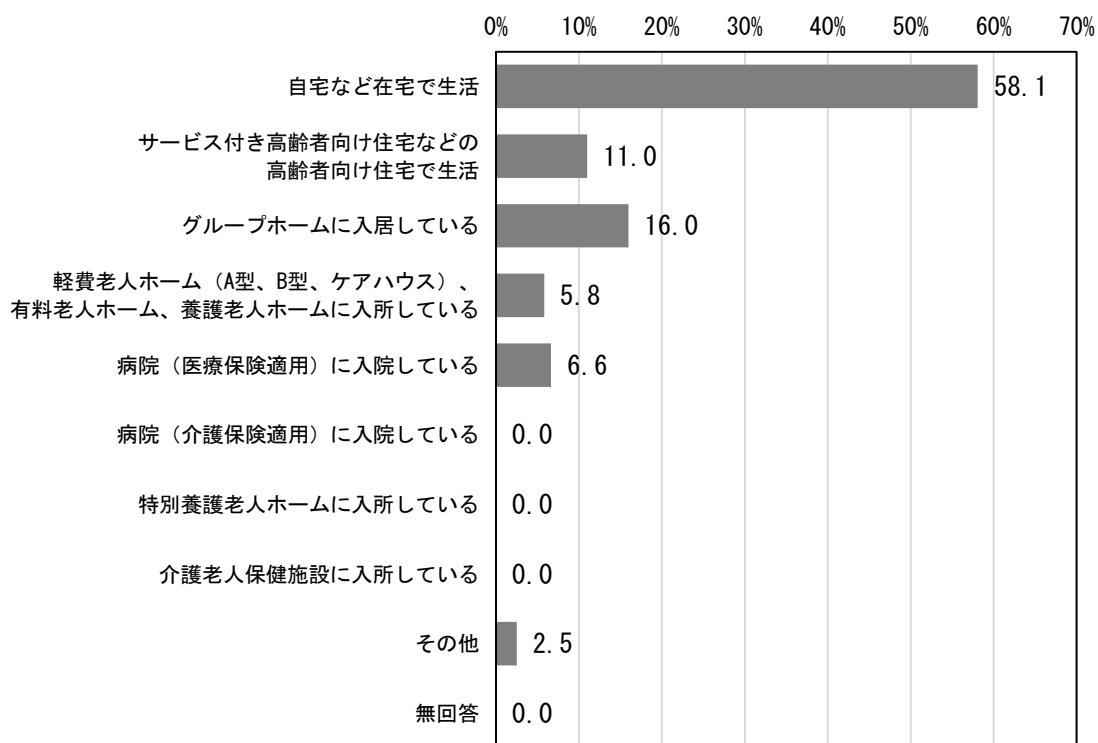
図表1-10-2 問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気（認知症有病者に限る）  
（問1-4 要介護度別）（N=482）





認知症有病者の生活している場所については、「自宅など在宅で生活」が58.1%と最も多く、次いで「グループホームに入居している」が16.0%、「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅で生活」が11.0%となっている。

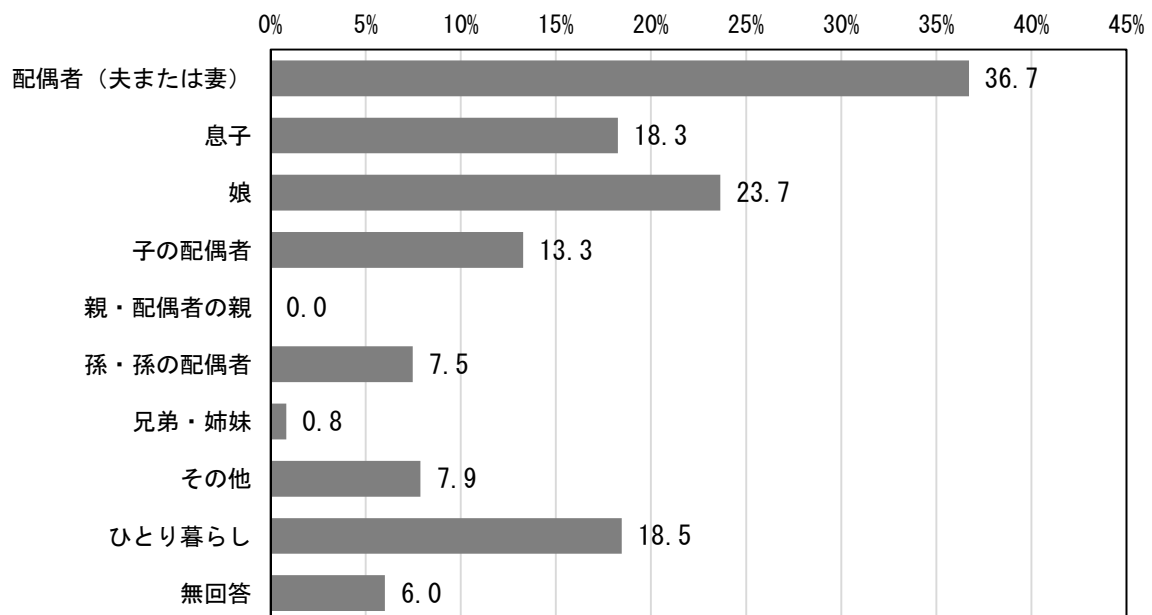
図表1-10-3 問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気（認知症有病者に限る）  
（問1-7 生活している場所別）（N=482）



※「病院（介護保険適用）に入院している」、「特別養護老人ホームに入所している」、「介護老人保健施設に入所している」及び「無回答」を除き、集計している。

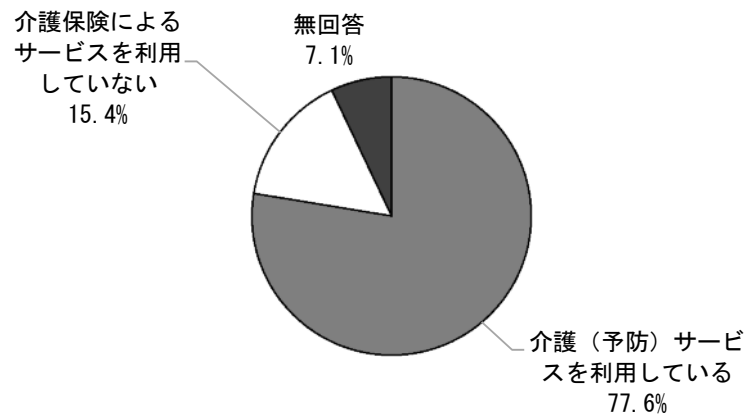
認知症有病者の同居者の状況については、「配偶者（夫または妻）」が 36.7%と最も多く、次いで「娘」が 23.7%、「ひとり暮らし」が 18.5%となっている。

図表1-10-4 問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気（認知症有病者に限る）  
（問1-8 同居者の状況別）（N=482）



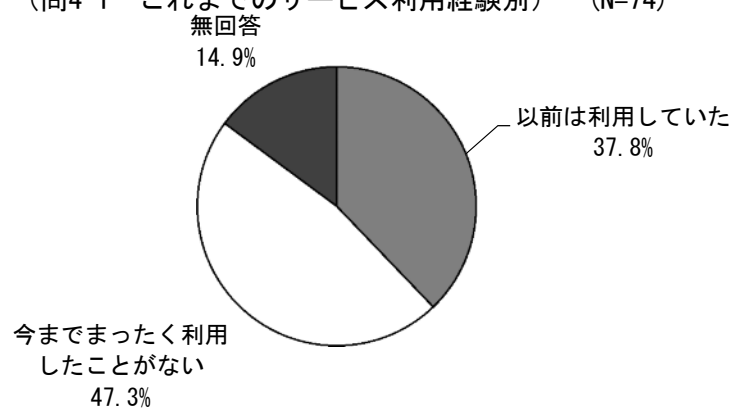
認知症有病者の介護（予防）サービスの利用状況については、「介護（予防）サービスを利用している」が77.6%、「介護保険によるサービスを利用していない」が15.4%となっている。

図表1-10-5 問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気（認知症有病者に限る）  
（問2-5 介護（予防）サービスの利用状況別）（N=482）



認知症有病者で「介護保険によるサービスを利用していない」と答えた人の、これまでのサービス利用経験については、「以前は利用していた」が37.8%、「今までまったく利用したことがない」が47.3%となっている。

図表1-10-6 問1-10 現在治療中、または後遺症のある病気  
（認知症有病者サービス未利用者に限る）  
（問4-1 これまでのサービス利用経験別）（N=74）



## 2. 参考2 介護（予防）サービスの利用状況にかかる分析について

以下に示す分析は「問3-1(1)利用しているサービスの満足度」で1～4（満足、ほぼ満足、やや不満、不満）を選択した方を「当該サービスの利用者」とし、下記のとおり分類のうえ集計したものである。（母集団 N=1,423）

- ① 訪問系サービスと通所系サービスの組み合わせ利用者（4 短期入所、9 福祉用具貸与を併用する場合も含む）
- ② 訪問系サービスのみの利用者（4 短期入所、9 福祉用具貸与を併用する場合も含む）
- ③ 通所系サービスのみの利用者（4 短期入所、9 福祉用具貸与を併用する場合も含む）及び 4 短期入所のみの利用者（9 福祉用具貸与を併用する場合も含む）
- ④ 9 福祉用具貸与のみの利用者、他  
（17 居宅介護支援・介護予防支援のみに回答した人及び無回答の人も含めて集計）

※訪問系サービス…1 訪問介護、5 訪問看護、6 訪問リハビリテーション、7 居宅療養管理指導、8 訪問入浴介護、11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、12 夜間対応型訪問介護のいずれかを利用

※通所系サービス…2 通所介護、3 通所リハビリテーション、13 認知症対応型通所介護のいずれかを利用

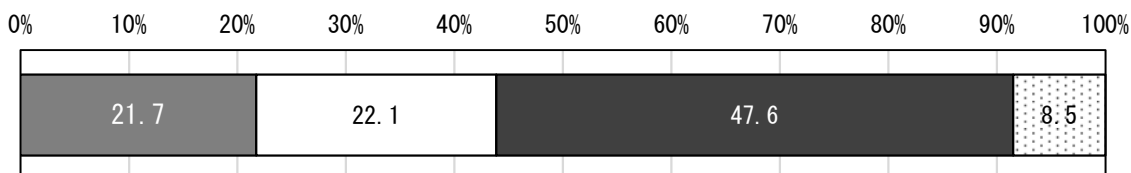
※14 小規模多機能型居宅介護、16 看護小規模多機能型居宅介護は、①に分類

※本集計には10 特定施設入居者生活介護、15 認知症対応型共同生活介護の利用者を含まない

### 問3-1（1） 利用しているサービスの満足度（当該サービスを利用している人）

当該サービス利用状況については、「③通所系サービスのみの利用者及び短期入所のみの利用者」が47.6%と最も多く、次いで「②訪問系サービスのみの利用者」が22.1%、「①訪問系サービスと通所系サービスの組み合わせ利用者」が21.7%となっている。

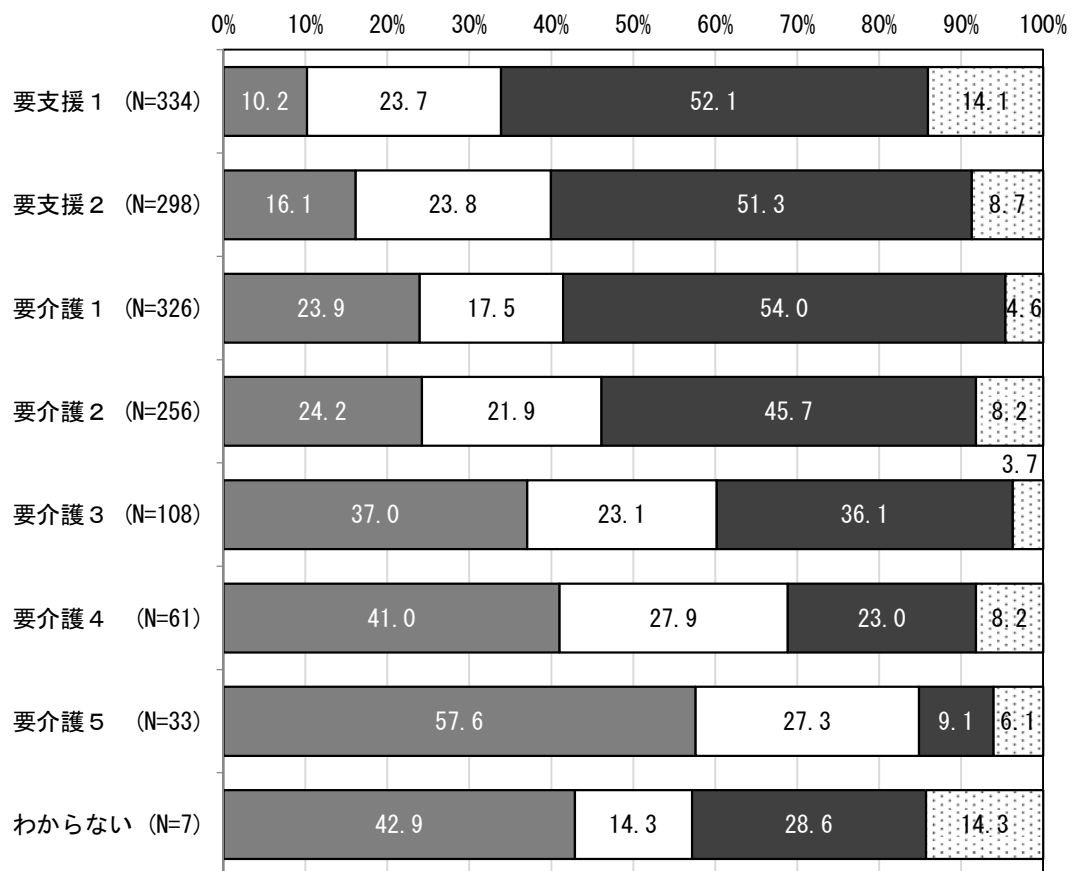
図表3-1-1-1 当該サービスを利用している人  
（当該サービス利用状況別）（N=1,423）



- ① 訪問系サービスと通所系サービスの組み合わせ利用者
- ② 訪問系サービスのみの利用者
- ③ 通所系サービスのみの利用者 及び 短期入所のみの利用者
- ④ 福祉用具貸与のみの利用者、他

要介護度別にみると、要支援、要介護1・2では「③通所系サービスのみの利用者及び短期入所のみの利用者」が最も多く、要介護3・4・5では「①訪問系サービスと通所系サービスの組み合わせ利用者」が最も多くなっている。また介護度が高くなるほど、訪問系サービスを利用する割合（①と②の合計）が高くなっている。

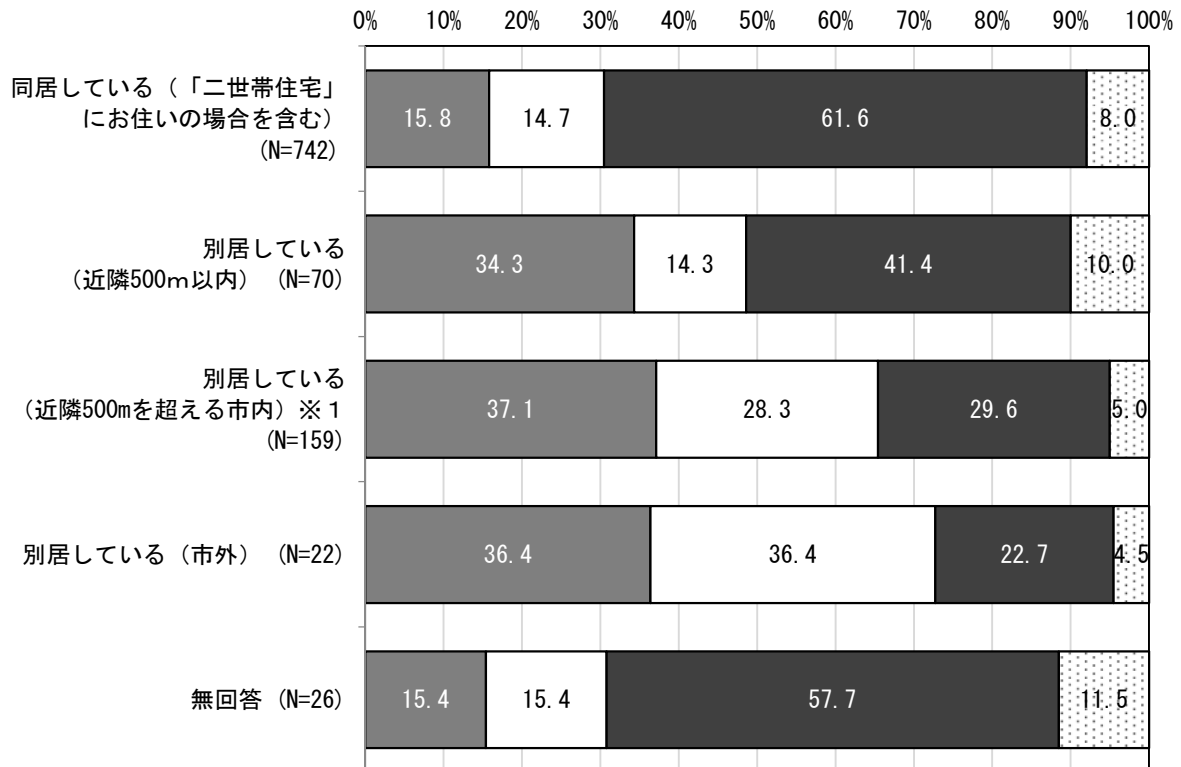
図表3-1-1-2 当該サービスを利用している人  
(要介護度別)



- ① 訪問系サービスと通所系サービスの組み合わせ利用者
- ② 訪問系サービスのみの利用者
- ③ 通所系サービスのみの利用者 及び 短期入所のみの利用者
- ④ 福祉用具貸与のみ利用者、他

本人と家族介護者の同居・別居別に見ると、家族介護者が同居している場合は、「③通所系サービスのみの利用者及び短期入所のみの利用者」の割合が最も多く、家族介護者と別居している場合は、住んでいる場所が離れるに従って、「③通所系サービスのみの利用者及び短期入所のみの利用者」の割合は低くなっている。

図表3-1-1-3 当該サービスを利用している人  
(本人と介護者の同居・別居別)



- ① 訪問系サービスと通所系サービスの組み合わせ利用者
- ② 訪問系サービスのみの利用者
- ③ 通所系サービスのみの利用者 及び 短期入所のみの利用者
- ④ 福祉用具貸与のみ利用者、他

※1 「別居している（近隣500mを超える市内）」：調査票においての選択肢は「上記2. 以外の市内」